

三重大学

MIE UNIVERSITY GUIDE BOOK

2026
大学案内



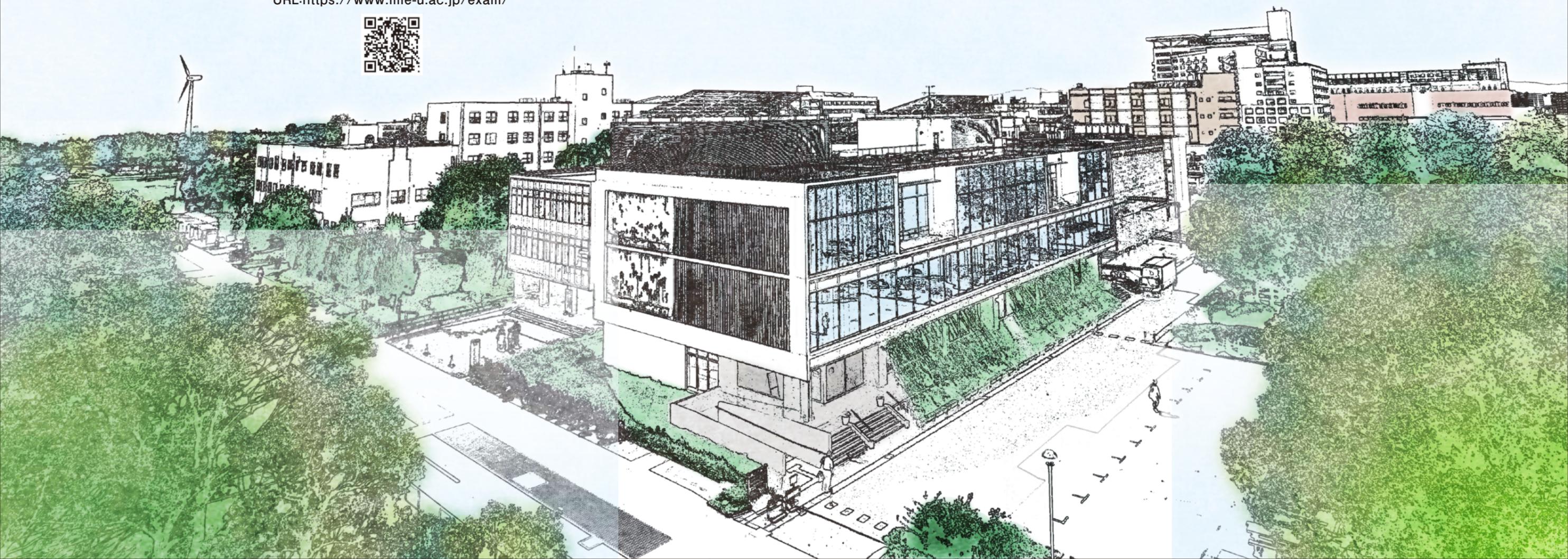
入学試験に関するお問い合わせ

国立大学法人 三重大学 学務部入試チーム

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL (059) 231-9063

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/>





MESSAGE

学長メッセージ

三重大学は、「三重から世界へ、世界から三重へ、未来を拓く地域共創大学」という理念のもと、昭和24年の創立以来、地域に根ざしながら、世界にも目を向けた教育と研究を進めてきました。

《三翠(さんすい)》の豊かな自然に囲まれたキャンパスには、5学部・6研究科・大学病院が集まり、そして農場や演習林、水産実験所、練習船などの附属施設も充実しています。文系・理系を問わず、幅広い分野で学ぶことができるのが三重大学の大きな魅力のひとつです。

私たちは、それぞれの学部・研究科等の様々な分野において行われる「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「行動する力」の4つを育む教育を大切にしています。これらの力を通じて、学生は自分の力で課題を見つけ、考え、仲間と協力して解決していく「生きる力」を身につけていきます。

大学での学びは、教室の中だけにとどまりません。三重県内の各地域に設けられた「サテライト拠点」では、地域の人たちと交流しながら、実際の社会課題に触れ、学ぶことができます。また、企業や自治体などとの連携も活発で、社会の仕組みや働く現場を理解する力を育む教育にも取り組んでいます。

さらに、留学制度の充実や海外の大学との協定を通じて、世界に視野を広げる機会も豊富です。近年は留学生も増えており、キャンパス内では、日常の中で自然に国際交流が行われています。

研究の分野でも、三重大学は多彩な取り組みを進めています。半導体や次世代電池、VLPワクチンの開発や脱炭素社会の構築など、社会にとって重要なテーマに挑み、世界に通用する成果を目指しています。

これからの時代を生きる皆さんにとって、大学選びは人生の大きな一歩です。この大学案内が、三重大学の魅力や可能性を知るきっかけとなり、皆さんの未来を描くヒントとなれば幸いです。

三重大学長 伊藤正明

地域を見つめ 三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

CONTENTS

2	学長メッセージ	17	学部・学科INDEX	27	医学部	47	大学院地域イノベーション学研究所	61	三重大学の学生支援システム	79	入試情報
3	三重大学×SDGs	19	人文学部	28	医学科	49	キャンパスライフ	62	支援方針	81	三重大学へのアクセス
5	三重大学の“今”を学べるキーワード	20	文化学科	29	看護学科	51	キャンパスマップ	63	生活サポート	82	インターネット出願のご案内
11	三重大学の概要	21	法律経済学科	31	工学部	53	空から見た三重大学	64	学費・奨学金	82	入学者選抜要項・学部案内の入手方法
13	三重大学の教育	23	教育学部	32	総合工学科	55	学生による学生支援活動	65	国際交流		
		24	学校教育教員養成課程	41	生物資源学部	56	課外活動	67	就職情報		
				42	生物資源学科	59	三重大生の日	75	大学施設		

KEYWORD “今”を学べる 三重大大学の“今”キーワード

SciLets

Scientific, Local and Environmental “Talented Staff”

SciLets(サイレッツ)育成事業のHPはこちらから▶



教育研究活動の取り組みSciLets育成事業

本学では、地域の環境を保全し、地域に多く賦存する環境価値を活用して地域の活性化を図ることを主な目的として、社会人を対象に地域で活躍できる環境人材を育成するリカレント教育として「科学的地域環境人材(SciLets:サイレッツ)育成事業」を行っています。

この事業は本学の学生も受講でき※、それぞれの学部の講義を学習しながら、自由な時間を有効に活用して、Webによるビデオ講義を受講することにより、文系的科目である環境問題・環境評価法、環境関連法・行政から、理系的科目であるエネルギー技術・自然環境保護・生物多様性まで、地域環境に関する幅広い講義を受講することができます。社会人と同様に、必修科目10科目と選択科目4科目の合計14科目を受講し、全ての理解度確認テストに合格するとアナリスト認定を取得できます。さらに、スキルが認められれば、エキスパート認定も得ることができます。令和7年3月末時点で1,332名の本学学生が受講しており、アナリスト認定とエキスパート認定がそれぞれ110名と6名に授与されています。なお社会人の受講者は、令和7年3月末時点で992名、アナリスト認定は469名、エキスパート認定は10名となっています。

※三重大学学生は14,000円の受講料等の費用負担なしで受講できます。



受講と認定について

サイレッツ開講科目10分野

環境問題・環境評価法	エネルギー技術	環境配慮技術	環境管理・ESD・SDGs	環境関連法・行政
大気・水と食の健康リスク	自然環境保護・生物多様性	気候変動問題	コミュニティ・インバウンド	環境経済・経営、ESG

アナリスト/エキスパート認定について

SciLetsビデオ講義を受講することにより、アナリスト/エキスパートの認定を取得することができます。
※エキスパート認定については環境教育要件(講義受講)以外に環境実践要件を満たす必要があります。

環境専門職に従事できる人材を育成 アナリストを目指す方	環境企業や政策を立案できるエキスパートを育成 エキスパートを目指す方
---------------------------------------	--

環境教育要件(アナリストコース・エキスパートコース共通)

必修科目	選択科目
基本の10分野をカバーする 「地域環境科学概論」 (ビデオ講義 1科目 1.5時間×10科目→15時間)	4科目を選択 (ビデオ講義 1科目 1.5時間×4科目→6時間)
14科目の受講料 14,000円	
理解度確認テスト(各科目ごと)	

※修業年数に制限はありません。また、ご希望に応じ、5科目以上の選択科目を受講することができます。
その場合、[受講料] 1,000円/科目
※受講料は、受講中も認定取得後も専用ソーシャルネットワークSciLetsを利用(無料)することができ、地域の環境保全・地域振興に貢献していくことができます。
※サイレッツにおける「1科目」とは、1.5時間のビデオ講義を指します。

環境実践要件※
共同研究・異分野・異業種交流(研究交流)等のOn the Job Trainingを通じ、地域企業や行政等で環境企業や政策を立案できるエキスパートとなり得る知識を身に付けます。

実感を伴って必要なスキルを身に付けます!

学習要項・開講科目一覧
<https://scienv.mie-u.co.jp/courselet>

アナリスト認定/その後も選択科目受講可
エキスパート認定/その後も選択科目受講可

受賞歴
◆【平成30年度】持続可能な社会づくり活動表彰「公益社団法人環境生活文化機構 会長賞」
◆【平成30年度】第1回エコプロアワード【奨励賞】
◆【令和5年度】第24回グリーン購入大賞【大賞】

受講者の声はこちらから!

数理・データサイエンス館 (CeMDS)

Center for Mathematical and Data Science

数理・データサイエンス館(CeMDS)のHPはこちらから▶

ICTを活用した数理・データサイエンス教育を推進します!

数理・データサイエンス館(CeMDS:セムズ)は、三重大学のICT教育や数理・データサイエンス教育充実、そして、地域との関係諸機関や企業との間の教育・研究の拠点として地域創生に貢献することを目的に2020年4月に開館しました。地域と連携したデータサイエンス教育や関連行事など、幅広い活動を行っています。

1階メイカーcommonsでは、ICT機器を活用した学修・教育環境を提供、サポートデスクでは、本学の学生をチューターとして、対面・オンラインを通じたICT、データサイエンス、Learningの支援を行っています。3Dプリンタ等による作品の展示コーナーもあります。2階ではデータサイエンス関連書籍の貸出を行っています。



データサイエンス教育について

本学では、令和3年度より、全学部1年生を対象とした、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「データサイエンス学修プログラム」を実施し、「データを丁寧に扱うことができる人材を育成すること」を目標としています。

フロア案内

開館時間/10時~17時(土・日・祝日休館)

- 1階**

Maker Commons (メイカーcommons)

 - サポートデスク / ICTサポート、データサイエンスサポート、Learningサポート
 - メイカースペース / 3Dプリンタ、レーザーカッター、ミシン、ドローン など
- 2階**

Data Science Commons (データサイエンスcommons)

 - レクチャールーム
 - 文献検索コーナー
- 3階**

Collaboration Commons (コラボレーションcommons)

 - 数学なんでも相談室
 - 自然科学系技術部
 - スタジオ

地域拠点サテライト

地域拠点サテライトのHPはこちらから→



三重大学は三重県における地域創生と地域人材の育成に取り組めます！

地域拠点サテライトの概要

地域拠点サテライトは、三重県全域を三重大学の教育研究活動の「場(フィールド)」とし、「特色ある各地域の資源」「学生たちの若い力」「大学の教育研究力」をもって、地域と大学が一体となって地域に秘められた可能性を発掘することで、地域と大学相互の発展を目指します。自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、5つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、松阪多気サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を設置し、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。

地域拠点サテライトが果たす3つの機能

1. 地域のニーズ・特色を踏まえた教育研究を地域とともに

地域ごとに異なる課題・ニーズに応えるべく、大学が有する学術的知見を活用しながら、地域とともに教育研究活動の場を創出し、地域の発展に寄与する。

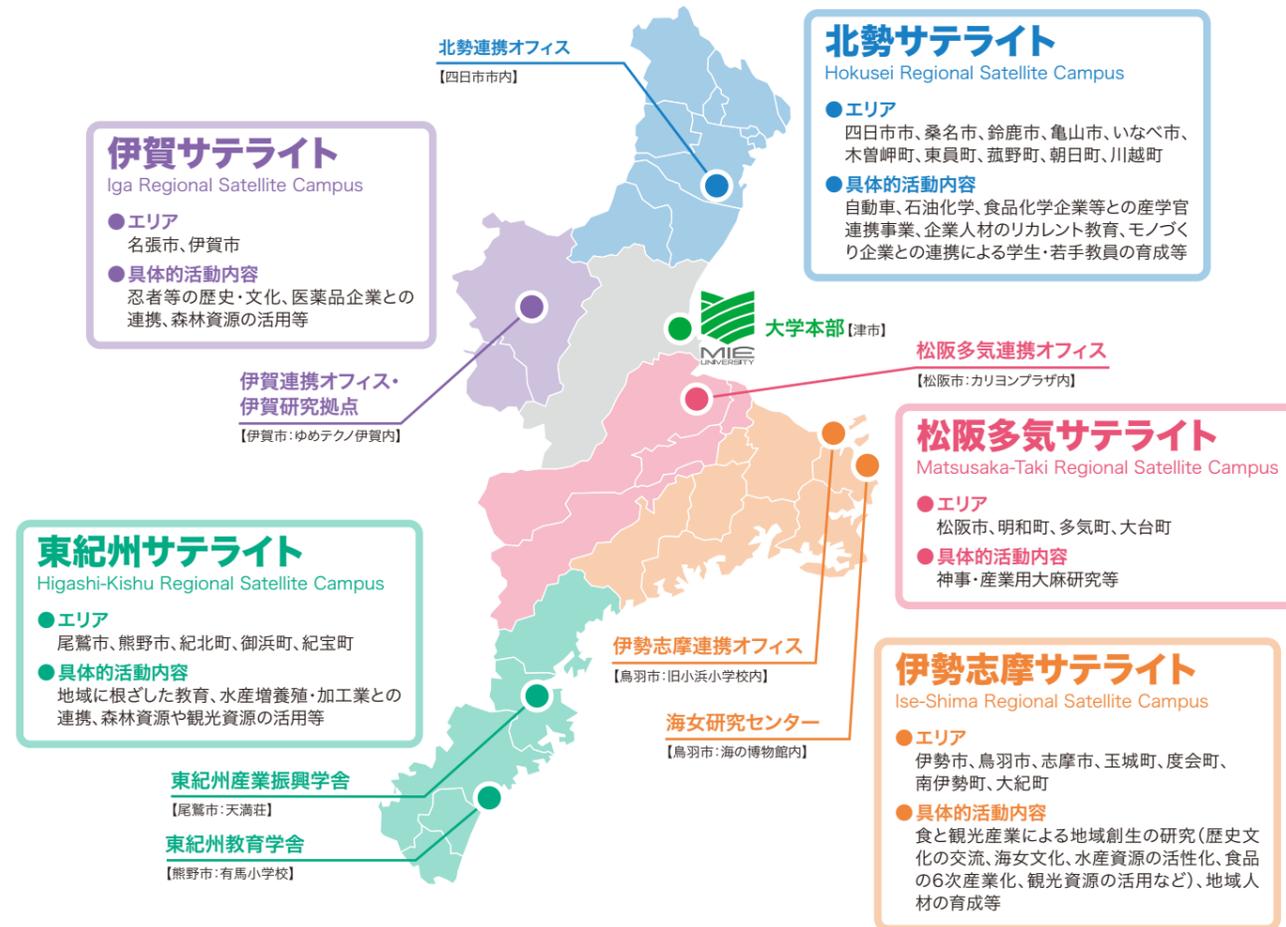
2. 教職員・学生の地域活動への参画と交流の深化

教職員・学生が地域に出向き様々な活動を展開し、地域の人々との交流を重ねて信頼関係を深めることで、三重大学が地域にとって必要不可欠な大学となる。

3. ありたい未来を目指し、社会的インパクトのある成果を創出

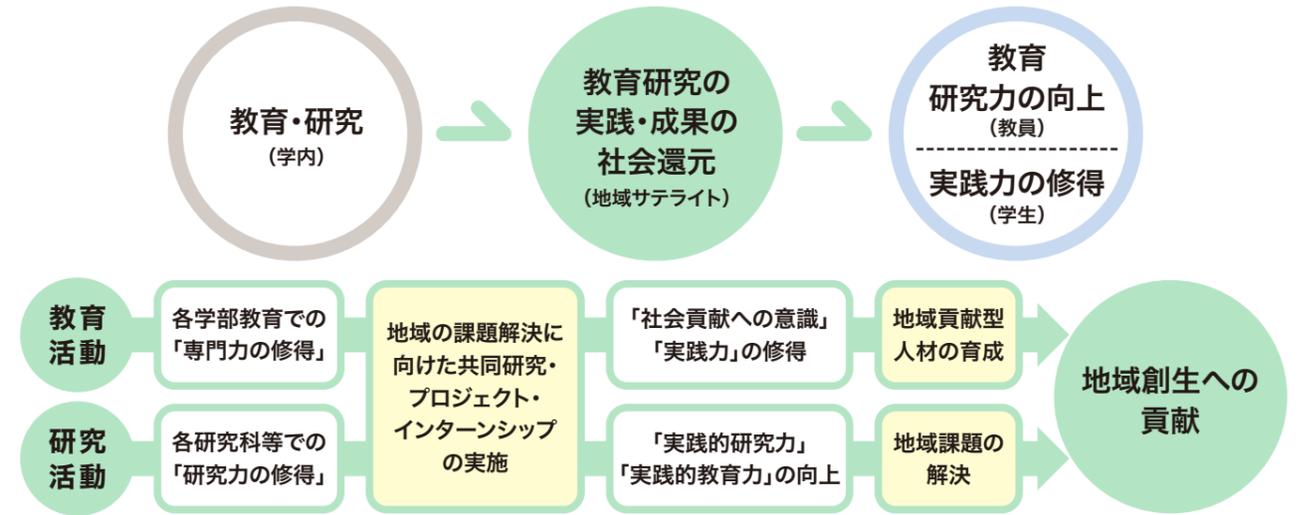
上記の取り組みを通じて、地域の問題解決と、ありたい未来の創造に資するプロジェクトを発足させ、社会的インパクトのある成果を創出する。

三重大学地域拠点サテライトは、三重県全域を教育研究フィールドとして位置付け、5つのエリアに設置した「地域サテライト」を通じて活動を展開しています。



目的

教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



活動紹介

伊賀サテライト

『留学生による上野天神祭での国際文化交流』

伊賀市で秋に開催される上野天神祭に留学生がだんじりの引き手として参加しました。普段触れることのできない日本の伝統文化を体験するとともに、若者が減少してきている地域行事の担い手不足解消に貢献しました。また、商工会議所や地域の高校などの協力を得て、高校生を始めとする地域の様々な方とふれあい、地域全体との国際交流を推進しました。このように、伊賀サテライトでは教職員や学生が地域の行事へ積極的に参加して伊賀地域を盛り上げています。また、忍者研究などを通して地域の歴史や文化の振興に貢献しています。



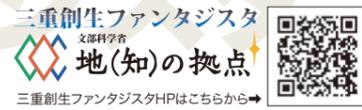
三重大学

『鈴鹿サーキット×三重大学 同年代への来場訴求プロジェクト』

鈴鹿サーキットで開催される世界選手権「鈴鹿8時間耐久ロードレース」について、ホンダモビリティランド株式会社と連携し、学生が主体となって同年代の来場数を増加させることを目的とし活動しています。活動を通して、実際の地元企業の仕事を知り、学内では得られないプロジェクト推進に必要なスキルの向上を目指します。本プロジェクトは2024年から企画・実施しており、昨年度は参加者自身が三重大学生であることを活かし、学内施設の中で情報展開に効果的なチラシの掲示場所の提案や、それを実現させるための交渉・調整を行いました。県内で実施される国際的なイベントの裏側を知り、実際の現場での企画立案・推進の難しさ・楽しさを体感できる貴重な機会となりました。



三重創生ファンタジスタ



三重大学は他者と協働し、地域の課題を解決する「三重創生ファンタジスタ」を養成します！

「三重創生ファンタジスタ」の養成事業

三重大学は、平成27年度に文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択され、地域で活躍する人材「三重創生ファンタジスタ」の養成を進めてきました。COC+は令和元年度末で終了となりましたが、引き続き三重県内の高等教育機関・地方公共団体・企業等と協働して三重創生ファンタジスタの養成を行っていきます。また、三重大学ではCOC+をきっかけとして「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」を平成28年度より立ち上げています。

三重創生ファンタジスタ資格認定コースでは、三重県の重要施策である5つの分野の課題に対して、様々な提案ができる人材(三重創生ファンタジスタ)を、3つの科目群を学修することによって養成します。



5つの分野

- ① 食と観光分野
- ② 次世代産業分野
- ③ 医療・健康・福祉分野
- ④ 教育
- ⑤ 文化・社会・公共

3つの科目群

- ① 地域志向科目群
「知る」
(再発見・再認識)
- ② 地域実践交流科目群
「学ぶ」
(体験・経験を通じて学ぶ)
- ③ 地域イノベーション学科目群
「考える」
(再構成・発信)



地域を学ぶ授業

「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」には、地域について学ぶことができる授業科目が数多くあります。その中には、三重県の歴史や文化、産業について学ぶ授業、県内各地域を訪問し食文化と観光を学ぶ授業などもあります。三重県のことを知りたい、三重県内の企業を知りたいという方はぜひこれらの授業をチェックしてみてください。



食と観光実践(令和6年度後期集中開講)

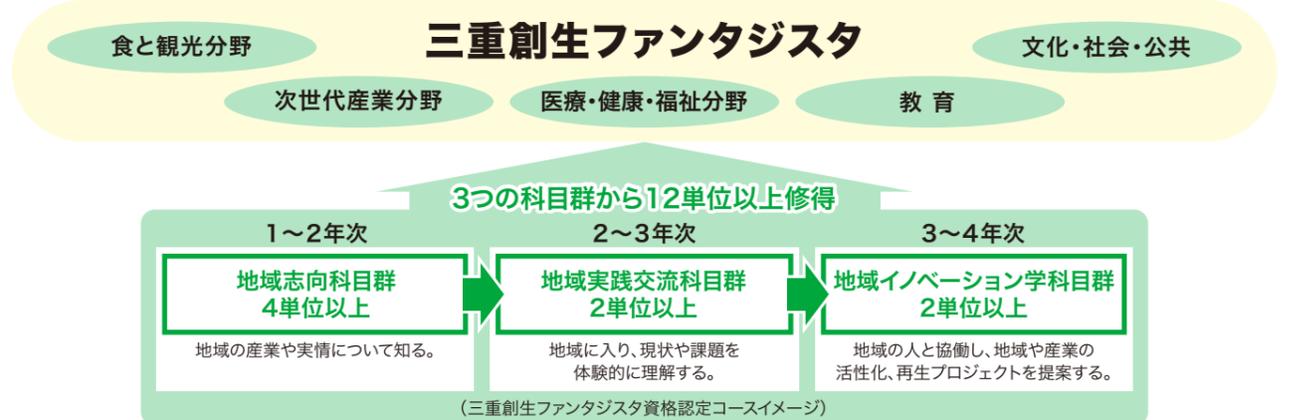
他大学の学生と一緒に地域(四日市市等)に出かけ、三重の食や観光についてフィールドワークやグループワークを通して学びました。

資格

三重創生ファンタジスタ資格

この資格は自治体や他の高等教育機関、企業・団体と連携して作り上げている資格であり、三重県で就職して、三重県で活躍したいと思える人にピッタリな資格です！また、三重創生ファンタジスタ資格をより充実させるため、三重の歴史や文化、産業を学ぶ授業科目や、グループワークを行い主体性を養うPBL※型集中講義も用意されています。

※PBL(Problem-based learning:問題発見解決型学習)



三重創生ファンタジスタ資格は、県内就職に生きる資格を目指しています！

三重創生ファンタジスタになる大きなメリット!!

- ① 県内の様々な情報、魅力的な企業等を知ることができる！
- ② 三重県のことを深く勉強した証明になる！
- ③ 社会で生きる力が身につく！

三重創生ファンタジスタクラブ(MSFC)

X:@msfc_mieuniv

三重創生ファンタジスタクラブ(通称 MSFC : MieSousei Fantasia Club)は、学生主体で三重県の各現場で地域課題を見つけてその現場に入ったり、地域の方々のお手伝いをしながら地域活性化に取り組む団体です。

このクラブで活動することで論理的思考力や行動力、チームワークが鍛えられます。また、新しいことにチャレンジする機会が多く、自分自身の関心を広げることができます！

現在では、三重大学のある津市をはじめとして、志摩市・菰野町等を拠点とする8つのプロジェクトを行っています。

プロジェクトの詳細は、インスタグラム等をご確認ください。

現在は多くの仲間も増えたので、一人一人が三重県を盛り上げていくリーダーとなって地域活動に励んでいけるようにしたいと考えています。



VOICE

資格取得者の声

他学科だけでなく、他学部の人との交流や、活動を行うことを通して、異なる分野からの視点といった、自分にはない考えを知ることができた。また、今まで知らなかった三重の魅力についても授業を通して知ることができた。4年間で学んで得た知識を就職しても活かしていきたいと思う。

医療や福祉といった分野の授業を受ける際に、三重県ならばどういった問題点が出るか、その対策としてはどうすればいいかを常に考えるようになりました。また、プレゼンテーションなど他者に自分の考えを伝える能力や質疑応答によるコミュニケーション能力も向上したと思います。三重県で生まれ育ったにもかかわらず、三重に関する知識が浅かったが、このコースを履修したことで、三重の知識をより深めることができ、この知識を就職先や今後三重で暮らそうと考えている人たちのために役立てたいと思いました。

VOICE

受講学生の声

近くにいない人と協力して発表をするため、効率良く計画を進めていく工夫をする方法を身につけました。実際、社会に出た時は近くにいない人とプロジェクトを進めていくと思われるので、とても勉強になりました。また、実際に地域を見たり、地元の人に聞き込みしたりして、自ら課題を見つけるということの難しさを感じました。この授業では、以上のように課題を見つけ解決策を考え発表するというプロジェクトの最初から最後までを行うことで、これからの学校生活や社会に役立つ能力を身につけられたと思います。

三重大学の概要

沿革

1820年



1949年

新制大学期

- 昭和24年5月 三重大学(学芸学部、農学部)設置
- 昭和41年4月 大学院農学研究科修士課程設置
- // 学芸学部を教育学部に名称変更
- 昭和44年4月 工学部設置
- 昭和47年5月 医学部・水産学部設置(三重県立大学から移管)
- 昭和50年4月 大学院医学研究科博士課程設置
- 昭和53年4月 大学院工学研究科修士課程設置
- 昭和58年4月 人文学部設置
- 昭和62年10月 生物資源学部設置
- 昭和63年4月 大学院生物資源学研究科修士課程設置
- 平成元年4月 大学院教育学研究科修士課程設置
- 平成3年4月 大学院生物資源学研究科博士課程設置
- 平成4年4月 大学院人文社会科学研究科修士課程設置
- 平成7年4月 大学院工学研究科博士課程設置
- 平成13年4月 大学院医学研究科修士課程設置

2004年

国立大学法人期

- 平成16年4月 国立大学法人三重大学へ移行
- 平成17年4月 大学院医学系研究科を部局化
- 平成18年4月 大学院生物資源学研究科を部局化
- 大学院工学研究科を部局化
- 平成21年4月 大学院地域イノベーション学研究科設置
- 平成28年4月 大学院医学系研究科看護学専攻博士課程設置
- 平成29年4月 大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻専門職学位課程設置
- 令和6年5月 創立75周年を迎える

HISTORY

教育・研究組織

三重大学は、2004(平成16)年4月1日から「国立大学法人三重大学」としてスタートしました。

現在、5学部6研究科のほか、教育推進・学生支援機構、研究・社会連携統括本部、みえの未来図共創機構、研究基盤推進機構、学内共同教育研究施設、附属病院、附属学校園等があります。

5学部6研究科は全て1つのキャンパスにあります。また、本学の総面積は約55万平方メートル、教職員は約2,000人、学生数は約7,200人(うち外国人留学生約140人)です。

(令和7年5月1日現在)

機構・センター等

- 教育推進・学生支援機構
全学共通教育センター
アドミッションセンター
リカレント教育センター
地域創造教育センター
学生支援・キャリアセンター
教育企画部門
大学院部門
資格プログラム部門
- 研究・社会連携統括本部
研究推進部門
産学官連携部門
知財ガバナンス部門
研究インテグリティ部門
URA室
- みえの未来図共創機構
地域共創展覧センター
地域拠点サテライト
地域圏防災・減災研究センター
感染症みらい社会教育研究センター
博学連携推進室
- 研究基盤推進機構
先端科学研究支援センター
半導体・デジタル未来創造センター
総研研究センター
国際忍者研究センター
神事・産業・医療用大麻研究センター
戦略的リサーチコア
- 国際戦略機構
国際戦略企画部門
国際交流・連携部門
国際教育部門
- 附属図書館
- 学内共同教育研究施設
情報基盤センター
地球環境センター
- 保健管理センター

学部

- 人文学部
文化学科
法律経済学科
- 教育学部
学校教育教員養成課程
附属教職支援センター
附属幼稚園
附属小学校
附属中学校
附属特別支援学校
- 医学部
医学科
看護学科
附属病院
- 工学部
総合工学科
- 生物資源学部
生物資源学科

大学院

- 人文社会科学研究科(修士課程)
地域文化論専攻
社会科学専攻
- 教育学研究科(専門職学位課程)
教職実践高度化専攻
- 医学系研究科(博士課程)
生命医学専攻
- 医学系研究科(修士課程)
医科学専攻
- 医学系研究科(博士前期課程)
看護学専攻
- 医学系研究科(博士後期課程)
看護学専攻
- 工学研究科(博士前期課程)
機械工学専攻
電気電子工学専攻
電子情報工学専攻
応用化学専攻
建築学専攻
情報工学専攻
- 工学研究科(博士後期課程)
材料科学専攻
システム工学専攻
- 生物資源学研究科(博士前期課程)
資源循環学専攻
共生環境学専攻
生物圏生命科学専攻
- 生物資源学研究科(博士後期課程)
資源循環学専攻
共生環境学専攻
生物圏生命科学専攻
- 附属紀伊・黒瀬生命地域フィールドサイエンスセンター
● 附属施設農場
● 附属施設演習林
● 附属施設水産実験所
● 附属練習船勢水丸
- 地域イノベーション学研究科(博士前期課程)
地域イノベーション学専攻
- 地域イノベーション学研究科(博士後期課程)
地域イノベーション学専攻
- 地域イノベーション学コアラボ

学生数

令和7年5月1日現在

学部	学科・課程	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者
人文学部	文化学科	92	101(0)	92	98(1)	102	106(1)	102	116(3)					388	421(5)
	法律経済学科	153	158(1)	153	154(0)	173	166(1)	173	197(0)					652	675(2)
	計	245	259(1)	245	252(1)	275	272(2)	275	313(3)					1,040	1,096(7)
教育学部	学校教育教員養成課程	200	200(0)	200	206(0)	200	205(0)	200	220(0)					800	831(0)
	計	200	200(0)	200	206(0)	200	205(0)	200	220(0)					800	831(0)
医学部	医学科	125	129(0)	125	125(0)	125	127(0)	125	128(0)	125	123(0)	125	129(0)	750	761(0)
	看護学科	80	82(0)	80	79(0)	90	81(0)	90	81(0)					340	323(0)
	計	205	211(0)	205	204(0)	215	208(0)	215	209(0)	125	123(0)	125	129(0)	1,090	1,084(0)
工学部	機械工学科								2(0)						2(0)
	電気電子工学科								1(0)						1(0)
	分子素材工学科								1(0)						1(0)
	建築学科								1(1)						1(1)
	情報工学科								2(0)						2(0)
	物理工学科								3(1)						3(1)
総合工学科	総合工学科	430	444(6)	400	408(3)	435	438(7)	430	556(10)					1,695	1,846(26)
	計	430	444(6)	400	408(3)	435	438(7)	430	566(12)					1,695	1,856(28)
生物資源学部	資源循環学科					73	74(1)	73	85(0)					146	159(1)
	共生環境学科					73	72(0)	73	82(0)					146	154(0)
	生物圏生命化学科					82	82(0)	82	91(0)					164	173(0)
	海洋生物資源学科					42	43(0)	42	48(0)					84	91(0)
	生物資源学科	260	271(0)	260	273(0)									520	544(0)
計	260	271(0)	260	273(0)	270	271(1)	270	306(0)					1,060	1,121(1)	
合計	1,340	1,385(7)	1,310	1,343(4)	1,395	1,394(10)	1,390	1,614(15)	125	123(0)	125	129(0)	5,685	5,988(36)	
大学院	人文社会科学研究科	15	12(5)	15	14(5)									30	26(10)
	教育学研究科(専門職学位課程)	25	28(0)	25	23(0)									50	51(0)
	医学系研究科	12	8(1)	12	6(1)									24	14(2)
	修士課程(医科)	11	7(0)	11	13(0)									22	20(0)
	博士前期課程(看護)	3	2(0)	3	2(0)	3	9(0)							9	13(0)
	博士後期課程(看護)	45	39(4)	45	35(5)	45	37(3)	45	60(3)					180	171(15)
	博士課程(生命医科)	216	248(2)	216	235(4)									432	483(6)
	工学	16	13(7)	16	13(6)	16	24(11)							48	50(24)
	研究科	88	124(7)	88	108(4)									176	232(11)
	生物資源学研究科	12	21(11)	12	14(6)	12	22(10)							36	57(27)
博士後期課程	15	17(2)	15	21(2)									30	38(4)	
地域イノベーション学研究科	6	8(1)	6	2(0)	6	25(4)							18	35(5)	
博士後期課程	464	527(40)	464	486(33)	82	117(28)	45	60(3)	0	0	0	0	1,055	1,190(104)	

*()内は、外国人留学生数を内数で示す

教員数

令和7年5月1日現在

	教授	准教授	講師	助教	計
人文学部	37	20	8	3	68
教育学部	42	24	0	2	68
医学部	52	47	58	195	352
工学部	39	37	3	20	99
生物資源学部	44	38	0	20	102
地域イノベーション学研究科	7	2	0	1	10
学内共同教育研究施設等	16	13	6	17	52
計	237	181	75	258	751

* 医学部に附属病院の教員を含み、寄附講座・寄附研究部門・産学官連携講座教員を除く

学びのサポート

教員1名あたりの学生数は9名です。
充実した教員と学生の密接な関係の中で、高度な教育・研究を進めています。

教育活動の概要

三重大学は、世界と繋がる地域共創活動に真摯に取り組み、未来を拓く教育研究拠点として世界が注目する地域共創大学を目指しています。そのために、幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材の育成を目標にしています。この目標を達成するための全学的組織として教育推進・学生支援機構が設置されており、その協力の下、全学共通教育センターや各学部においてそれぞれの特色を生かした教育プログラムが展開されています。

三重大学の教育に関する目標

幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成します。

三重大学ビジョン2030(抜粋)

教育においては、従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決する人材を育成します。



さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、DXデジタルトランスフォーメーション、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、住民の皆さんにご協力頂きながら育成したいと考えています。

三重大学のアドミッションポリシー (三重大学が求める学生像)

三重大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- ◎入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している(知識・技能)
 - ◎ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる(思考力・判断力)
 - ◎自分の考えを的確に表現し、伝えることができる(表現力)
 - ◎人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している(主体性)
 - ◎他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している(協働性・主体性・多様性)
- 上記の方針に基づき、学士課程においては学部ごとに、また大学院課程においては研究科ごとに、適切な選抜方法を定め、実施します。

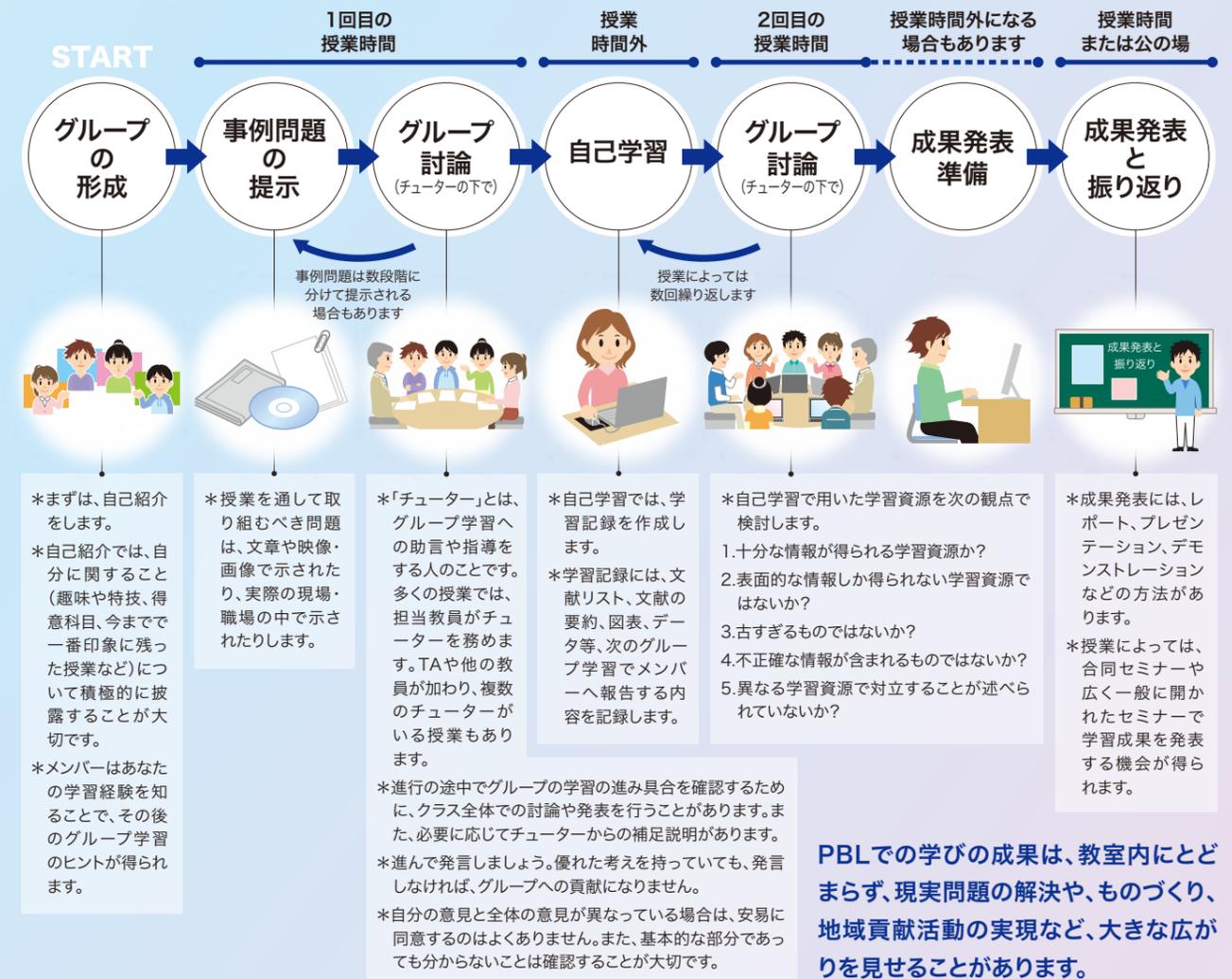
教育の特色

PBLって何？

PBL : Problem-based Learning / Project-based Learning

現実的な問題解決やプロジェクト達成を通して学びを深める、世界でも注目されている学習法です。三重大学では、日本でいち早く2005年から全学的に導入されています。

PBLでの学習の進め方一例



PBLでの学びの成果は、教室にとどまらず、現実問題の解決や、ものづくり、地域貢献活動の実現など、大きな広がりを見せることがあります。

学びのセルフマネジメント

大学では、自分の学びを自身で管理する「セルフマネジメント」が必要になります。本学では、「Moodle(ムードル)」という学習管理システムを使って、学生の皆さんがインターネットを活用して、学びをセルフマネジメントできる環境を整えています。

Moodleを使えば、場所が限定されることなく自宅からでも、資料を見たり、レポートを提出したりできます。Moodleのフォーラム(電子掲示板)やチャットで、学生と教員、学生同士がどこからでもコミュニケーションできます。



共通教育

グローバル社会で自ら学び続ける人材を育てる共通教育

入学後、学部・学科の授業と共に、全学共通の授業を受講します。



自律的・能動的学修力の育成

社会がどのように変動しても自ら学び続け、不測の事態にも対応できる力を養います。

グローバル化に対応できる人材の育成

単に英語ができるだけでなく、世界的視野をもち、個別の文化も尊重できる人材を育成します。

三重大学理念

三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる
独自性豊かな教育・研究成果を生み出す
～人と自然の調和・共生の中で～

幅広い教養の基盤に立った高度な専門知識や技術を有し、社会に積極的に貢献できる人材を育成

自律的・能動的学修力の育成

グローバル化に対応できる人材の育成

共通教育

専門教育

大学基礎科目

教養基礎科目(副専攻科目)

専攻基礎科目

共通教育のカリキュラムは、**3つの科目**から構成されています。

- **大学基礎科目**: 大学で学ぶために、また社会人として身につけておくべき基礎的な能力を養うために、三重大学生が共通に履修する科目です。
- **教養基礎科目(副専攻科目)**: 幅広い教養と深い知識、豊かな人間性を涵養し副専攻取得を目指す科目です。
- **専攻基礎科目**: 学部専門教育を受講するために必要となる基礎知識及び能力を身につける科目です。

これらの科目を通して、幅広く学問の知識や方法を学ぶことで自律的・能動的学修力を育成し、社会のグローバル化に対応できる総合的な判断力を培うとともに、深い教養を備えた豊かな人間性を涵養することを目指します。

全学部の学生が共通して学ぶ科目

大学基礎科目

スタートアップセミナー

● **スタートアップセミナー(必修)**

高校から大学への生活の転換をスムーズにし、アカデミックスキル・スタディスキルの獲得を目指して自立した学修を支援する授業です。三重大学の教育目標である4つの力についても理解します。

キャリア教育

● **キャリア教育入門(必修)**

「三重大学キャリア教育方針」に基づくキャリア教育です。「三重大学キャリア支援システム」を活用する内容や、各学部のディプロマポリシー(学位授与方針)に基づく事項を学びます。

外国語(英語)

● **英語I大学基礎(必修)**

● **英語Iコミュニケーション(必修)**

大学で学ぶため及び、自律的な学修を推進し社会のグローバル化に対応できるようにするために、基礎的な英語の語学力を養います。

データサイエンス

● **データサイエンスI(必修)**

● **データサイエンスII(必修)**

社会問題の解決や新たな価値の創造を行う原動力となる数理・データサイエンス・AIの基礎を理解し、関連するITスキル、統計解析スキルを身につけます。

スポーツ健康科学

● **スポーツ健康科学A(必修)**

スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力及び自律的・能動的学修力の育成を目指します。



教養基礎科目(副専攻科目)

歴史・文化分野

情報化社会の発展に伴って、地域と密接に関わりつつ、グローバルな視点を持って活躍できる人材の育成がますます求められています。そのような人材に必要とされるのが、自国と諸外国の歴史や文化に対する深い洞察です。本分野では、**歴史、文化、思想、生活**をテーマとする、バラエティに富んだ科目を履修することができます。また、それによって、単一の価値観のみにとらわれない、豊かな発想と広い視野を獲得することを目指します。

環境・科学分野

環境問題は様々な分野に関わる複雑な問題です。解決の糸口を得るためには、問題の本質を理解し、複合的な視点から洞察する力が必要です。また、環境問題に限らず、健康管理、原子力など科学技術の側面を持つ問題、社会的問題についても、数理学、物理学、化学、生物学をはじめ、自然科学諸分野の知見に基づいて判断する力が必要です。そこで、本分野では**環境問題**や様々な**自然科学**の基礎理解を深め、科学的な考え方を習得します。

健康・医療・福祉分野

人体の仕組みと働き、疾患のメカニズム、医学・医療の発展、健康管理、保健衛生、社会保障など、**健康・医療・福祉**を多面的な観点から理解することにより、深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養するとともに、自律的・能動的な学修姿勢の醸成、地域活性化・グローバル化に対応できる力を育成します。また、スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力を育成します。

教育・公共分野

個の成長を支え幸福を追求し、ひいては社会を維持し発展させていくための教育の諸問題を理解するためには、哲学、心理学、社会学、医学、数理学などの幅広い知識を習得することが必要です。また、異なる考えや価値観の人たちが、どのように合意を作り解決していくかという公共の諸問題を理解するためにも、同様のことがいえます。本分野では、**教育と公共**の現代的諸問題に対応し解決を図ろうとする態度を、知識習得と探求・議論を往復する対話的で深い学びによって身につけていきます。

社会・経済分野

国際社会に対応できる能力を育成するために、**社会・経済**に関する様々な事柄を学びます。社会は、異なる価値観を持った多数の人が集まって形成されます。家族、労働、教育、地域社会、メディアなどの多くのテーマについて学びます。また、私たちが社会で生活する上で問題となる、生産や消費売買などの経済活動について学びます。

国際・外国語分野

異なる文化や言語を持つ人々と深く交流するには、その背景にある価値観に興味と関心を持ち、尊重することが求められるとともに、自身の主張を明確に伝える語学力とコミュニケーション力が必要になります。本分野では、様々な語学をはじめ、政治経済、教育、保健医療などのテーマにも関わる授業を通して、国際理解のための技能と知識を身につけ、演習などを通じて情報収集・伝達や相互理解の方法を実践的に学ぶことで、**多様な文化・言語**を背景とする人々と協働する力を涵養します。

学部	学科・課程・コース	学べる内容	取得可能な免許・資格 <small>令和6年4月1日時点</small>	ページ	
人文学部 P19~P22	文化学科	世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、社会学、文化人類学、地理学、美術史、言語学、文学、図書館・情報学といった学問分野から専門的・総合的に学びます。これを通して、広い視野から探求し、変動激しい現代社会への深い理解と国際感覚に基づいた総合的判断力と行動力を身につけます。	【教員免許】●中学校教諭一種(国語・社会・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語) 【その他】●図書館司書 ●学校図書館司書教諭 ●学芸員	P20	
	法律経済学科	法学、政治学、経済学、経営学といった社会科学の分野について、適性や関心を確認しながら学修できるカリキュラムを用意しています。各分野の専門的知識に立脚しつつ横断的に学ぶことを通して、広い視野で問題を探求し、変動・複雑化する社会の課題に挑戦し解決に取り組む姿勢と判断力・対応力を身につけます。		P21	
教育学部 P23~P26	学校教育教員養成課程	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員としてふさわしい専門的知識と指導力を身につけることができます。我が国では、幼児児童生徒に対し、連続性のある多様な学びの場が用意されています。そうした様々な場に対応できる教員になるために、本学部では、教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション力を高めることができます。また、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、多様なニーズに的確に応えるための総合力を身につけることができます。	【教員免許】●幼稚園教諭一種 ●小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語) ●特別支援学校教諭一種(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 【その他】●学校図書館司書教諭 ●保育士(幼児教育コースに限る)	P24	
医学部 P27~P30	医学科	生命医学研究を実践する能力を涵養し、医療、保健、福祉の担い手となる力を修得します。地域基盤型の実習を通して医療と社会の関係を学び、国際的な学習環境のなかで広い視野を身につけます。	【受験可能な国家資格】●医師	P28	
	看護学科	看護の定義や役割、問題解決思考を学習し、看護学の実践者としての基礎を学びます。あらゆる健康レベルにある個人・家族・地域社会に対する看護を実践できるよう、専門知識や看護技術、コミュニケーション技術を修得します。	【受験可能な国家資格】●看護師 ●保健師(選択科目履修) ●助産師(選択科目履修) 【取得可能な免許】●養護教諭二種(選択科目履修、要保健師資格)	P29	
工学部 P31~P40	総合工学科	機械工学コース	先進的ものづくりに必要な機械工学に関する講義と実技を通して、基礎(機械力学、熱力学、流体力学、材料力学、量子力学等)、応用(設計、生産加工等)、新分野(ロボット工学、生体力学、環境エネルギー機械等)が学べます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P33
		電気電子工学コース	有機ディスプレイ・電子顕微鏡・電気自動車・自然エネルギー発電システム・ロボットなど、今日の社会を支え、また、これからの社会を創る電子デバイス・電気機器・情報システムを研究開発する能力を身につけます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●第1級陸上無線技術士(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●第1級陸上特殊無線技術士 ●第2級海上特殊無線技術士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●電気工事施工管理技術士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者 ●第1種電気主任技術者	P34
		電子情報工学コース	半導体製造や人工知能(AI)を中心としたデジタル関連技術を基礎から応用まで実践的に学ぶコースです。技術交流や共同研究を推進することで、デジタル社会の実現に貢献する高度技術者を育成します。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●第1級陸上無線技術士(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●第1級陸上特殊無線技術士 ●第2級海上特殊無線技術士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●電気工事施工管理技術士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者 ●第1種電気主任技術者	P35
		応用化学コース	新物質・新素材を開発して科学技術を発展させ、社会に貢献するために必要な、化学の基礎と実験法を学びます。これによって、エネルギー、環境、バイオ、医療などの分野に役立つ知識と実践力を身につけることができます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) ●危険物取扱者(甲)(化学に関する授業科目を15単位以上修得すれば受験資格があります) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●火薬類製造保安責任者(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●毒劇物取扱責任者 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●ガス溶接作業主任者 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P36
		建築学コース	建築スケールから都市スケールに至る生活空間を対象に、建築の設計に必要な専門知識(建築計画分野、建築構造・材料工学分野、建築環境設備工学分野)の習得、建築設計図面や建築模型の製作技術の習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●一級建築士 ●二級建築士 ●木造建築士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●建築施工管理技術士 ●建築設備士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P37
		情報工学コース	コンピュータの仕組み(ハードウェア)や、コンピュータを用いた情報処理技術(アルゴリズムの設計とプログラミング)を学びます。企業などで、すぐに使える即戦力となる、高度な技術習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●情報処理技術者試験 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P38
		生物資源学部 P41~P46	生物資源学科	生物資源総合科学コース	生物資源学の基礎的教育として、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を設定し、学生を質的に充実させ、地域を先導する力・生物資源学の俯瞰的な視野と幅広い知識を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。
農林環境科学コース	農業専修では、農学の知識に加えて生物学の基礎理論を学び、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持するための方策及び技術を身につけます。森林科学専修では、多面的な機能を持つ森林の特性を学び、自然環境との調和を保ちながら森林資源を持続的かつ高度に利用していくために必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復に関わる科学・技術や生態調和型スマート生物生産技術を身につけます。			【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●樹木医補 ●測量士補(農業工学専修) ●修習技術者(JABEE農業土木学プログラム) ●学芸員	P43
海洋生物資源学コース	プランクトンから魚類・鯨類までの様々な水生生物や気候変動・異常気象などの地球環境を対象にして、海洋における生物と環境との関係を理解し、遺伝子レベルから生態系レベル、気候レベルにわたる多様な視点から海洋生物資源の保全と持続的有効利用法について総合的に学びます。			【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●学芸員	P44
生命化学コース	生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物に関する生理機能及び生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を学び、食品・健康分野、医薬品分野、環境・エネルギー分野及び生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。海洋生命化学専修では、多様な海洋生物の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・化粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。			【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●食品衛生管理者 ●食品衛生監視員 ●学芸員	P45

人文学部

文化学科 / 法律経済学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力をもつ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

このような人を育てます

人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。人文科学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を育て、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとられない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得を目指します。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本质を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

学部HPはこちら



演習(ゼミ)風景



人文学部長
豊福 裕二

人文学部は、1983年に文化学科と社会科学の2学科で発足しました。2008年に、社会科学を法律経済学科へと改称しましたが、学部創設以来の2学科制のもと、幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、地域社会と国際社会で活躍できる人材の育成を目的に掲げ、多くの卒業生を輩出してきました。人文学部のカリキュラムの特徴の一つは学際性であり、人文科学と社会科学の多彩な学問分野を学ぶことができます。人文科学と社会科学の役割を一言で表すと、「古今東西の人類社会の営みについて考究すること」です。世界の人びとが築き積み重ねてきた社会の仕組みや文化を知り、また今日の国際社会そして日本社会がどのような問題を抱えているのか、を考えることです。既存の価値観が大きく揺らぎつつある今日、人文学部で学び、われわれが今日生きていくこの社会のあり方を常に捉え返し、またその行く末を考えることのできる力を身に付けていただきたいと思います。

文化学科

Department of Humanities

世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、美術史、図書館・情報学、言語学、文学、地理学、社会学、文化人類学といった人文科学分野から専門的・総合的に学ぶことのできるカリキュラムを用意しています。1年次から2年次には専門学習に向けて、問題意識の形成や様々な学問領域の基礎的な知識や研究方法の学習を進めます。そして3年次より演習(ゼミ)に所属し、学んできた専門の知識や研究方法を活用し、関心のある文化事象について研究を深め、4年次に4年間の学修の集大成として卒業論文を作成します。

学びの特色

●人文科学を縦横に学べるリベラルアーツ教育

「文化資源学コース」(哲学・歴史学等)、「国際言語文化学コース」(文学・言語学等)、「社会・文化行動学コース」(地理学・社会学・文化人類学等)で、人文科学の諸分野を専門的に学ぶことができます。同時にコースを跨ぐことで、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの地域の文化を多面的・総合的に学ぶことができます。

●少人数で充実した外国語教育

ネイティブによる英語、ドイツ語、フランス語、中国語の少人数授業、そして留学制度によって、高度な語学力を獲得できます。さらに、これらの言語を用いる地域の社会や文化を並行して学ぶことで、国際人としての真のコミュニケーション力が身に付きます。学部には、世界各地からの留学生も在籍しています。

文化学科カリキュラムの図 (令和6年度現在)

1年生		2年生		3年生		4年生	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
地域から考える文化と社会	文化学研究総論	専門セミナー(コース別科目)		演習		卒業論文執筆	
基礎科目		基礎科目		発展科目		発展科目	
共通教育科目 (社会科学・人文科学・自然科学に関する科目や、語学科目など)		発展科目		文化資源学コース			
				国際言語文化学コース			
				社会・文化行動学コース			

特色ある授業

特殊講義 忍者の歴史A

忍者といえば、漫画や映画でおなじみです。この講義では、そのような忍者ではなく、彼らのもとなった、歴史上に実在した忍者を解説しています。実在した忍者は、忍びなどと呼ばれ、忍び働きをしていた足軽でした。忍び働きとは、諜報や奇襲などの活動です。彼らは戦争にはなくてはならない存在でした。また、忍者といえば、伊賀・甲賀地域の忍者が有名です。なぜ忍者が伊賀・甲賀地域に多く発生したのかということも、重要な問題です。忍者は三重県の伊賀地域にゆかりの深い存在ですし、歴史学として、しっかり研究することができる、興味深い研究対象です。



STRONG POINTS *文化学科のここに注目*

文化学科で取得できる：教員免許・図書館司書・学芸員3つの資格

専門性を生かした資格取得、将来進路を見据えた学びが可能

教員免許

中学校教諭一種(国語・社会・英語)と、高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語)が取得可能です。主な就職先としては、公立・私立中学校および高等学校になります。

図書館司書

この資格が取れる国立大学は少なく、三重大学でも文化学科でのみ取得可能です。図書館司書は、図書館で専門的な職務に従事する資格であり、教員免許の資格を取得する者は、学校図書館で専門的な職務を行う「学校図書館司書教諭」の資格も取得できます。主な就職先としては、公立図書館や大学図書館になります。

学芸員

博物館や美術館で資料の収集・保管・展示をする専門職員の資格です。主な就職先としては、地方自治体、教育委員会、博物館および美術館になります。

法律経済学科

Department of Law and Economics

複雑で高度に専門化した現代社会を、適性や関心に沿って法学、政治学、経済学、経営学といった社会科学分野から学習するカリキュラムを用意しています。1年次は、専門学習に向けた問題意識の形成や社会科学の方法について学びます。そして2年次・3年次は、それぞれのコースのカリキュラムに沿って専門的な知識と理論的な考え方を学習します。また、3年次からは専門演習(ゼミ)に所属し、様々な社会現象を対象に考察・議論し、学んできた専門の知識や方法を活用する力を養い、4年間の集大成として4年次に卒業研究をまとめます。

学びの特色

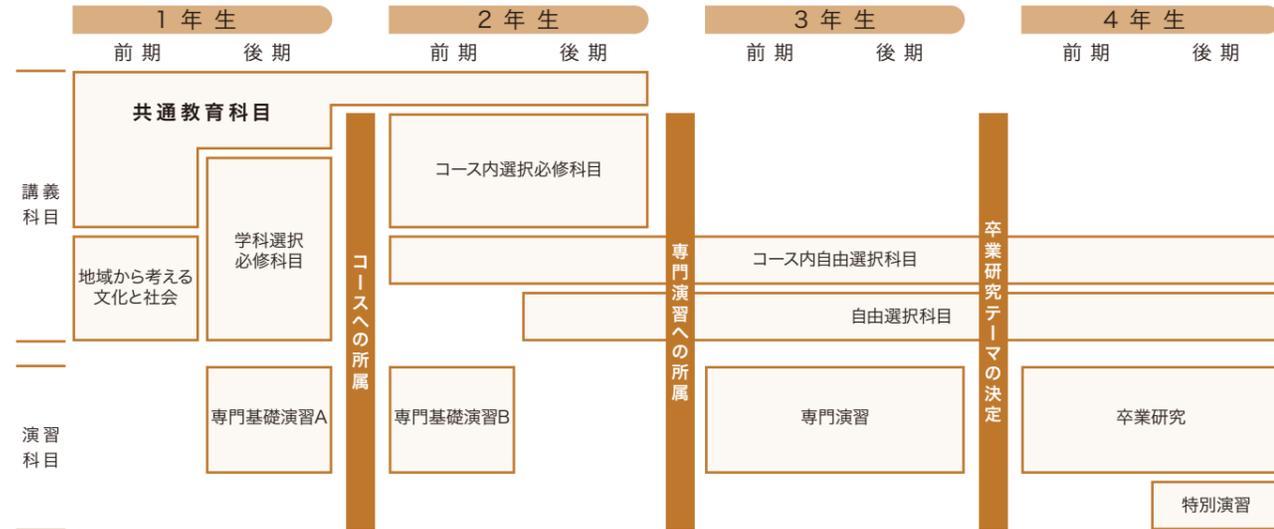
● 社会科学を縦横に学べる柔軟なカリキュラム

「法政コース」では法学と政治学について、「経済経営コース」では経済学と経営学について、それぞれの分野を体系的に学ぶことができます。「公共政策コース」では社会科学を学際的に学び、現代社会の諸課題の解決に向けて新しい価値を創造する力の修得を目指します。

● 少人数教育が実現する深く広い学び

リベラルアーツとは、専門教育前の共通教育のことではなく、自身の専門分野を深く学び、そして関心に沿って周辺分野に学びを広げる、多角的な視野と思考力を身に付ける教育のことです。初年度からの積極的な少人数教育により、主体的な学習能力や論理的思考力そして問題解決能力の形成を重視した能力形成を目指しています。

法律経済学科カリキュラムの図 (令和6年度現在)



特色ある授業

現代裁判論

第一線で活躍している弁護士による授業です。民事裁判と刑事裁判を中心に、現実に行われている裁判の仕組みや運用状況を学び、法律とのギャップや課題を考えます。また、裁判傍聴や刑務所見学なども行います。

この授業により、法や裁判へのイメージが変わるはずです。



STRONG POINTS *法律経済学科のここに注目*

3つのコースで社会科学のより自在な学びを実現

法律経済学科のカリキュラムでは、3年次に所属が確定する専門演習(ゼミ)の選択で、所属するコースが決まります。それまで、様々な講義を通して自分の適性や関心を確認して進路を選択することができます。一方で、コースにはそれぞれ選択必修科目が定められ、それぞれのコースで専門性を高める学びのための履修モデルが示されています。

法政コース

法の適切な解釈力や国家・社会の制度等に関する基礎知識を学修します。これを通して、法に基づき公正な運用と問題解決を図れる能力の修得を目指します。

経済経営コース

社会経済および企業経営の基本構造とそのメカニズムの基礎を学修します。これを通して、社会経済の現状や動向を的確に捉え、将来を見通して判断し行動できる能力の修得を目指します。

公共政策コース

社会の課題解決を志向して学際的に学び、幅広く社会科学の識見や方法の基礎を学修します。これを通して、課題解決に向けたグランドデザインを描き遂行する能力の修得を目指します。

将来のVISION

進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路

人文学部は、これまでに多くの卒業生を送りだし、先輩たちからは、社会の各方面で中堅として活躍しているとの便りが届いています。卒業生の進路は、極めて幅広く、主に一般企業・公務員・教員の3方面に分かれますが、大学院に進学する人もいます。最も多く就職するのは一般企業で、その分野は、製造業・情報サービス・卸小売業・金融保険業・建築業・運輸通信など多様です。就職先の地域別割合は、県内が2~3割、東海地域が4~5割で、地域に根を下ろした本学部の特徴が表れています。

一般企業

三重県内

百五銀行、三十三フィナンシャルグループ、住友電装、三重交通、三交コミュニティ、三交不動産、三重電子計算センター、ミエデンシステムソリューション、安永、松阪電子計算センター、志摩観光ホテル

三重県外

中部電力、東邦ガス、三菱重工業、トヨタ自動車、ダイキン工業、岐阜放送、日本政策金融公庫、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、東海労働金庫、日本政策金融公庫、静岡銀行、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、JTB、NTT西日本、東海旅客鉄道、近畿日本鉄道、中京総合警備保障、日本通運

公務員関係

名古屋税関、三重労働局、愛知労働局、中部地方整備局、名古屋地方検察庁、東海北陸厚生局、県庁(三重、愛知、滋賀、奈良、和歌山、石川、富山、他)、市役所(津市、四日市市、伊賀市、桑名市、伊賀市、伊勢市、亀山市、松阪市、名張市、名古屋市、岡崎市、稲沢市、豊田市、刈谷市、大府市、小牧市、瀬戸市、蒲郡市、豊橋市、神戸市、新潟市、小松市、一宮市、他)、横浜市(司書)、東京23区、県警、警察行政

教員・その他

中学校教員、高校教員、大学職員

【大学院進学】

三重大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、一橋大学大学院、早稲田大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、同志社大学大学院、他(法科大学院進学者も含まれます)

大学院で学ぶ

人文社会科学研究科は、人文社会科学の諸分野における高度の専門知識に基づき、狭い専門領域にとらわれず、学際的、総合的な教育研究を行うことにより、複雑化、多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者及び専門的職業人を育成することを目指します。

大学院人文社会科学研究科

地域文化論専攻(修士課程・2年間)

歴史学、美術史学、哲学・思想、地理学、文化人類学、社会学、図書館・情報学、文学、言語学、忍者・忍者学などの様々な領域から、専門分野を中心に学ぶことができます。日本と世界の文化に関する高度な理解をめざし、自ら情報を発信する意欲を持つ人を求めます。

社会科学専攻(修士課程・2年間)

法律、政治、経済、経営に関連する専門分野の研究を通じて、地域の課題を解決しようとし、政策形成、企業活動などに指導的役割を發揮しうる人材を育成します。理論だけでなく、実践力も身につけたいと考える人を求めます。

学生からのメッセージ VOICE



文化学科 ヨーロッパ・地中海地域
4年 西山 実怜さん(愛知県立五条高等学校出身)

文化学科では、言語・歴史・思想といった人文科学の多様な分野を通じて、人間の営みや社会の成り立ちを探究します。1年次には幅広い人文科学分野に触れ、2年次以降は専門分野を選択できる柔軟なカリキュラムが大きな魅力です。

また、海外語学研修や留学制度も充実しており、私も交換留学制度でドイツに留学しました。文化や社会の多様性を実際に体感することで、教室内での学びを超えた知見と理解を深めることができました。

専門性と柔軟性、そして国際性を兼ね備えた学びの環境がここにはあります。多様な授業や出会いを通して、きっと自分だけの問いやテーマに出会えるはずです。ぜひ文化学科で自分の可能性を広げてみませんか。



法律経済学科 現代経済コース
4年 井上 功輝さん(愛知県立名古屋南高等学校出身)

私は三重大学で経済学の面白さに気づき、現在は日本の社会政策の研究をしています。

経済学のようないわゆる社会科学は、人間社会の中で起こる様々な現象を研究する学問です。人間社会の複雑さゆえに様々な観点から構築された理論や研究成果があり、それらをもとに社会を分析することは非常に面白いものですが、その性質は時に社会の分断の種になることもあります。大学で社会科学を学ぶことで、社会で起こる対立がどのような点から生じ、それらを公正に解決するためにはどうすればよいかを考える力をつけることができます。

大学での学びはとても楽しく有意義なものです。ぜひ三重大学で一緒に勉強しましょう!

教育学部

学校教育教員養成課程

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人〔関心・意欲・態度〕
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人〔知識・理解〕
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人〔思考・判断〕
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人〔技能・表現〕

ディプロマ・ポリシー

このような人を育てます

- 幼児や児童生徒の多様性を尊重し、個々の発達段階や特性、生活環境を総合的に理解することができる。また、一人ひとりの心身の成長を支援し、不登校やいじめなど教育現場で緊急を要する課題に迅速かつ適切に対応することができる。〔感じる力〕
- 教育に関する専門的な知識や技能を基に、学校運営や授業計画の立案・実施など、教育現場で遭遇する多様な課題を多角的かつ論理的に考察し、実践的な解決策を提案し実行することができる。〔考える力〕
- 教育現場の多様性を考慮し、同僚や保護者と効果的かつ適切に意思疎通を行い、教育課題に関する共感と理解を深めることができる。また、文化的背景や個々のニーズに応じた対話を通じて、教育課題の解決に向けて協働することができる。〔コミュニケーション力〕
- 教育現場で遭遇する多様な課題に対し、創意工夫を重ねて適切な解決策を考案し実行することができる。また、協調性と責任感を備え、状況や条件に応じた行動を選択し、倫理的基準に則った判断を行うことができる。〔行動する力〕



学部HPはこちらから



教育学部イメージ動画



教育実習風景

三重大学教育学部は、教員養成を目的とした学部です。幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校を中心に、未来の教育を担う教員の養成に力を注いでいます。

本学部では、三重県教育委員会や県内各市の教育委員会と連携し、教員として着任する時点で、教室や学校運営にスムーズに取り組んでいけるように、1年次から学校現場における教員の活動を体験できる「プレアシスタント」プログラムを実施しています。2年次以降も、学校現場における体験学修と学部での授業のつながりを重視したカリキュラムを構築しており、将来、三重県をはじめとする東海地方の教育課題に的確に対応できる力を育てます。

教員への希望を持って入学された新入生が、本学部で学ぶことで、教員としての必要な資質や能力を段階的に身につけることができます。それは、単に授業ができることや教室運営ができることだけではなく、学校は、子どもたちにとって社会そのものであり、教員の言動は子どもたちの心に深く影響を与えます。だからこそ、子どもたちが安心して学校生活を送るための資質や能力を備えておく必要があります。

将来の日本を支える子どもたちの基礎を形作る義務教育や高等学校の大切な時期に、教員は授業はもちろん、学校生活のあらゆる場面で子どもたちに多くのことを示していく必要があります。みなさんが将来、子どもたちの信頼を集め、誇りと自信を持って学校現場で活躍し、常に学び続ける意識を持って成長できる教員へと成長できるよう、教育学部教員一同、全力でサポートします。子どもたちの未来を支える教育の道を、三重大学教育学部で一緒に歩んでいきましょう。



教育学部長・教育学研究科長
宮岡 邦任

学校教育教員養成課程

Program for Teacher Training

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員となることをめざします。教員免許の取得を卒業要件としています。

学びの特色

● 教育実践力を身につける

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「キャリア教育入門」をはじめとして、4年間を通した系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるためのカリキュラム(教員養成コア科目群)が設定されており、体系的な学びを進めていくことができます。

● 附属学校園での実地活動

教育学部には4つの附属学校園(附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校)があります。各附属学校園では主に教育実習を行います。それだけでなく、そこでの日常的な教育活動(学習支援、運動会等の補助、クラブ活動の支援等)に指導補助者として参加することができ、実地活動として学部の教員からきめの細かい実践的な指導を受けることができます。

● 地域の学校・社会との連携

教育学部に隣接する一身田校区の4校(栗真小、白塚小、一身田小、一身田中)及び橋北校区の5校園(南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中)と連携しています。各学校園の教育活動に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭等、多岐にわたっています。

教育カリキュラム

13の専門コースに分かれ、コース専攻の専門的知識、技能を身につけます。国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科への専門的理解を深める10コースと、知的障害・肢体不自由・病弱等特別な教育的ニーズを有する人々の支援に必要な知識と技術を修得する特別支援教育コース、子どもたちが豊かに過ごす成長のための保育・幼児教育の理論と実践を学ぶ幼児教育コース、教育学および教育心理学を基礎とした教育実践を行いながら、教育全般に関わる諸問題を体系的に学び研究する学校教育コースがあります。

コースの概要

国語教育コース

ことばと心を育む教育を追究する

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信しています。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための様々な知見を得ることができます。

社会科教育コース

教育現場で必要な社会を見る目を養おう

現代の社会構造は複雑化しており、学校教育の現場でもより高度な分析力と対応力が求められています。本コースでは、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学・倫理学、社会科教育学の幅広い分野から、社会に適応できる教科力を養います。

数学教育コース

「数学」と「教育」で未来創造!

数学は豊かな未来の創造のために欠かせない普遍の真理です。数学を深く学び、学校現場とも連携し、算数・数学教育の理論的・実践的能力をもった教員になることをめざします。数学で真理を探究し、数学教育で未来を創造しましょう。

理科教育コース

子どもの未来を拓く理科教師への4年間

理論的・実践的アプローチを通して、理科の知識、技能、および指導力が高く、教材に関する高い研究開発力をもち、教育現場で児童・生徒および教員にとって必要な理科教育の課題を的確に把握する洞察力をもった教員の養成をめざします。

音楽教育コース

仲間とつくる音楽の楽しさを人に伝える

声楽、合唱、器楽、合奏、作曲、音楽教育学などを基礎から学ぶことができます。そして音楽の各分野の専門性を活かし、地域や社会に働きかけることのできる幅広い実践力を備えた教員、仲間と一緒につくる音楽の楽しさを伝えることが出来る教員の育成をめざします。

美術教育コース

美術の魅力を知りそれを教育に活かす

1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史の各分野の制作と理論の追究と、美術教育の実践と理論の探求を通して専門的能力を身につけ、同時に学校等の教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

将来のVISION

進学・就職状況

柔軟なサポートで学生を支援

近年、全国的に教員採用数が増えてきています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生はほとんどが教員となっています。教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見るとほぼ全学生が就職しています。

教育学部全体の就職率
就職希望者に対する就職内定率

90.2%

『三重大学概要2024』より 令和5年度就職状況

公立小・中学校の合格率
採用試験受験者に対する合格率

62.8%

三重大学教育学部教職支援室より 令和6年度採用試験合格状況

三重県小・中学校合格率
三重県の採用試験受験者に対する合格率

67.2%

三重大学教育学部教職支援室より 令和6年度採用試験合格状況

教職支援センター教員養成支援部門の教採サポート

教員採用試験は年々多様化しており人物重視の傾向が続いています。そのためどの自治体も面接を重視する試験を実施しており、私たちはそのための対策を行っています。

具体的には、教育学部同窓会・父母連絡会の支援を得て教職教養と小学校専門のDVD講座をはじめ、個人面接、集団面接、集団討論対策セミナーや小学校受験者のために体育実技や音楽実技の講習会も実施しています。特に集団面接や集団討論は事前の対策が必須で多くの学生が参加しています。幼稚園・保育園対策講座や出願指導も専門家を招聘し個別指導を行っています。

また、教員採用試験にかかる情報を広く収集するとともに、学生の教職への疑問に答える等の相談を通してサポートにあたっています。

大学院で学ぶ

大学院教育学研究科は、令和3年度から教職実践高度化専攻(教職大学院)に一本化した大学院となりました。

教職大学院は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダー及び将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新入教員を養成することを目的としています。

「学校経営力開発コース」と「教育実践力開発コース」の2コースから構成されており、コース合同で授業を行うことで、現職教員学生と学部新卒学生等が相互に刺激し学び合うことを重視しています。

大学院教育学研究科

専攻

教職実践高度化専攻
(教職大学院)

コース(分野)

学校経営力開発
(経営力開発)
(学習開発)

教育実践力開発
(教科教育高度化)
(特別支援教育)

コースの概要

保健体育コース

健康で運動好きな子どもを育てよう!

運動の楽しさや面白さ、精一杯体を動かすことへの気持ちよさを味わえる、健康や運動に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童、生徒を育てる教員を養成するためのカリキュラム(理論・実技)があります。

技術・ものづくり教育コース

ものづくり教育のエキスパートを養成します

将来、技術立国日本を支える子どもたちを育てるために、技術ものづくり教育の基盤となる理論を学び、技能を身につけるとともに、ものづくりの楽しさと技術の素晴らしさを伝えることのできる教育方法を学びます。

家政教育コース

広い視野から生活と環境を探求する

生活に関わる様々な事象について、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学等の広範な領域から理論的・実践的に学びつつ、それらを家庭科に生かす教員になることをめざします。

英語教育コース

世界の英語を教えるために

グローバル化の時代にふさわしい実践的な英語力を身につけるとともに、「英語学」「英語文学」「英語教育」「異文化理解」の観点から英語について総合的に学び、確かな言語感覚、国際感覚に裏打ちされた英語教員を育成します。

特色ある授業

特教職入門

「教職入門」は、1年次の必修科目です。卒業後に教職に就くことに向けて教育学部ではさまざまなことを学んでいきますが、その入り口がこの授業です。学校現場と教師の仕事をめぐるさまざまなトピックを学びながらともに教師を目指す仲間との議論を重ね、教職のイメージを豊かにふくらませて、教師として働くことへの期待や希望、教職に向けた自分自身の学びの課題を確かめていきます。



特別支援教育入門

今日、すべての学校園で、特別支援教育が行われています。支援が必要な子どもたちも、地域の学校園で共に学ぶインクルーシブ教育の重要性も高まっています。この授業では、教員免許を取得する教育学部の学生が、幼・小・中・高・特別支援等、あらゆる教育現場で求められる、子どもたち一人ひとりを支援する意義や指導法の基礎等を学びます。介護等体験に臨む上で大切な基本的姿勢の涵養もめざしています。



特別支援教育コース

一人ひとりの子どもに応じた個別の支援

現在、すべての学校園で特別支援教育は行われています。発達の違い、人とのコミュニケーションの苦手さ、学習のつまずき、身体の動きの制約、病状や後遺症の影響等、課題や困難を抱える子どもたち一人ひとりを支援できる教員を養成します。

幼児教育コース

環境とかかわり主体的に遊ぶ子どもを育てるために

乳幼児期は豊かな人間性の基礎を培う重要な時期です。本コースでは、高い専門性と実践力のある幼稚園教諭・保育士を育成するために、講義や演習、実習等を通して必要な専門的知識や方法を体系的に学ぶことができます。

学校教育コース 教育学専攻

広い視野から学ぶ教育の本質

学校教育の日常に横たわる営みに複眼的にアプローチすることで、教育の在り方について理論と実践の両面から専門的能力を培うことをめざします。教育哲学、教育方法学(授業論・生活指導論・教育課程論)、教育経営学、教師教育学等の分野があります。

学校教育コース 教育心理学専攻

学校教育に活かせる心理学を学ぼう!

教育心理学専攻では、学校臨床心理学、学習心理学、社会心理学、認知発達心理学等の心理学の方法論を学び、子どもの育ちを支えるための専門的知識を持つ教師として、学校現場で活躍できる人材の育成をめざします。

STRONG POINTS *学校教育教員養成課程のここに注目*

未来の教師と現職の教師が語る会

教育現場の労働負担の重さが指摘される等、教職に対する戸惑いや不安を抱く学生も少なくありません。本学部では、教員としての学びを始めた1年生を対象に、附属学校園教員の協力のもと、教職へのモチベーションを高めるための語る会を行っています。学生からは「将来の不安なことを教員に聞くことができ意義のあるものであった。」等前向きで肯定的な意見が寄せられています。



教員採用試験セミナー

教職支援センター教員養成支援部門では、教員を目指す学生の就職を完全サポートしています。校長・教育行政経験者等によるスタッフが、集団討論練習や模擬授業練習等の教員採用試験セミナーを年間170回以上実施しています。このセミナーに7回以上参加した学生の約9割が教員採用試験に合格しています。また、学生の教職に対する疑問、不安、悩み等の相談にも応じています。



学生からのメッセージ VOICE



学校教育教員養成課程 数学教育コース
4年 石川 奈生さん(愛知県私立清林館高等学校出身)

数学教育コースでは、解析学、代数学、幾何学等、様々な大学数学を学びます。講義を受け始めた頃は、今まで習ってきた数学とは全くレベルが違うことに、高揚する気持ちと共に焦りも感じました。しかし、教育学部は少人数のコース制なので、周りの同期と仲良くなりやすく、一緒に問題を考える仲間がすぐできて、そのような不安は徐々に払拭されていきました。

講義では、数学の模擬授業を行う機会が多々あります。その度に「どのような教え方をすれば、生徒達は楽しく数学を学んでくれるのか」を同期や先生達と共に考えるのがとても楽しく、将来教師になった時に必ず役立てると感じています。ぜひ貴方も一緒に数学教育について楽しく学びましょう。



学校教育教員養成課程 理科教育コース
4年 中村 英里香さん(三重県立桑名高等学校出身)

教育学部では、教員に必要な知識・技能を身につけるだけでなく、教育実習などを通して実際に児童・生徒と関わりながら学ぶ機会が多くあります。

理科教育コースでは、物理・化学・生物・地学の各分野について、2年次までに基礎を幅広く学びます。また野外実習では、実験所に泊まり込みながら海洋生物の採取・観察を行ったり、里山の調査や地層・岩石の観察を行ったりと、教室での学びとは一味違う貴重な体験ができます。

教育学部の最大の魅力は、「教員になる」という同じ夢を持つ仲間たちと4年間ともに過ごし、互いに刺激し合いながら学び合い、成長していけることだと思います。ぜひ三重大学教育学部で私たちと一緒に学びましょう!

医学部

医学科／看護学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

このような人を育てます

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成すること」です。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

学部HPはこちらから



附属病院屋上

医学部は医学科と看護学科の2学科の分かれ、医学系、看護学系ともに学士課程修了後に医学系研究科の大学院課程に進むことができます。医学科は三重県における唯一の医師養成機関であり、看護学科は看護師、助産師、保健師養成の高等教育機関です。医学部には附属病院が設置され、高度先進医療や臨床研究の拠点であるとともに、医学科、看護学科学生教育の役割も果たしています。

「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上に努め、地域および国際社会に貢献する」ことを教育目標としています。医学科では1年生から6年生まで、看護科では1年生から4年生まで一貫した医学教育を提供しており、1-2学年から地域医療基盤型の実習を導入し、基本的な臨床スキルを磨き、臨床実習にスムーズに移行できるようにカリキュラムを構成しています。また、国際的な教育研究活動としては、医学科第6学年までに半数近くが参加するアジア・アフリカ・欧州・北米・南米での海外臨床実習があります。更には研究マインドを涵養するための授業科目を備え、医学医療の発展を支える研究力の強化にも取り組んでいます。このように国際的に通用する高い能力を養い、地域・国際社会に貢献できる医療者を育成します。



医学系研究科長・医学部長
山 雅浩

医学科

School of Medicine

入学から第1学年後期まで、社会人としての教養と医療人に求められる専門職意識(プロフェッショナリズム)を身につけるための共通教育と研究室研修などの初期医学教育が行われます。研究室研修では、学生が個別に研究室に配属され、教員や大学院生とともに医学研究活動に従事します。第2学年前期から第3学年前期に基礎医学教育(解剖学や生理学などの講義、実習)を受け、第3学年後期から第4学年前期まで問題基盤型(PBL:problem-based learning)チュートリアル教育に参加します。PBLチュートリアル教育では、学生が主体的に学習する能力、仲間と協力して学習する能力の養成を図りながら、臨床医学と基礎医学との関係を学びます。第4学年には、診療技能を学ぶ基本的臨床技能教育が行われ、その実習終了後には、共用試験実施機構(全国80大学医学部により組織された試験統括機関)によるコンピュータ支援学力試験と客観的臨床能力試験を受験します。これらの試験に合格すれば、第4学年後期からの病院実習に参加することができます。病院での臨床実習では、平成24年に開設された新しい附属病院と地域の協力病院、海外の交流病院での実践的な教育が行われます。

学びの特色

● 実践的な臨床医学教育

臨床医学教育は、臨床課題を使用した問題基盤型チュートリアル教育から始まり、基本的臨床技能教育、診療参加型臨床実習に繋がっていきます。マナーやコミュニケーション能力を指導する専任教員が配置され、多くの診療シミュレーターが設置されています。

● 医学研究を志向する学生のためのカリキュラム

6年間を通して研究活動に参加する新医学専攻コースが選択コースとして提示されています。1年次には、全員が研究活動に参加する研究室研修があります。卒業後は、大学院医学系研究科への進学が可能です。

● 国際性豊かな学習環境

多くの海外交流大学からの交換学生が、本学での臨床実習に参加しており、国際的な学習環境が提供されています。また、早期海外体験実習、海外臨床実習など海外で学ぶ機会も多くあります。

● 地域を学びの場とした教育

入学後早期から、三重県や市町と連携した地域基盤型保健医療教育が実践されています。第4-6学年の臨床実習では、大学附属病院、地域病院、診療所での実習に参加します。

教育カリキュラム

第3学年後期-第4学年前期には、問題基盤型チュートリアル教育が行われます。これは、少人数グループによる協同学習と自学自習を通じて、学生が能動的な学習能力を向上させる学習方法です。実際の患者診療をシミュレーションした課題から、学生自らが学習課題を発見し、基礎医学教育で学んだ知識を駆使して問題解決を図ります。

診療参加型臨床実習

第4学年後期-第6学年前期には、附属病院、および関係教育病院での1年6ヶ月の臨床実習に参加します。従来の見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカル・クラークシップ方式を三重大学医学部医学科では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として患者さんに接することによって生まれる使命感を大切に、実地診療の場で、病気の診断・治療、患者さんへの生活支援を学んでいきます。第4、5学年学生は、全診療科のローテーション実習、第6学年学生は、各診療科の専門領域、地域病院、海外の交流大学附属病院での選択実習に参加します。



医学部医学科では日本医学教育評価機構(JACME)の認証を受け、世界医学教育連盟(WFME)の国際基準に基づく医学教育分野別評価基準に適合していることが認定されました。

特色ある授業

医療と社会

入学後から2年次まで、医師に求められるプロフェッショナリズムを理解し、地域貢献に求められる基本的な態度を学ぶための「地域基盤型保健医療実習」の授業があります。授業は、学内での講義と保健医療機関や地域コミュニティでの体験型学習により構成されます。この授業を通して、困難を持つ人々への共感的態度、医療倫理、医療と生活の関わりを理解する能力、コミュニケーション力などを修得します。



看護学科 School of Nursing

看護学科では、倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会への貢献はもとより、国際的な視野に立つて活動できる、人間的・専門的に高い資質を持った看護師、保健師(選択科目履修)、助産師(選択科目履修)を育成するためのカリキュラムを編成しています。

1-2年次には、人体の構造と機能、健康・疾病・障害に関する基礎となる知識と、看護学の基盤となる理論や技術を学び、人間の尊厳への配慮や倫理観を育成します。その後、各専門領域の知識を学ぶ科目と、実践の場に適応する能力を身につけるための演習や倫理実習科目では、人のライフサイクルや社会的ヘルスニーズ、地域特性など多様な観点から人間を総合的に理解し、科学的根拠に基づく個人の健康状態に応じた適切な看護実践を学び、国際的な視野で保健・医療・福祉システムをとらえ、多職種と連携する能力を高め、社会貢献の基盤を養います。また、科学的・論理的な思考とともに、看護に関する課題を解決しようとする態度や責任感を醸成するために、2年次から少人数教育での看護学ゼミナールが始まり、4年次には看護研究を行います。



学びの特色

● 恵まれた教育環境の中の看護学科

三重大学は人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部全てが1つのキャンパス内に統合された総合大学です。美しい自然環境に囲まれた環境に優しい大学です。

● 広い知識と豊かな人間性を養う環境

全学の共通教育やクラブ活動などを通して他学部との交流・情報交換を深めることができます。学生自治会が組織されており、人間形成に役立つものとして自主的活動が認められています。

● 看護学科と医学科の密接な連携のもとに相互に教育・研究が可能

看護学科と医学科の教員が相互に連携しながら教育・研究をしています。多職種連携教育(IPE)では、看護学生と医学生が地域の診療所などで一緒に実習しチーム医療の大切さを学んでいます。

● 隣接する医学部附属病院を中心とした総合的な実習体制の確保

看護学の実習は、隣接する高度先進医療を担う附属病院を中心に、県内関連機関において行います。また、各機関の実習担当者と教員が連携し、きめ細かい指導やサポートを行うことで学びの充実を図ります。

● 整備された情報ネットワークの利用

三重大学内のどこからでもインターネットにアクセスできます。看護学科棟内にも教育用LANが整備されており、e-learningなどを利用して学習できます。

● 活発な国際交流

三重大学では現在タイやドイツの大学と大学間協定を締結しており、看護学科の学生も国際インターンシップ制度を活用して海外での大学における研修に参加しています。また、海外で行われる国際ジョイントセミナーに参加することや、学内における協定大学からの学生や教員との交流を通し、国際社会で幅広く活躍できる能力を養う機会が多くあります。



● 学生と教員との連携による社会貢献

将来の自然災害に備える地域の力を強めるために、災害看護学の要素を入れた地域社会に役立つ研究や情報発信、学生とともに行う地域に根ざした社会貢献を続けています。これにより学生の視野も広がり、人間的な成長も可能になります。

臨地実習

医療や保健・福祉の現場で、健康課題をもつ人や家族と向き合いながら看護の実践力を高めます。三重県内29市町で行う対象理解基礎実習(1年生)から始まり、附属病院での看護介入基礎実習(2年生)を経て、3年生の後期から病院や高齢者施設、訪問看護ステーション等で母性、小児、成人、老年、精神各領域での臨地実習を行います。4年生では看護マネジメント実習、各自が選んだ専門領域で行う看護学統合実習があり、学年進行にあわせて段階的に実習内容を深め、看護の専門性、かかわる人々との関係づくり、地域連携や多職種との連携・協働について実践的に学びます。



特色ある授業

認知症と看護(必修科目 3年前期)

認知症と看護は、認知症の病態と関連要因を理解し、認知症の人の生活の質を高めるケアの視点および家族支援の視点から看護展開できる基礎的能力を養うための科目です。

認知症に関する基礎的な知識と、法律や政策など社会の動向を踏まえた多角的な視点を習得した上で、事例を通して認知症を持つ人に対する看護支援について具体的に考える中で、認知症ケア・家族支援について学んでいきます。



将来のVISION

進学・就職状況

医学科 医師、医学研究者、保健行政担当者として活躍しています。

三重大学医学部附属病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院、市立伊勢総合病院、市立四日市病院、桑名市総合医療センター、三重県立総合医療センター、四日市羽津医療センター、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院、松阪市民病院、鈴鹿中央病院、松阪中央総合病院、名古屋掖済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、豊田厚生病院、一宮市立市民病院、藤田医科大学ばんだね病院、大阪大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、名古屋掖済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、一宮市立市民病院、多治見市民病院、一宮市立市民病院、一宮西病院、中京病院、静岡県立総合病院、豊田厚生病院、滋賀県立総合病院、日本鋼管病院、東京医科歯科大学病院、広島赤十字・原爆病院、中濃厚生病院、大阪急性期・総合医療センター、板橋中央総合病院、伊賀市立上野総合市民病院、東京医科大学八王子医療センター、近畿中央病院、上都賀総合病院、堺市立総合医療センター、東京新宿メディカルセンター、多根総合病院、西宮市立中央病院、公立甲賀病院公立甲賀病院、日立製作所ひたちなか総合病院 など

看護学科 看護師、保健師、助産師等として活躍しています。

看護師 三重大学医学部附属病院、三重県立総合医療センター、三重県立こころの医療センター、三重病院、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院、市立四日市病院、済生会松阪総合病院、鈴鹿中央総合病院、伊賀市立上野総合市民病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、藤田医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立こども病院、京都大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、日本医科大学付属病院、東京女子医科大学病院
助産師 三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、聖路加国際病院、埼玉医科大学病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
保健師 三重県、津市、いなべ市、鈴鹿市、松阪市、明和町、多気町、玉城町、伊勢市、志摩市、熊野市、愛知県、名古屋市、常滑市、春日井市、津島市、京都市、奈良県
進学先 三重大学大学院医学系研究科、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、和歌山県立医科大学助産学専攻科、浜松医科大学大学院医学系研究科(助産師養成コース)、名古屋市立大学大学院看護学研究科(助産学領域)、金沢大学養護教諭特別別科 など

大学院で学ぶ

医学科 大学院医学系研究科

医科学専攻(修士課程・2年間)

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成します。

ここが特長

- 1年次前期を中心に医科学全般に関する講義を集中的に行い、1年次後期からの研究指導では論文作成に必要な知識・技能を習得します。
- 医科学専攻の講義は、日英二か国語で行われており、英語力を養う良い機会となります。
- 医学系研究に必要な倫理観を習得するための、研究倫理教育を行っています。

生命医科学専攻(博士課程・4年間)

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成しかつ優れた研究成果を世界に発信します。

ここが特長

- 令和5年度より京都大学などと共同で文部科学省の「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に選定され、多様な新ニーズに対応したがん臨床とがん研究の教育指導により、高度ながん医療、がん研究等を実践できる優れたがん専門医療人を養成しています。

看護学科 大学院医学系研究科

看護学専攻(博士前期課程・2年間/博士後期課程・3年間)

博士前期課程は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成します。3つの教育研究領域と10の専門分野から構成され、履修方法によって、修士論文コース・高度実践看護師(専門看護師:CNS)コース・看護教育学上級実践者(Clinical Nurse Educator:CNE)コースがあります。

博士後期課程は、「俯瞰的視野」をもち、他の学問領域等と協議しながら新たな知見を導き出し、地域に根ざした独自性豊かな看護学研究成果を生み出すことのできる人材を育成し、優れた研究成果を世界に発信することを目的としています。1つの領域と6つの教育研究分野から構成され、看護学より高度な教育・研究の実践を目指します。

学生からのメッセージ VOICE



医学部 6年 眞鍋 君唯さん(大阪府立大手前高等学校出身)

三重大学には挑戦できる環境が整っています。1年生で全員が研究室に配属され、長く研究を続けて学会発表を行う人も多くいます。また三重大学は海外との提携校が充実しており、1年生から早期海外体験実習に参加可能です。4年生からの病院実習では、大学病院はもちろん、三重県内の様々な市中病院で実習できるのも三重大学の特徴です。6年間で医学知識を習得するのはもちろんのこと、医師に必要な英語力、思考力、行動力を伸ばせます。医学部の生活は単調で平凡な日々かと思いましたが、見事に裏切られました。忙しい時もありますが、自分次第でとても楽しく充実した学生生活にできます。好きなことに思う存分打ち込む6年間にしましょう。



看護学科 4年 北川 莉子さん(三重県立津高等学校出身)

看護学科では、目標に向かって努力できる充実した環境が整っています。講義や課題では、仲間と支え合いながら学び、成長できる楽しさがあります。附属病院での実習では、患者さんとの関わりを通して、教科書だけでは得られない貴重な学びや大切な時間を得ることができます。そのような講義や実習を通して、確かな知識と技術を身につけ、自信を持って成長することができます。



看護学科 4年 斎藤 運さん(愛知県立成章高等学校出身)

僕が所属している看護学科では看護の専門的な知識を身につけるだけでなく、実習や演習を通して仲間と助け合い問題を解決するといったような、社会に出てから非常に重要である力を身につけることができます。実習では隣接する三重大学附属病院など、三重県内の病院で実習を行い、実際に患者さんと看護師さんとコミュニケーションを取ることで、とてもいい経験ができました。三重大学はキャンパスが一部に集合しているため他学部の人たち関わることで、様々な刺激を受け人間として成長できたり、一生の仲間や友人ができました。ぜひ三重大学で楽しいキャンパスライフを過ごしましょう!

工学部

総合工学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心があり、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらに応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

このような人を育てます

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

学部HPはこちら



実験(ゼミ)風景



工学部長
森 香津夫

三重大は東海・北陸・近畿地域で第3位の広いキャンパスに全ての学部が立地した文理融合型大学です。その中で工学部には最多数の学生が在籍し、本学の中核を担う学部です。社会における工学部の役割は我々の生活をより豊かにするための「もの」創り(作り、造り)技術を教育・研究することであり、「科学技術創造立国」を目指す我が国では極めて重要な役割を担っています。

本学部では三重県の豊かな自然の中で、学生と教員のふれあいを大切に教育を基盤として地域から世界に羽ばたく高度専門技術者を育成し、関連業界で中核として活躍することで地域社会をはじめとする国内外に技術的貢献をすることを目指しています。人類の共生、福祉の増進、及び社会の発展に貢献することを志して、昨今の社会問題(エネルギー・環境、少子高齢化・人材不足、防災対策等)に対して技術の力で対処する問題解決能力を持ったバランスの取れた人材を育成することを目的としています。

総合工学科

Department of Engineering

三重大を取り巻く環境は、材料・エネルギー・IoT関連・化成品・化学工業・防災減災など、極めて裾野が広く多岐にわたっており、それらを継続的に力強く支える人材が必要とされています。つまり、専門分野の深い知識と同時に、工学に共通する幅広い知識及び情報関連技術を有する人材を育てることが求められています。

そこで、各専門分野の育成人数バランスを、産業界の要請あるいは学生の希望に柔軟に対応させるため、工学部全体を1学科とし、専門分野ごとのコース制を導入しました。

また、広い視野を持ち、問題を発見・解決する能力を持った人材を育成するため、学部修士一貫コースを設定しました。大学院へ進学する希望者のうち、学部修士一貫コースへの選抜を3年次終了時に行います。学部修士一貫コースでは、卒業研究を行う代わりに長期インターンシップを履修することができます。これにより、問題発見・解決力、課題探求力、先端技術を取り込む力及びコミュニケーション能力を民間企業や各種研究所にて身につけることができます。

このような人材を育成します

- 工学共通の幅広い知識、及び情報関連技術を有する人材
- 異分野とのコミュニケーション能力を持つ人材
- コースの垣根を超えた学際分野も理解する研究者・リーダー
- 本学卒業・修了後の実社会で自己学習できる人材
- 卒業・修了後の進路が展望できる人材

1学科
6コース

定員
430名

3年次編入
35名

機械工学コース

目安:95名程度(うち3年次編入:10名)

電気電子工学コース

目安:80名程度(うち3年次編入:10名)

電子情報工学コース

目安:40名程度

応用化学コース

目安:96名程度

建築学コース

目安:54名程度(うち3年次編入:10名)

情報工学コース

目安:100名程度(うち3年次編入:5名)

1年次
定員:430名

2年次
定員:430名

3年次
定員:430名

4年次
3年次編入:35名

機械工学コース

レオナルド・ダ・ヴィンチは、ヘリコプターで空を飛ぶことを夢見ました。機械はそのような人類の夢をいくつも実現し、豊かな生活を築き上げてきました。現在では、人体から宇宙まで機械を必要とする分野が広がっています。機械工学コースでは、講義・演習、工場見学、企業でのインターンシップを通じて、社会に貢献する創造的設計・製造に不可欠な知識・技術を習得できます。

学びの特色

● 専門分野をしっかりと身につけるカリキュラム

大学での講義に必要な基礎的な物理、数学の導入教育、専門分野を自主的に学習し応用力を高めるための演習付き科目、設計能力、問題解決能力を伸ばすための創成型科目、卒業研究などの専門的な能力を着実に修得するカリキュラムが用意されています。

● 社会で活躍できる人材の育成

機械技術者、研究者として成長することを早期に自覚するため、入学初年度から工場見学、合宿研修が実施されています。専門知識の修得に加え、教員による綿密な研究指導によりコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を修得し、社会で通用する総合的な能力が身につけられます。

ロボティクス・メカトロニクス講座

人間工学、ロボット工学、制御工学、情報工学から心理学といった幅広い学問分野を統合して、生命・医療・福祉分野、製造分野、教育分野、さらには車などの移動機械分野まで、幅広い分野に対して利用価値の高い知能機械システムの開発を行っています。特に、高齢者や障がい者の機能回復を実現する医療・福祉ロボット、工場内で重量物を軽快に運搬できる重労働支援システム、車のドライバーを支援する運転アシスト技術、さらには、AIやIoT技術を取り入れた匠の技を継承できる次世代型ものづくりシステムなどの開発に力を入れています。

機能創成プロセス講座

実際のモノ作りの際に基礎となる、素材から必要な形状を創製するための加工技術の研究を行っています。溶接やレーザーを用いた溶融による接合と切断、工具を用いた切削による材料除去、プレスを用いた変形による成形加工に加えて、産業界の様々なニーズに応えるための新規加工法の開発にも取り組んでいます。

機械物理学講座

広く現代物理学と材料科学の視点から、機械工学に関わる幅広い分野の基礎学問の構築と革新を目指しています。医療分野への展開を目指した心臓や脊椎の力学的機能評価、生体模倣機能性材料の開発、凝縮系物理学の理論的研究、単一電子トランジスタの応用研究、量子力学を応用した振動・制御理論の研究、プラズマ蒸着法による機能性薄膜の開発、半導体物性や結晶成長のシミュレーションなどに取り組んでいます。

環境エネルギー講座

流体工学や熱工学に基づいた、新しいエネルギーの開発やエネルギーフローの効率化による環境配慮型の資源利用の達成を目的として、風力発電や燃料電池に関わる技術開発や、脱炭素化社会実現のための技術として、光触媒によるCO₂還元、バイオガス由来水素製造、スマートシティ・ネットワークの開発、これらの機器の要素開発に不可欠である複雑乱流や混相流のシミュレーション及び実験技術の開発を行っています。

特色ある授業

機械工学 フレッシュマンゼミナール

医用・福祉工学、再生可能エネルギー、ロボティクス、量子応用、機能加工などコース内で行われている最先端研究の実際を各研究室が紹介、実学として機械設計に不可欠なCADの入門実習、技術者倫理など、機械技術者として関わる世界を一望できるよう組み立てられた授業です。

機械工学コースに配属された学生が今後の勉学への意欲を高め、目指すべき技術者像、将来の進路について考える貴重な機会となります。

STRONG POINTS *機械工学コースのここに注目*

社会に貢献する技術

知能ロボティクス研究室では、人間工学に基づくユーザビリティを追求したロボット制御技術の研究し、社会に貢献できる機械システムや知能ロボットの開発を行っています。

特に、生命・医療・福祉の分野における支援ロボットの開発や重労働や危険作業を支援するロボット制御技術の開発に力を入れています。

(右の写真は上肢が不自由な方でも車いすで使用できるようになる上肢動作支援用ウェアラブルロボット、右の写真は不整地走行用パーソナルモビリティです。)



電気電子工学コース

テレビなどの家電製品のみならず、携帯電話、自動車、さらには進展が著しいロボット技術やディスプレイ技術は、エレクトロニクスによって支えられています。また、太陽電池などの環境技術、ナノテクなどの最先端科学も電気電子工学の技術者が活躍する分野です。電気電子工学コースでは、広く社会から求められているエレクトロニクス分野で活躍する技術者を育てます。

学びの特色

● 自ら考える力をつけ、技術者に必要な基本的スキルを学ぶ

1・2年生では、工学に必要な数学や物理、化学などの自然基礎科目とともに、電気電子工学の重要な基礎科目である電気回路論、電子回路論、電磁気学および計算機基礎などを学びます。これらの科目では講義のみならず演習も取り入れることにより、自ら考える力を身につけます。また3年生では、電気システム、通信システムデバイス、量子・光ナノエレクトロニクスの3つの専門分野について本格的に学びます。専門的な講義に加えて、実験や実習を数多く取り入れることにより、計測技術や報告書の書き方といった技術者として基本的なスキルも習得します。

● 先端研究に従事して、もの作りと仕組み作りを理解します

4年生では、電気電子工学の技術者として必須である専門英語やプレゼンテーション技法について学ぶとともに、各研究室に配属されて最先端の研究活動に従事します。卒業研究を通して、修士の先輩・仲間とのコミュニケーション能力を養い、工学としての「ものづくり」、「仕組み作り」を理解します。

電気システム工学講座

産業機器や人間環境で活躍するロボットに有用な制御手法の開発、それらに使われるモーターなどの駆動装置の研究、自然エネルギー発電のさらなる普及を目指した電力変換装置の高効率化に関する研究をしています。さらに、有機・無機複合技術による高分子材料の高機能化、磁性薄膜デバイスや環境発電への応用に関する研究も行っています。

情報通信・フォトニクス講座

情報通信社会を支える主要技術である通信システムデバイス分野の諸技術の研究を行っています。通信分野では、変復調技術、無線ネットワーク制御技術、無線通信プロトコルに関する研究を行っています。デバイス分野では、次世代無線通信向け無線・光融合デバイスや非破壊診断システムの研究開発、テラヘルツ材料・素子の開発を行っています。

量子・光ナノエレクトロニクス講座

量子状態や光の技術を利用した、デバイス開発、計測・加工技術開発、材料設計に取り組んでいます。光制御技術を応用した光学デバイスの開発、電子・イオン源の開発と表面分析への応用、機能性カーボン材料の生成とエレクトロニクス応用を行っています。また、量子状態を利用したデバイスの理論設計や人工多層膜・2次元原子層物質・トポロジカル物質などの材料設計を行っています。

特色ある授業

電気電子工学入門実験

電気電子工学分野の技術者にとって、視覚や聴覚などの感覚を磨くことは大変重要です。そこで1年生後期に開講される「電気電子工学入門実験」では、視覚や聴覚で認識できる物理現象とその現象を表す数学との関連を理解するための体験型実験を行っています。基本的な電子回路の作製やレゴロボットのプログラミングを行い、その動作を体感しながら、これからの学習や実験に必要な基礎的能力を体得します。



STRONG POINTS *電気電子工学コースのここに注目*

社会に貢献する技術

制御システム研究室では、医師に代わり医療診断するロボット、人の筋力を補うパワーアシストスーツ、危険地帯で人に代わり作業する遠隔操作ロボット、などの次世代ロボットを研究開発しています。機械装置、電子回路、ソフトウェアまで一貫して研究開発することで、独創的な制御システムを生み出し、その成果を国際会議などで世界に発信しています。



総合工学科

電子情報工学コース

現代社会では人工知能(AI)をはじめとするデジタル技術が必要不可欠であり、そのデジタル技術を根底で支えるものが半導体です。電子情報工学コースでは、半導体やデジタル技術に関する専門知識について基礎から学び、学んだ知識を深化させて実践力、表現力、国際感覚を養うことで、世界に通用する学術見識および社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な「真の価値」を持ったエンジニアを育成していきます。本コースは、令和6年度に設置された半導体・デジタル未来創造センターと連携して教育研究を行います。

学びの特色

● 幅広い知識とともに高度な実践力を育成

1~2年次では、電子工学の専門知識を習得するのに必要な数学、物理、および化学などの基礎科目を学ぶとともに、情報工学のコアとなる情報理論および計算機アーキテクチャを学びます。3年次では、集積回路、半導体物理、データサイエンスの専門分野について本格的に学びます。これらの科目では専門的な講義に加えて、演習や実験を行うことで高度な実践力を身につけます。

● 半導体の製造からAIまで電子情報産業に必要な知識と技術を身につける

電子情報工学コースでは、おもに半導体に関する分野とAIをはじめとしたデジタル分野に関する2つの専門領域について基礎から学ぶことができます。各教員は企業や国内外の大学・研究機関と共同研究をしているため、実習や卒業研究を通して世界最先端の技術を学ぶことができるとともに、社会人として必要不可欠となる実践力も身につけることができます。

半導体工学講座

● 窒化ガリウムおよび窒化アルミニウムに代表される窒化物半導体は、従来よりも高性能な半導体の素材として注目されています。半導体デバイス分野では、省エネルギー・高効率発光の次世代窒化物半導体の結晶成長およびデバイス作製を行っています。窒化物半導体結晶成長に関する開発、殺菌など深紫外光の応用、半導体光デバイス(発光・受光素子、高周波デバイス)の開発を行っています。

● 計算材料科学の立場から、コンピュータシミュレーションにより半導体および酸化物等さまざまな材料の構造的性質および電子的性質を予測する研究を行っています。半導体結晶成長や材料の構造安定性、物理的性質の解析・予測のための電子構造計算手法の開発および電子デバイスのための材料設計に関する研究に取り組んでいます。

デジタル工学講座

● 計算機によるさまざまな支援システムを構築しています。また、そのための基礎技術として、機械学習(ニューラルネットワークなど)の研究も行っています。機械学習技術を活用したさまざまな支援システムの構築(自然言語処理、画像処理分野)や 教育用タブレットアプリケーションの開発をおこなっています。

● AIやDXなど社会イノベーションに必要な不可欠となる基礎技術とその応用に関する研究を行っています。深層学習を用いて病理画像から疾患の進行度や疾患遺伝子の変異の予測、半導体の生産管理、路面標示の劣化度評価、ドローン農作物育成評価といった実社会で求められている画像AIに関する研究開発を産学連携で進めています。

特色ある授業

どんな授業を受けることができるの？

半導体やデジタル分野のエンジニアとして必要不可欠な基礎知識をつけるための授業が豊富に準備されています。また、これらの分野を習得するには電気工学や電子工学といった分野に関する知識も必要不可欠となります。電子情報工学コースでは、他のコースと講義の一部を共同で開講することで、半導体やデジタル分野のみならず関連分野に関する専門的知識も学ぶことができるようなカリキュラムになっています。



STRONG POINTS *電子情報工学コースのここに注目*

社会に貢献する技術

半導体デバイス分野では、殺菌やバイオ計測、医療など幅広い応用展開可能な深紫外LEDの研究開発を行っています。特に、低コストでこれまでよりも高出力が期待できる窒化物半導体基板によって、深紫外LEDなどの光デバイスだけでなく高移動度トランジスタなど電子デバイスの開発も推進しています。



総合工学科

応用化学コース

応用化学とは、化学の観点から有用で新しい機能をもった物質を研究・開発して科学技術を発展させ、社会に貢献する分野です。これによって、エネルギー変換技術の確立、環境問題の解決、バイオテクノロジーや医薬開発による医療分野の発展、新材料による情報通信の高速・大容量化などを実現します。本コースでは、こうした社会で大きな期待が寄せられている分野で活躍するための、知識と実践力を身につけることができます。

学びの特色

● 応用化学関連分野の基礎的・系統的な教育

1~2年次では分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学の5つの基礎教科を学び、3年次では専門的な応用化学関連教科を系統的かつ総合的に網羅し学びます。講義で修得した専門知識に基づいて3年次では化学実験を行い、実験技術および実験結果の解析法を学びます。卒業年次(4年)には研究室に所属され、最先端の実験研究を行います。卒業後は研究者・技術者として化学関連分野において創造的な活動に従事し活躍できる力が身につきます。

● 国内外の関連学会での活発な研究発表

卒業年次(4年)および卒業後に進学する大学院工学研究科(博士前期課程)応用化学専攻では教育活動と並んで、研究活動も盛んです。学生は応用化学関連分野において、より専門的な視野に立った研究能力を身につけるため、分析化学、有機化学、無機化学、高分子化学、材料科学、物理化学、電気化学、生化学、環境化学などの国内・国外での関連学会に積極的に参加し研究成果を発表します。

物理化学講座

有機分子材料・ナノカーボン関連物質を創出し、発現する物性・機能について研究するナノ材料物理化学研究室、高分子や界面活性剤などソフトマターの物性・機能とそれらメカニズムを研究する有機素材化学研究室、ナノ粒子やクラスターを作製し、ナノ領域に特徴的な光機能とその理論的背景を研究する量子ナノ機能化学研究室から構成されています。

無機分析化学講座

環境とエネルギーの調和を指向した固体触媒やエコガラスなどの新規な機能性無機物質を研究する無機素材化学研究室、各種電池の研究開発および機能性セラミックスの電気化学的応用を指向するエネルギー変換化学研究室、超微量化学物質の計測技術や持続可能な社会を指向した環境負荷低減化技術を開発する分析環境化学研究室から構成されています。

有機化学講座

環境に優しい反応手法を新しく開発してファインケミカルズを合成する有機合成化学研究室、新たな性質をもつ有機分子の設計・合成を行う有用な機能性材料を開発する有機機能化学研究室、モノマーの分子設計や新しい重合反応の開発を通じて機能性高分子材料を創製する高分子合成化学研究室から構成されています。

生命化学講座

生体細胞や組織の再生・修復する機構を研究し、組織工学的材料を開発する生体材料化学研究室と、DNA・タンパク質・脂質などの生物化学を基盤としてメディカル・ライフサイエンスに有益なものづくりをめざす分子生物学研究室から構成されています。

特色ある授業

応用化学基礎

1年生は、11研究室のグループに分かれ、各教員と密着した少人数によるPBL教育により化学に関する基礎知識を学習します。口頭発表のための資料作成、実際の発表と討論を通して、主体的学習のモチベーションを維持し、向上させることができます。また、各研究室での指導により、大学の教育環境へスムーズに適応することをサポートします。



PBL教育全体発表会

STRONG POINTS *応用化学コースのここに注目*

量子ナノ機能化学研究室

溶液化学の手法による金属・半導体ナノ構造の構築と新規な光機能性

ナノスケールのものづくりは、原子や分子を巧みに操作して行う必要があります。更にその高機能化には、精密かつ任意にナノ物質のサイズや構造を制御することが重要です。本研究室では、溶液化学を基軸に、金属や半導体を中心としたナノ構造を精密に作製し、「ナノ」の世界にしかない機能、特に「光」に関わる新しい機能の発現や機構解明を目指して研究を進めています。

分析環境化学研究室

持続可能なエネルギー社会への化学的アプローチ

太陽光エネルギーを活用する人工光合成や、有害物質を分解・無害化する光環境修復の研究を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。光と化学の力でエネルギーと環境の課題に挑み、化石燃料に頼らない持続可能な未来の創造を目指します。

建築学コース

二十世紀の成長する都市の時代から二十一世紀の成熟社会の時代へ。人口減少、超高齢社会、大規模災害、地球温暖化などの諸問題に対応した新しい建築像・発想が求められています。建築学コースでは、建築スケールから都市スケールに至る生活空間を取り上げ、建築の設計に必要な専門知識、建築設計図面や建築模型の製作技術などの習得を目指します。

学びの特色

● 実習を通じて学びます

歴史的建築物や伝統的な町並みが残る地域でのフィールドワークを通じて、環境と共生する新しい建築の可能性について学びます。

● 幅広い分野を総合的に解釈し、自分の作品をつくりながら学びます

建築は幅広い知識が必要とされる学問です。そのため、歴史、文化、芸術、都市、環境、構造など様々な分野について学びます。建築学コースで学んだこれらの知識は、すべて自らの建築作品を設計するための基礎となります。戸建住宅、ギャラリー、図書館、小学校、集合住宅、複合ビル等、多様な作品を設計することで確かな知識と技術を身につけていきます。

● 先進的な研究および技術をもとに学びます

先進的な環境、構造研究をもとに、災害に強い省エネルギーな暮しを実現するための技法を学びます。

● 快適な環境で学びます

三重大学は海に面した大学です。中でも建築学コースの建物は最も海に近い場所に位置しています。そのため、製図室からは伊勢湾を眺めることができ、朝夕の景色は印象的です。この製図室は自分の居場所として、また勉強部屋として学生がいつでも使用できます。また図書室も整備され、建築に関する専門書を自由に閲覧できるようになっており、建築を学ぶための快適な環境が整えられています。

建築計画系

各種建築物の機能およびそのマネジメント手法、都市ならびに地域の計画や景観保全、私たちが受け継いでいる歴史文化、さらに建築形態を構想する際の思考技術など、建築物のデザイン・計画のための多彩な研究を行っています。



建築構造系

建築物の構造設計法、建築材料の品質・耐久性評価、建築生産などに関する教育を担当しています。研究テーマとしては、鋼・鉄筋コンクリート・木の各種構造の耐震性能および材料特性に関する研究や、地震などの自然災害に対する建築防災に関する研究などを行っています。



建築環境設備系

建築内空間のみならずその周辺環境下での熱・空気・音・光環境を適切に制御し、健康・快適性、地球環境負荷などの観点から、より望ましい都市・建築環境を実現するために様々な研究に取り組んでいます。



密集市街地街路から見た天空

地域防災系

南海トラフ巨大地震などの自然災害による被害を低減するために求められる耐震技術の開発、建築物、都市、地域における総合的な対策としての行政の地域防災計画、市民・企業・大学・行政の協働による地域の地区防災計画、災害後の応急仮設住宅計画や災害復興計画などに関する研究などを行います。



応急仮設住宅(東北地方)

特色ある授業

建築企画設計

4年間の学習の集大成として、学生自らが敷地や用途を設定し、それに相応しい建築を設計し、図面や模型にして表現します。建築学コースでは毎年、市民に公開する展覧会でその成果を発表しています。



建築展の様子(三重県立美術館にて)

STRONG POINTS *建築学コースのここに注目*

感動を生みだす力

魅力ある建築物や都市を実現するためには、充実した知識や技術はもちろんのこと、感動を生みだすプレゼンの力も求められます。建築図学(1年生)では、建築物を設計するために必要不可欠な、図面描画やプレゼンの知識と技術を習得します。これは、特に2、3年生で受講する設計製図、4年生で受講する建築企画設計の基礎となります。



学生の作品の例

防災の取り組み

地方公共団体と連携して、三重県地域の防災力を高める「三重大学地域圏防災・減災研究センター」、「三重大学 みえ防災・減災センター」の活動にも、建築学コースの教員が参加しています。

情報工学コース

モノが直接インターネットにつながるIoTをベースとした社会では、情報工学が扱う分野も拡大し、情報系技術者には幅広い工学分野の技術の習得が求められています。このような状況から、従来の情報工学に加え、他分野との境界領域の専門知識をも身につけた、拡大しつつある情報工学分野に対応できる技術者の育成を目指しています。

学びの特色

● 多様な応用分野に対応したカリキュラム

情報工学のコアとなる基礎・必修科目、他分野との境界領域に加え、コンピュータサイエンス、情報ネットワーク、知能システム、人間情報学の4つの教育分野科目を充実させることで、情報技術のトレンドであるクラウド、人工知能、モビリティ、ビッグデータ、量子情報科学、IoT、サイバーセキュリティなどの多様な分野で活躍できる情報系人材の育成を目指しています。特に、文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラムの要件に沿った必修・選択科目が開講されていますので、次世代の高度情報AI人材として必要な知識・技術を十分に身につけることができます。

● 応用力の身につく実習・演習の充実

情報工学のキャリアアップの特長は、充実した実習・演習科目の存在です。講義で様々な理論や原理を学ぶことは重要ですが、この原理を活用できることがエンジニアとしての活躍には必須です。そこで、プログラミングやプロセッサ設計など実務に近い実習・演習を充実させて、応用力の養成にも力を注いでいます。実習・演習には大学院生がティーチングアシスタント(TA)として多数参加しており、TAからフレンドリーな指導とサポートが受けられます。

コンピュータサイエンス講座

コンピュータサイエンス講座では、あらゆる情報処理の基盤となるデータ構造やアルゴリズム、プログラミング言語処理系を始めとするソフトウェアの開発環境、アプリケーションの高性能化のための並列処理技術、また、これらを支える先進的なハードウェアの設計、などを研究しています。

情報ネットワーク工学講座

情報ネットワーク工学講座では、IoTにとって重要な役割を果たしている情報通信ネットワークに関連する研究を進めています。より快適で安全な社会の実現を目指して、情報化社会の基礎となっている光ファイバ、無線、ネットワークにかかわる技術について研究開発しています。

知能システム工学講座

知能システム工学講座では、カメラ、マイクなどの各種センサ(IoT機器)により計測された大量の情報をコンピュータに取り込み、人間と機械間的確かな情報を提供する人工知能システムについて研究します。この研究により、より人間らしい快適な生活ができる高度情報化社会の構築を目指します。

人間情報学講座

人間情報学講座では、ヒトの知覚、認知、行動などに関する人間情報学の基礎的・応用的研究を通して、ヒトの医療、保健、補綴、補助に役立てることのできるA.I. - Assistive Intelligenceを探索しています。

特色ある授業

情報工学実験「パターン認識と機械学習」

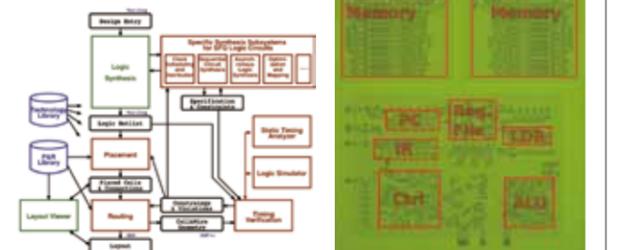
情報工学実験「パターン認識と機械学習」では、雑多なデータから特定のパターンに合致するデータを抽出するパターン認識と、大量のデータから一定のパターンを自動的に獲得する機械学習についての基礎を学びます。実験では、機械学習の中でも特に大きな発展を遂げている深層学習についてNvidia社のJetson Nanoという小型のコンピュータを使用して、深層学習の動作環境・動作原理から始め、実際に深層学習を使用して写真に写っているものは何かを当てるプログラムを作成します。



STRONG POINTS *情報工学コースのここに注目*

超伝導コンピュータと回路設計アルゴリズム

現在主流の半導体とは異なる、超伝導単一磁束量子デバイスを用いた、超高速かつ低消費電力の未来のコンピュータを設計しています。0と1の論理に基づくデジタル回路であることは従来と同じですが、論理の表現法が異なり、また、数十ギガヘルツの高速動作のため、構成に様々な工夫が必要になります。これまでにない条件下での回路設計には、専用の設計ソフトウェアも不可欠です。その実現には、複雑な問題をモデル化し、賢く処理するアルゴリズムを考えることが重要です。



将来のVISION

進学・就職状況

学部卒業後に、すぐに就職し社会人として活躍するか、さらに大学院の博士前期課程(修士)の2年間で知識や技術を深めた後に就職するかを、選択することになります。近年では、多くの企業が修士採用に重点を置くようになり、工学部では5~6割の学生が大学院へ進学します。学部卒、修士卒のどちらも、就職希望者は毎年、ほぼ100%就職しています。工学部総合工学科の各コースでは、学修する内容の違いに応じて、就職先にも多少の違いがあります。詳しくは別冊子『工学部案内』を参照して下さい。

〈2022-2024年度卒業修了生の就職先(年平均1名以上就職の企業)〉

住友電装、トヨタ紡織、マキタ、キオクシア、トヨタ車体、リンナイ、デンソー、日本ガイシ、豊田合成、デンソーテクノ、豊田自動織機、清水建設、スズキ、プラザー工業、アビームシステムズ、アイシン、クボタ、村田製作所、長谷工コーポレーション、シンフォニアテクノロジー、トヨタ自動車、富士電機株、イビデン、ユニテッド・セミコンダクター・ジャパン、トヨタシステムズ、豊田自動織機ITソリューションズ、朝日インテック、ナブテスコ、川崎重工業、大同特殊鋼、日東電工、本田技研工業、矢作建設工業、NTN、パナソニック、アドヴィックス、イノアックコーポレーション、デンソーテン、ノリタケカンパニーリミテド、竹中工務店、三菱電機、積水ハウス、中部電力パワーグリッド、オークマ、パナソニックエレクトリックワークス電材三重、愛三工業、NTTドコモ、前野建築設計、東海理化電機製作所、日立システムズ、関西電力、京セラドキュメントソリューションズ、三重県庁、太陽化学、大成建設、中部電力、東亜合成、日本特殊陶業、浜松ホトニクス、ウエスタンデジタル、セイコーエプソン、ダイキン工業、トーテックアメニティ、パナソニックコネクテ、旭化成ホームズ、FIXER、NTTデータ東海、アイヴィス、アドマテックス、デンソーエレクトロニクス、松阪電子計算センター、大林組、日本製鋼所、住友重機械工業、住友電気工業、JR東海、日本システム開発、富士フィルムマニュファクチャリング
上記以外にも;日産自動車、東邦ガス、中部電力ミライズ、アマゾンウェブサービスジャパン、いすゞ自動車、キリンホールディングス、キューピー、カゴメ、ソニーセミコンダクタソリューションズ、TOTO、TOPPAN、DMG森精機、ファナック、ヤマハ、ライオン、ロート製薬、日立製作所、小松製作所、リコー、味の素、日本郵政、日本IBM、日本製紙、東レ、全日本空輸、住友商事、京セラ、堀場製作所、ニコン、安川電機、ライオン、マクセル、コスモ石油、YKK AP、NTTコミュニケーションズ、中日本高速道路、大和ハウス工業、JR西日本、三菱自動車工業、国土交通省中部地方整備局、一条工務店、LIXIL、ヤマハ発動機、マツダ、シャープ、など多種多様な就職先があります。

大学院で学ぶ

学部4年間の勉強は、講義や演習/実験の科目を教室で受講することが中心です。一方、大学院の博士前期課程へ進学すると、各自の研究テーマに沿って、自らで調査、実験、検討、考察などを研究室や学外で繰り返して、学術的に新たな知見を見つけたり、新しい技術開発に取り組んだり、またそれら成果を学会等で発表したりと、日々の中心は研究活動になります。博士前期課程の2年間で、9割以上の学生が国内学会での発表を経験し、また、国際会議で英語による発表も経験することもできます。さらに、博士後期課程へ進学すれば、企業や公的機関の研究所などで研究開発の専門職や、大学教員への可能性も大きく開かれます。

〈2022-2024年度学部卒業生の進学先〉

三重大学、名古屋大学、名古屋工業大学、奈良先端大学院大学、京都大学、大阪大学、大阪公立大学、神戸大学、静岡大学、富山大学、東京大学、東京科学大学、東京藝術大学、東京理科大学、電気通信大学、筑波大学、千葉大学、東北大学、北陸先端大学院大学、北海道大学

大学院工学研究科

博士前期課程(修士課程・2年間)

- 機械工学専攻
- 電気電子工学専攻
- 電子情報工学専攻
- 応用化学専攻
- 建築学専攻
- 情報工学専攻

博士後期課程(博士課程・3年間)

博士前期課程(修士課程)修了後に、3年間学びます。

- 材料科学専攻
応用化学、機械工学、電気電子工学、電子情報工学修了者向
- システム工学専攻
情報工学、機械工学、電気電子工学、電子情報工学、建築学修了者向

学生からのメッセージ VOICE



大学院工学研究科 機械工学専攻
修士2年 小玉 琴乃さん(同志社女子高等学校出身)

周りを見渡すと、携帯電話や時計といった小さなものから、車や飛行機のような大きなものまで、私たちの生活は多くの機械に支えられています。

三重大学大学院工学研究科・機械工学専攻では、ものづくりの基礎から学び、実際に手を動かして作る体験を通じて、理論と実践を結びつけた深い学びが得られます。私はマグネシウム合金の力学特性を研究しており、試験片を効率よく加工するため、工作機械(NCフライス)を自作しました。機械を自ら作ることで構造や原理への理解が深まり、実践的なスキルも身につきます。

ものづくりに興味のある皆さん、ぜひ機械工学コースでその第一歩を踏み出してみませんか?受験生の皆さん、心から応援しています!



大学院工学研究科 応用化学専攻
修士2年 森村 真帆さん(奈良県立蹴鞠高等学校出身)

工学部応用化学コースでは、有機・無機・物理化学など、多様な角度から“化学”に触れ、学ぶことができます。私は、漠然と身の回りにあるモノづくりに携わりたいと考え、この進路を選びました。大学で幅広い分野に渡る化学について学び、実際に手を動かして実験をする中で、化学反応を駆使して世の中の役に立つ物質を自らの手で生み出せる、有機合成化学に魅せられました。現在は大学院に進学し、有機合成化学の研究に日々打ち込んでいます。研究室の仲間たちと、自身の興味を追求する毎日是非常に充実しています。

受験生の皆さんも、自身の“好き”や“興味”を見つけ、伸ばせるこの場所で、未来を創る一歩を踏み出してみませんか?



多様な生物資源と、それを育む環境を学び、人類の未来に活かす

生物資源学部

生物資源学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会的の創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

このような人を育てます

生物資源学部は、食と農林水産・フードシステムに関わる俯瞰的な視点を持ちつつ、地域の豊かな自然から生み出される生物資源の適正な開発・利用・保全を追求し、データの論理的な分析に基づく科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことで地域と世界に貢献することを目指しています。

そのために、幅広い講義や実験・実習を実施し、独創性と専門性を兼ね備え、自らの力で問題解決ができる知識と能力を身につけた人材の育成を目標としています。

学部HPはこちら



生物資源学部長
橋本 篤

三重大学生物資源学部は、「人類の持続的生存を保障する」という農林水産系学部の高い使命の達成を目指し、農学部と水産学部の統合により「マイクロな遺伝子から地球レベルの環境まで」の幅広い分野をカバーする他大学にはない独自性豊かな学部として1987年に設置されました。農林水産学系におけるほとんどの学問領域をカバーし、実習の場である附属教育研究施設として紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（農場、演習林、水産実験所）と東海・北陸・近畿地方の国立大学の中では唯一の練習船（勢水丸）を有しています。生物資源学部の前身は1921年設置の三重高等農林学校で、100年以上の歴史を有する伝統校です。現在では、入学定員が260名と農学部系では東海・中部の国公立大学の中で最も多く、農林環境科学コース、海洋生物資源学コース、生命科学コースの3コースと約70もの教育研究分野を有しています。また、生物資源総合科学コースに入学した学生は、低学年時に生物資源学の幅広い知識や俯瞰的視野、地域を先導する力に関する基礎的素養を身につけた後、上記3コースのいずれかで学ぶことができます。さらに、単独で博士課程をもっていますので、学部卒業後により専門性を高めたい学生は、そのまま修士、博士の学位の取得が可能です。このように、生物資源学部は「山の頂から海の底まで」の文字通り広大なフィールドを教育・研究の対象とし、農林水産業及びその関連産業、すなわち、食料、環境、健康、バイオにかかわる産業の振興を担う人材の育成を目指しています。

生物資源学科

Department of Bioresources

生物資源は、山から海までの広範な地域で生まれ、食料をはじめとして工業原料、エネルギーなど人類にとって有用な財を提供します。その特長は、適切に利用すれば、枯渇することなく、持続的に利用できることです。また生物資源を生産するために良好に管理された環境は、人類が生きていく上でも良好な環境を保つ役割も果たしています。生物資源学部では、このような生物資源の生産と利用、その生産を支える環境の維持に貢献できる能力を身につけることを目指しています。

- 01 山から海までの生物資源に関連する幅広い学問を学ぶことができます。
- 02 地球環境・生態・個体・細胞から分子まで学ぶことができます。
- 03 フィールドサイエンスセンターや練習船での実習などを通じて、広範な視野から学ぶことができます。

生物資源学部生物資源学科
定員 260名



※各コースの定員は配置目安です。

特色のある取り組み

農場、演習林、水産実験所からなる紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）に加え、練習船「勢水丸」といった特色ある教育研究施設があります。これらは、農林水産物、環境など幅広い教育・研究の場として活用されています。

- **農場**
持続可能な農業生産を目指した実習教育・研究を実施しています。また、作物、施設園芸、果樹、農産加工、畜産に関する多種多様な実習を通じて農業全般を深く理解することができます。
- **演習林**
紀伊半島の代表的な自然植生を示した貴重なフィールドです。森林の機能や森林資源の有効利用に関する研究、森林資源の育成・利用・保全に関する実習を行っています。
- **水産実験所**
豊かな生態系を有する伊勢湾口部に位置しており、多様な海洋生物を対象とした実習や、資源生態・情報科学・バイオマス利用・海洋教育などの研究を進めています。
- **勢水丸**
中部地区の国立大学が所有する唯一の水産・海洋系練習船です。学生たちにとっては、洋上での観測や採集作業を実践することで、講義で学んだ知識を理解する場となっています。加えて、高層気象観測なども行い、様々な教育航海や調査・研究航海などを行っています。

生物資源学科

生物資源総合科学コース

生物資源総合科学コースでは、低学年次に農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を学び、生物資源学の幅広い知識や俯瞰的視野、地域を先導する力に関する基礎的素養を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。

2年次のコース選択時には、農林環境科学コース・海洋生物資源学コース・生命化学コースのいずれかへ配属されます。

生物資源学科

農林環境科学コース

農学専修では、生命農学と社会科学の視点からフードシステムを理解し、食料問題の解決や豊かな環境維持の方策と技術を身につけます。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関わる基礎理論を学び、それらのスマート化に必要な技術を身につけます。



学びの特色

農学専修

育種学・作物学・園芸学・畜産学・植物病理学・昆虫学・生態学といった生命農学への理解を深めつつ、経営学・経済学等の社会科学の視点から俯瞰することにより、生産から消費者までをつなげる流れ、すなわちフードシステムとして農学を学びます。これにより、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持し、生物資源を活用する方策や、技術、システムの評価手法を学び応用することを通じて、地域社会から世界へ貢献することを目指します。

森林科学専修

森林は、世界の陸地の30%をおおい、陸上の生物現存量の90%にも達する巨大な生物群集です。地球環境の維持に加えて、生物多様性保全、国土保全、水源かん養などの機能を持ち、その恵みである木材は再生可能で、建築材料、木質材料、バイオマス資源として重要です。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。

農業工学専修

農業工学専修では、多様な生態系、地域社会、食料生産活動が共生する循環型社会の実現に向けて、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関する先端技術の基礎理論を学びながら、それらをスマート化するために必要な技術を身につけます。特に、本専修のカリキュラムの特徴は、地域環境や生物生産現場を対象とした農村・農地・水資源の開発と保全、自然災害対応、システム開発、センシングを行う上で必要となる技術やスキルを実践的に身につけるところにあります。

特色ある授業

フィールドサイエンスセンター 農場・演習林実習

農場実習では三重県の温暖な気候を活かし、作物、施設園芸、養液栽培、果樹(温帯果樹、亜熱帯果樹)、農業機械、農産加工、畜産におよぶ様々な内容を実習し、適期の管理や加工法の学理と技術を学びます。演習林実習では、雲出川流域に広がる天然生林と人工林を活用し、森林資源の計測・保全・育成・有効利用に関する内容を実習し、森林の持つ流域の保全・防災など多面的機能な環境機能を学びます。



STRONG POINTS *生農林環境科学コースのここに注目*

あなたの知らない「地下部」の世界

関谷 信人 教授 国際資源植物学研究室

私達が目にする植物とは、緑として感じる茎や葉の他に色とりどりの花や果実であることが一般的です。茎・葉・花・果実など、土壌表面より上に配置され、私達が目にするのできる植物の部位全体を地上部と言います。そうです。地下部とは土壌表面より下に配置された主に根を指した言葉です。「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ(相田みつを作)」という詩にある通り、私達が植物の地下部を見たり感じたりする機会は多くありません。それだけに、私達の地下部に関する知識は限られています。一般的に、地下部は物理的に地上部を支え、養水分を吸収して地上部へ供給する器官であると理解されています。しかし、ある植物の地下部では、隣接する植物の地下部へ水を供給し、その生育を促進するような灌水能力の存在が確認されています。また、隣接する植物の地下部どうしが糸状菌の菌糸によって連絡し、菌糸を介して養分が授受される現象も観察されています。私達は、植物の地下部のように見たり感じたりすることが難しい動植物の性質を解明し、利用するための研究に取り組んでいます。



生物資源学科

海洋生物資源学コース ■ 海洋生物資源学専修

プランクトンから魚介類・鯨類、藻類などにいたる多様な水生生物について、遺伝子レベルから生態系レベルまでの基礎を学ぶとともに、それらを増やし育てる技術、保全、資源としての持続的利用や流通のあり方を学びます。また、海洋環境やそれに密接にかかわる気候変動・異常気象なども対象とし、海洋における生物と環境との関係を理解し、多様な視点から海洋生物資源について総合的に学びます。

特色ある授業

乗船実習(勢水丸)

調査・観測船に乗船するための知識を得ることを目的として、船内生活や船内諸設備の見学に始まり、気象観測、結索方法、航海機器の理解、航海当直、外洋航行、出入港作業、機関実習などの実習を行います。海洋観測や生物採集、漁労作業のような現場研究活動の第一歩となる実習であり、船という限られた空間での共同生活の中から、自分自身の役割を果たす責任感、集団のルールや協調性などが育まれます。



STRONG POINTS *海洋生物資源学コースのここに注目*

海、生産現場に近い教育研究フィールド

松田 浩一 教授 水産実験所

鳥羽市小浜町の漁港のすぐ近くに水産実験所があります。目の前にはマアジやブリが泳ぎ、マナコやマダコが彷徨い、スナメリ等の鯨類が躍動する豊かな生態系を有する海が広がっています。周辺の海域ではアワビやサザエ等を漁獲する海女漁業や日本有数の水揚げを誇るイセエビ漁等様々な漁業が営まれています。このような立地を活かし、充実した海洋教育と、海洋生物や漁業生産を対象とした研究活動を行っています。また、水産実験所がある鳥羽市周辺には大学や国公立の水産研究所、博物館・水族館等海洋に関連した多数の教育研究機関があり、このような機関との共同で海とそこに棲む生物を対象とした教育研究活動を展開し、地域に根ざした海洋・水産学の拠点を目指しています。



生物資源学科 生命化学コース

生命化学コースでは、多様な生物の代謝・物質・機能の解析を通して、生物の基礎的性質の化学的理解に必要な生命化学に関する幅広い知識と技術について学び、生物資源の持続的生産・利用・保全や人類の健康増進に貢献できる応用力を身につけます。生命化学コースでは2年次前期までに基礎専門科目を学び、2年次後期から生命機能化学専修または海洋生命化学専修に分かれ、各専修に特徴的な専門科目や卒業研究に必要な研究手法の学理と技術について学びます。



学びの特色

生命機能化学専修

生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物(動物、植物、微生物など)に関する生理機能および生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を中心に、食品・健康分野、医療・医薬品分野、環境・エネルギー分野および生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から10以上の専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

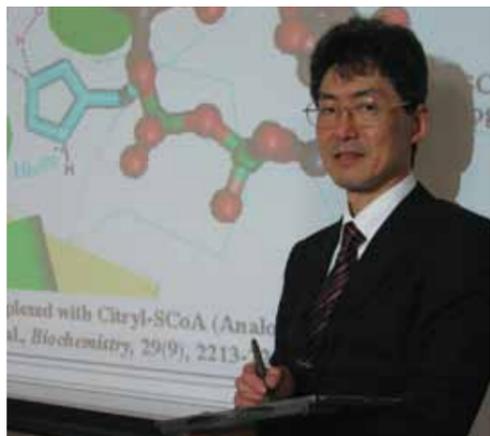
海洋生命化学専修

海洋生命化学専修では、多様な海洋生物(魚介類、藻類、海洋微生物など)の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・化粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用、持続的安定生産、遺伝的多様性の保全に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から8つの専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

特色ある授業

有機化学I

有機化学反応を電子移動の矢印で書く勉強法で酵素反応を解説する講義。1つ1つの矢印の理由を知ると、酵素のすばらしさ・生物の不思議さが判ると言うものです。独自の講義資料が充実、ペン型マウスで投影画面に書き込んで説明、授業の要点を説明した動画がMoodle(eラーニングシステム)で配信されるなど、学生満足度の高い、手作り型マルチメディア授業です。



STRONG POINTS *生命化学コースのここに注目*

海の微生物ハンター

田中 礼士 准教授 海洋微生物学研究室

海水1mlのなかには細菌とよばれる微生物が百万匹もいることをご存知ですか?細菌は目には見えないうち小さいですが、海洋での分解者として重要な役割を担っています。これらの細菌の多くは培養が困難な未知の世界です。私の仕事は、これまでに報告のない、新しい海洋細菌を見つけ出し、どのような能力を持っているかを調べることです。まさに「微生物ハンティング」です。いま目をつけているのは海藻から新しい化成品やエネルギーを作るための細菌です。また海の無脊椎動物と共生する細菌なども積極的に研究を行っており、これまでに報告例のないイブシロプロテオバクテリアや、海洋由来スピロヘータなどを発見しています。これらの細菌の培養を成功させるのは、若い諸君です!!



将来のVISION

進学・就職状況

令和6年5月1日現在

農業、林業、漁業、鉱業

まほろばファーム株式会社、空浮合同会社、北広牧場...

建設業

株式会社奥村組、清水建設株式会社、鹿島建設株式会社、住友林業ホームテック株式会社...

製造業

ヤマモリ株式会社、井村屋株式会社、山崎製パン株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、カネ美食品株式会社、株式会社クボタ、本田技研工業株式会社、株式会社河合楽器製作所...

情報通信業

株式会社ウェザーニューズ、三菱電機ソフトウェア株式会社、一般財団法人リモート・センシング技術センター、株式会社日本農業新聞...

運輸業、郵便業

中日本航空株式会社、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)、国際航空株式会社、アジア航測株式会社...

卸売・小売業

名古屋デリカフーズ株式会社、株式会社マルイチ産商、ナイス株式会社、ゲンキー株式会社...

金融・保険業

株式会社百五銀行、第一生命保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社...

学術研究、専門・技術サービス業

中日本技研株式会社、株式会社ニトリホールディングス、株式会社ブランジスタメディア...

宿泊業、飲食サービス業

日本ゼネラルフード株式会社、株式会社京樽、株式会社はま寿司、株式会社グランビスタホテル&リゾート...

教育・学習支援業

三重県教育委員会、ヒューマンアカデミー株式会社、株式会社さなる、株式会社テニスラウンジ...

公務員

農林水産省、林野庁、気象庁、経済産業省、水産庁、三重県庁、愛知県庁、大阪府庁...

大学院進学

三重大学大学院、名古屋大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、帯広畜産大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、横浜市立大学大学院、奈良大学大学院、京都大学大学院、岐阜大学大学院、東京大学大学院 等

大学院で学ぶ

生物資源学のより専門的な知識を習得しながら科学的思考を身につけ、自ら設定した課題に対する解決能力を高め、研究者として独り立ちすることを目指します。生物資源学部卒業生の30~40%が大学院(生物資源学研究科)に進学し研究を続けています。

生物資源学研究科の特徴

- 01 博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)を単独で有しているため、キャンパスや大学を移動することなくじっくりと研究に取り組むことができます。
- 02 生物資源を研究するための最先端機器を用いたラボワークと附帯施設におけるフィールドワークで充実した研究生活を送ることができます。
- 03 海外協定校とのダブルディグリープログラムや、連携大学院における最先端かつ実践的な共同研究による学位の取得も可能です。

大学院生物資源学研究科

資源循環学専攻

生物資源を循環的に利用するための技術の開発や、新しい社会のデザインができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指します。基礎的学問分野である地球科学を対象とする地球環境学講座、生物生態に関する知識を基に情報処理技術を核とした環境情報の計測・制御・システム工学を手段とする環境情報システム工学講座、自然の営みと人間が直接かかわる農村や田園を保全し物質循環の場として持続的利用を図る農業土木学講座の3講座から構成されています。

共生環境学専攻

地球生命圏の環境を理解し保全・修復しつつ、人間活動と生態系が調和する持続的な生物生産システムの構築を目指します。基礎的学問分野である地球科学を対象とする地球環境学講座、生物生態に関する知識を基に情報処理技術を核とした環境情報の計測・制御・システム工学を手段とする環境情報システム工学講座、自然の営みと人間が直接かかわる農村や田園を保全し物質循環の場として持続的利用を図る農業土木学講座の3講座から構成されています。

生物圏生命科学専攻

生命科学全般に関する基礎的学理と、海洋の資源生物の育成・保全・管理に関わる学問とその実践的教育を通じた修得を目指します。生命現象の仕組みや分子の構造と機能を明らかにし、機能性分子や食品の開発、環境技術などに応用する生命機能化学講座、海洋生物の生命機能を化学的に解明し、海洋の生物資源を有効利用することに資する海洋生命分子化学講座、淡水域を含む水圏の生物を対象として生物の営みを多様なスケールで理解する海洋生物学講座の3つの講座から構成されています。

学生からのメッセージ VOICE



大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 森林資源環境学講座 博士前期課程2年 竹田 奏斗さん(愛知県立千種高等学校出身)

資源循環学専攻では、この地球を取り巻く生物資源を私たち人間がどのように持続的に利用していくかを様々な実験や実習を通して学ぶことができます。森林資源環境学講座では森林の機能や重要性を大学にある演習林を訪れることで知ることができます。

私が所属する森林微生物学研究室では森林に生息するキノコや微生物を対象として、生態系内でそれらがどのような役割をもっているのかを研究しています。私の微生物への興味は学部の授業で湧きました。大学では研究したい対象を自分で決めて進めていきます。高校とは違い主体的な意識が必要になり大変かもしれませんが、その経験は将来で役に立つものとなります。ぜひ頑張ってください。



共生環境学科 環境情報システム学教育コース 4年 沈 禹璋さん(三重県立津高等学校出身)

生物資源学部は人と多様な自然との関わりについて学び、研究する学部となっています。私が所属している共生環境学科環境情報システム学教育コースでは、AIやロボット、センサーなど先端技術を用いて、農業の効率や生産性を高めるスマート農業について研究を行っています。私も現在プログラミングを用いて、農作業を支援する農業ロボットやAIを開発しています。私たちのコースは社会に出てからも役に立つ知識や技術を身につけることができます。三重大学を目指している皆さん、生物資源学部では自然に関する知識を学べるだけでなく、最先端技術を実践的に学ぶことができます。皆さんと共に大学で学べることを楽しみにしています。

大学院 地域イノベーション学 研究科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

博士前期課程

- 大学学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
- 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲のある人
- 国際的に通用する基礎的研究能力およびプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
- 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家(ソーシャル・アントレプレナー)」となる意欲のある人

このような人を育てます

博士前期課程

専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。

博士後期課程

- 大学院や実社会等における学習内容や経験を幅広く修得し、高度な専門知識と外国語力を身につけている人
- プレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲の強い人
- 国際的に通用する基礎的研究能力および外国語によるコミュニケーション力を修養する意欲の強い人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業を創出し、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人

博士後期課程

自立した研究者として国際レベルの研究開発や新事業の創出を責任者として遂行できる高度な研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。



International Workshop on Regional Innovation Studies (IWRIS)



大学院 地域イノベーション学 研究科長

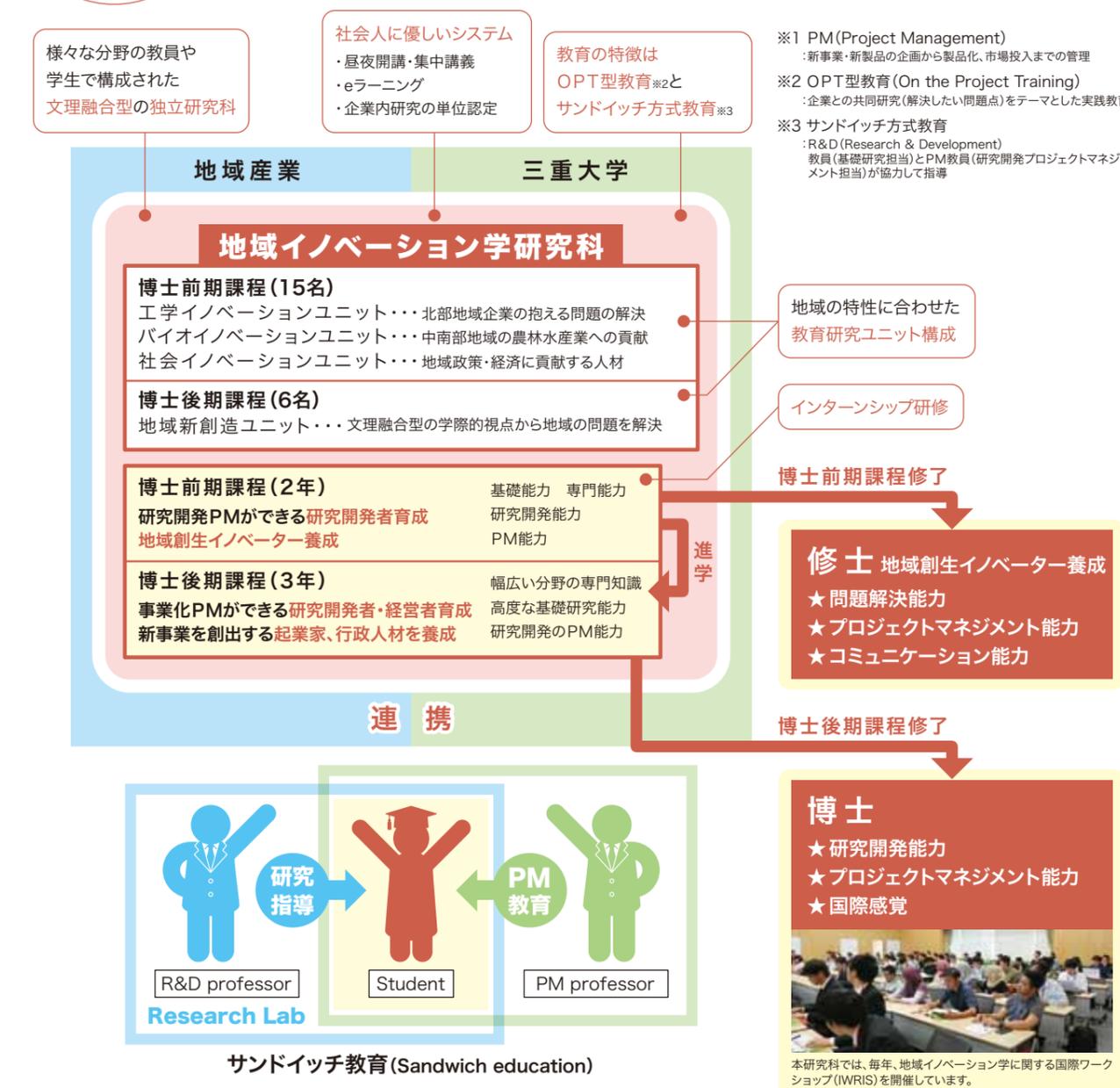
諏訪部 圭太

地域イノベーション学 研究科は、最先端の高度な研究開発能力と共に、新事業の企画・提案力や課題解決力を身につけた「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」及び「ソーシャル・アントレプレナー人材」を育成する文理融合型の研究科です。本研究科では、企業や自治体における課題を解決するプロジェクトを題材とした実践的教育を行う「OPT(On the Project Training)教育」や、研究開発能力の養成を担当するR&D(Research and Development)教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するPM(Project Management)教員が異なる角度から1人の学生を研究指導する「サンドイッチ方式教育」を実践しています。理系・文系を問わず、どの学部の卒業生も入学を歓迎します。

2+3年間の学び

どんな事を学ぶのか

地域や社会との連携を通して実践的な研究開発とPM※1(プロジェクトマネジメント)が同時に学べる大学院!



学びの特色

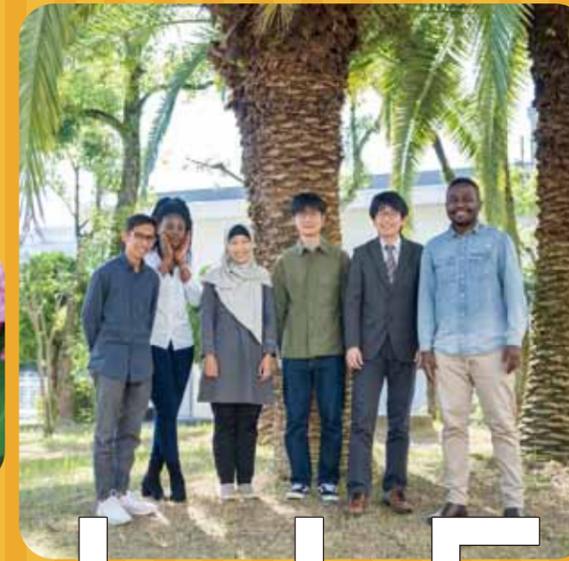
- **サンドイッチ方式教育**
基礎研究能力の養成を担当する Research & Development (R&D) 教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する Project Management (PM) 教員が協力して 1 人の学生を指導するサンドイッチ方式教育により、それぞれの専門分野で活躍する「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成します。
- **OPT型教育**
産業界で求められる実践的能力の養成のため、地域企業との共同研究プロジェクトを「特別研究」の題材として活用する「On the Project Training (OPT) 型教育」を実施します。
- **連携大学院**
株式会社浅井農園と連携して連携大学院を設置しました(R7.4.1)。連携する研究機関がもつ高度な研究水準(施設・設備・人的資源(技術・方法論))を活用して大学院教育を行うもので、連携機関から研究者が連携大学院の連携教員として教育研究に参加するとともに、当該機関においても学生を受け入れ、学生に対する研究指導を行います。
- **地域創生イノベーター資格認定**
地域から世界に通じる新たなビジネスを創造する人材を「地域創生イノベーター (Regional Revitalization Innovator)」と定義し、博士前期課程に教育コース「地域創生イノベーター養成プログラム」を立ち上げ、RRI を養成します。

三重大学のイベント

美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、
四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。

毎日の講義や実験、実習に加えて、

三重大大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。



CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

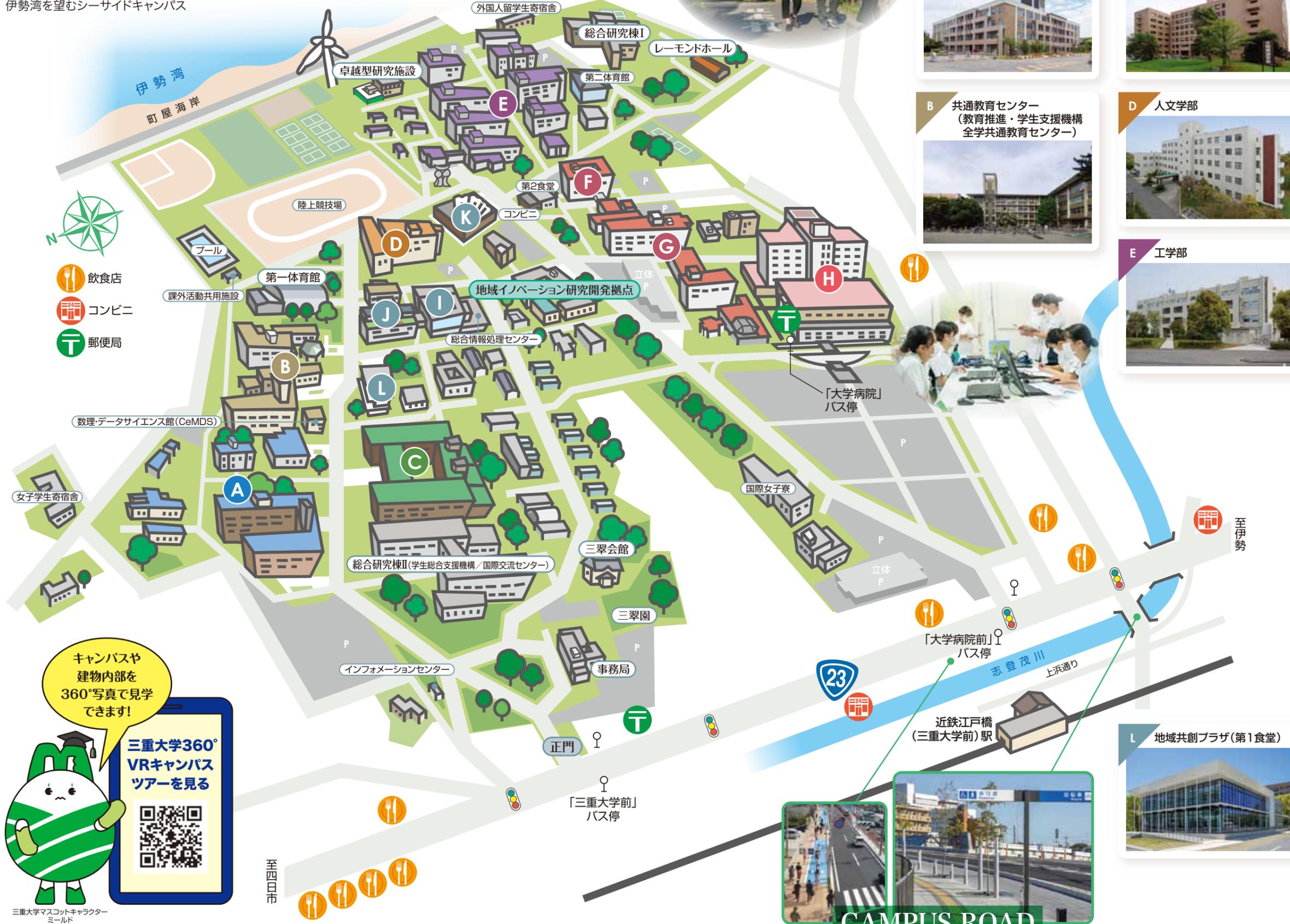


- 4** April
前期授業開始
新入生オリエンテーション
入学式
- 5** May
開学記念日(5月31日)
- 6** June
教育実習
- 7** July
前期定期試験
入学者選抜要項公表
東海地区国立大学体育大会
- 8** August
学校推薦型選抜学生募集要項公表
夏季休業
オープンキャンパス
- 9** September
教育実習
大学入学共通テスト受験案内配付
- 10** October
後期授業開始
秋のミニオープンキャンパス
- 11** November
一般選抜募集要項公表
大学祭
- 12** December
冬季休業
東海地区国立大学文化祭
- 1** January
一般選抜(前期・後期)出願受付開始
大学入学共通テスト
- 2** February
後期定期試験
一般選抜(前期日程)
- 3** March
春季休業
学位記授与式
一般選抜(後期日程)

CAMPUS MAP

三重大学上浜キャンパス

伊勢湾を望むシーサイドキャンパス



世界一の環境先進大学を目指すために、環境に関する取り組み等をわかりやすく展示し、環境を学べるコーナー等を設けています。



屋根が貝殻のデザインで入学式や学位記授与式のほかにいろいろなイベント会場として利用されています。



キャンパスや建物内部を360°写真で見学できます!

三重大学360°VRキャンパスツアーを見る

三重大学マスコットキャラクター ミールド



三重大学生活協同組合

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

本学キャンパス内に、生活協同組合の店舗や食堂があり、学生・院生・教職員の福利厚生施設として、勉学研究や日常生活をサポートしています。レジ袋の削減、生協オリジナル丼の容器リサイクルにも取り組んでいます。



食堂

第1食堂



2023年に新設された地域共創プラザ1階にあるメイン食堂(学食)です。教職員のみならず、学生も利用します。食べたいメニューを決めたらカウンターで注文します。健康バランスを考えた惣菜メニューを多数取り揃えています。また完全セルフでレジ精算も早い唐揚げセットコーナー(クイックレーン)も人気です。毎日11:45から数量限定で販売、「美味しい」「午後の授業に間に合う」と大好評です。夕食営業も行っています。

第2食堂



工学部の西側、三翠ホールと医学部看護学科校舎の間にある平屋の白い建物です。主に医学部・工学部のみならず、学生も利用します。お財布と時間にちょっと余裕がある方におすすめです。「ばせお」とはスペイン語で散歩の意味です。

レストラン「ばせお」



翠陵会館2階にある隠れ家的存在のレストランです。第1食堂・第2食堂とは異なる生協オリジナルメニューを提供しています。お財布と時間にちょっと余裕がある方におすすめです。「ばせお」とはスペイン語で散歩の意味です。

購買

翠陵店コンビニ



翠陵店は図書館西隣、翠陵会館1階にある複合型のお店です。コンビニフロアではオリジナルの丼・ペーカリーなど様々な食事、菓子や食品、飲料・デザートなどを販売しています。生協で一番営業時間が長いお店です。

翠陵店文具&書籍フロア



大学での学びに必要な文房具や教材、講義やゼミ、研究に必要な専門書や参考書を取り揃えています。授業開講時は教科書を販売します。また自己スキルアップや就活などの書籍も販売しています。

翠陵トラベルキャリア



海外語学留学・海外ホームステイなど海外旅行、国内旅行、自動車学校などの斡旋、公務員講座をはじめ各種検定・資格試験の受付を行っています。

第2購買書籍店



第2食堂内に併設された医学部、工学部向けの店舗です。医学書、工学書をはじめ、講義で使用される聴診器や白衣、製図用品などを取り扱っています。弁当、飲料、デザート、お菓子なども取り扱いしています。

組合員センター

共済・保険受付



組合員センターは地域共創プラザ2階にあります。学生総合共済や各種保険の取り扱い、給付申請や申請に関する相談も承ります。

住まい斡旋・アルバイト紹介



三重大生におすすめの住まいを斡旋しています。三重大生限定の生協オリジナルマンションの他、ご要望にあわせマンション・アパートをご紹介します。またアルバイト紹介では三重大生向けの家庭教師やアルバイトなどを、年間を通じてご紹介しています。

学生による

学生支援活動

三重大学では、教職員による学生支援はもちろんのこと、学生のキャリア教育の一環として、学生が主体となって同じ三重大学の学生を支援する取り組みを行っています。教職員が学生に対して行う支援とは異なり、同じ学生という目線だからこそできる協力、支援の形がそこにはあります。

支援にあたる学生それぞれが目的意識を持っており、様々な活動や経験を通じて、自分だけでなく三重大学に通う学生一人ひとりの学生生活が充実したものになることを目指しています。

学生による学生支援の幅は、新入生や大学生活に慣れてきた2・3年生、就職活動を控えた4年生、心身に障害を抱える学生など多岐に渡っており、それぞれの活動内容について関心のある学生が諸活動にあたっています。

キャリア教育に関心を持った学生や、支援を受けた経験から支援を行う立場に関心を持った学生が集い、三重大学の学生による学生支援活動の輪は、脈々と受け継がれています。

2つの団体をそばで見守りながら思うこと

私は普段、「障害学生支援部門(障害学生支援センター)」という部署で、障害や疾患等のある学生やそのご家族への支援を行ったり、学生がよりよい大学生活を送れるよう学内外の教職員・関係機関と連携して環境調整を行う役割を担っています。ピアサポーター学生委員会とACS学生委員会がともに活動拠点としている「ピアサポートルーム」は、私のいる部署のちょうど隣にあります。両団体には教員として参加し、そばで活動を見守っています。

教員という立場で参加していますが、所属学生たちが主体的に様々な企画を計画・実行していくため、先生然として関わるよりも「隣人」「年上のメンバー」のようなスタンスを意識しながら、活躍する学生たちをそばで支えています。

彼(女)らは、「目の前の相手をサポートする」という私のような公認心理師・臨床心理士とも共通する志向性のもと、日々活動を行っています。その中で培われるコミュニケーション力や相手を思いやる力、考える・感じる・行動する力、そして数えきれないほどの経験や思い出は、学生が社会に出ていく際の貴重な財産になるのだろうなあと見守りながら日々見守っています。

教育推進・学生支援機構 学生支援・キャリアセンター障害学生支援部門講師 公認心理師・臨床心理士 風間 惇希



ピアサポーター学生委員会

ピアサポーター学生委員会は、学生目線で学生のサポートを行う団体です。「ピア(peer)」は「仲間」を意味しており、ピアサポーター学生委員会では、同じ三重大学に通う学生の大学生活をより充実させるべく活動しています。新入生の履修や大学生活について相談を受けつける「なんでも相談」、新入生に大学の敷地を案内する「おさんぽ企画」、たこ焼きを食べながら会話を楽しむ「たこ焼きパーティー」などの大学内を対象とした活動だけでなく、他大学と同様にピアサポート活動を行っている団体との交流なども行っています。

ACS学生委員会

ACS学生委員会(障害に関する学生委員会)は、障害に関する様々な活動を行っている団体です。最近では、障害というテーマにとらわれることなく、生活上の困りごとや苦手さを支える活動にも力を入れています。これまで、三重大にいる人が自由に書き込めるノート「お便りノート」の運営や、新聞「ACSのねえ知ってる?」の発行、カフェサークルとコラボした「手話・筆談カフェ」の開催、他大学との交流等、様々な活動を行ってきました。他にも、手話の勉強会、七夕やクリスマス等の季節の行事に合わせた企画行事等、楽しく活動しています。

CPS学生委員会

CPS(キャリア・ピアサポート)学生委員会は、2023年春から活動を開始した新たな学生委員会で、学生による学生のための「キャリア」に特化した支援活動を行う団体です。グループディスカッションを行うイベントや、民間企業に就職した卒業生に対するアンケート調査、学生生活に関する相談会などの企画を考え実施しています。今後も、職業選択にとどまらない「人生そのもの」としてのキャリアを考える企画を計画し、学生ならではの支援活動に励んでいきます。

ACTIVITIES, Clubs & Circles



課外活動

課外活動は、学生が自主的・自立的に行う正課教育外の諸集団活動です。

大学教育においては、学力の養成と人格の形成をその目的とする授業が重要であることはいうまでもありませんが、同時に課外活動も重要です。広く友を得、先輩や後輩との交流を通じて正課では得られない経験や知識・技能が習得出来るだけでなく、連帯感や協調性を育て、また判断力・創造力等を養う等、本学の教育目的である「感じる力」・「考える力」・「生きる力」の涵養のためにも果たす役割は大きなものがあります。

本学には多くのクラブ・サークル等が活動していますので、大学生活を豊かにするためにも積極的に参加し、意義のある学生生活を送ってください。

自治会活動

本学には、各学部にて学生自治会が組織されています。その目的は、学生の自主的活動によって、より豊かで明るい学生生活を期するところにあります。

大学が学生の自主的活動を認めているのは、学生生活における自立性の涵養、社会性の陶冶あるいは学生相互の啓発等の教育的意義から、学生の人間形成に役立つものであると考えるからです。

学生はこの点を十分理解し、その運営にあたっては、健全にしかも学生の総意が正しく反映されるように積極的に参加するよう期待しています。

サークル活動

サークル数/加入者数 2025(令和6)年度

	サークル数	加入者数
体育系	80 団体	3,011人
文化系	78 団体	2,475人
計	158 団体	5,486人

令和6年3月31日現在



大学から遅く遅くない

ヨット部

活動日/毎週土日

こんにちは！三重大学ヨット部です。私たちはインカレ出場を目標に、毎週土日に津ヨットハーバーで練習しています。ほとんどの部員が大学からヨットを始めたので、皆で考え教え合いながら頑張っています。スナイプという2人乗りのヨットを使用しており、隣に先輩がいるので初心者でも安心です。そのためか、学年・性別関係なく部全体の仲が良いです。

そして何より、風や波など自然を感じられるのがヨットの魅力です。自然が好きなら、新しいことに挑戦したい方、体を動かすことが好きな方、誰でも大歓迎です！

部活のない平日はバイトや課題、他のサークル活動をこなし、土日は一緒にヨットを楽しみましょう！受験生の皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

生物資源学部 4年 谷口由侑



天狗う

活動日/火・金・土曜日

こんにちは！三重学生よさこいサークル「天狗う」です。私たちは、三重県内の学生を中心に構成されているよさこいサークルです。三重県を主として全国のお祭りに参加し、上位入賞を目指し練習をしています。

天狗うの演舞作品はメンバーが振り、衣装、大道具などの班に分かれ一から制作しています。自分たちが制作した作品を通してたくさんの人に元気や感動を与えることができ、達成感を感じられることが天狗うの魅力です。

また制作から練習とたくさん時間をメンバーと過ごすので学年・学校問わずこれ以上ない仲間に出会うことができます。大学生活何かに打ち込みたい！という子はぜひ天狗うと一緒に楽しみましょう。

人文学部 法律経済学科 3年 中島 駿



三重大学管弦楽団

活動日/月・水・土曜日(月・水曜日18:00~20:00、土曜日・長期休み10:00~13:00)

三重大学管弦楽団は月・水曜日の18時~20時、土曜日の10時~13時に活動しています。全団員が学業やアルバイトなどと両立しながら活動に参加しています。クラシックや映画音楽を演奏しており、主な活動として夏と冬の年2回の演奏会を開催しています。その他にも依頼演奏会など様々な演奏会に参加しております。2024年度の冬のコンサートでは第60回を記念してベートーベンの交響曲第九番を演奏いたしました。

初心者の方も大歓迎です！私たちは全団員が気持ちよく音楽を楽しめる部活を目指し、日々活動しています。受験生の皆さんと一緒に演奏できる日を楽しみに待っています！応援しています！

生物資源学部 共生環境学科 農薬土木教育コース 3年 辻 蒼司



主要成績・実績 2024(令和6)年度

陸上競技部

- 東海地区国立大学体育大会 ★優勝/男子400m
- 日本学生陸上競技対校選手権大会 ★第5位/男子400m

吹奏楽団

- 全日本アンサンブルコンテスト ★銅賞

医学部 ソフトテニス部

- 西日本医科学生総合体育大会 ★優勝/女子団体
- 全日本医科学生体育大会王座決定戦 ★準優勝/女子団体

医学部 バレーボール部

- 西日本医科学生総合体育大会 ★優勝/女子の部

医学部 弓道部

- 西日本看護学生弓道選手権大会
- ★優勝/女子団体
- ★優勝/個人
- ★最優秀射技賞/個人

水泳部

- 東海地区国立大学体育大会
- ★優勝/自由形種目100m・200m
- ★優勝/背泳ぎ種目

医学部 バドミントン部

- 近畿東海医科大学バドミントン大会 ★優勝/男子シングルス

医学部 空手道部

- 西日本医科学生総合体育大会 ★第一位/女子個人

馬術部

- 中部学生自馬競技会 ★優勝/H100障害馬術競技

ヨット部

- 春季中部学生ヨット選手権大会 ★団体1位
- 秋季中部学生ヨット選手権大会 ★団体1位
- 中部学生ヨット個人選手権大会 ★1位

医学部 陸上競技部

関西医科学生対抗陸上競技選手権大会

- ★総合優勝(団体)/男子
- ★優勝(個人)/男子4×100mR
- 男子400m
- 男子1500m・5000m
- 男子110mh
- 男子走高跳
- 女子走幅跳

西日本医科学生総合体育大会

- ★総合優勝(団体)/男子
- ★優勝(個人)/男子4×400mR
- 男子400m
- 男子3000m障害
- 男子走高跳

関西医歯薬科学生対校陸上競技大会

- ★優勝(個人)/男子4×400mR
- 男子400m
- 男子5000m
- 男子110mH

クラブ・サークル一覧

体育系の課外活動

- 陸上競技部
- 水泳部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- サッカー部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 馬術部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- 男子ハンドボール部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- 卓球部
- ダンス部
- 剣道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 合気道部
- ワンダーフォーゲル部
- 自動車部
- 弓道部
- ヨット部
- トリアスロン部
- 応援団
- ジャグリアーノ(ジャグリリングサークル、大道芸)
- ロボコンクラブM3RC
- スキューバダイビングサークル
- 天狗う(よさこいサークル)
- サイクリングサークル
- ラインブレイク(釣りサークル)
- NEXT(ストリートダンス)
- 極津(よさこい)
- WILL(テニス)
- Wild Geese(アウトドア)
- 日本拳法部
- 電気自動車研究会
- Links(ソフトテニス)
- CHASE(硬式テニス)
- サバイバルゲームサークル
- ITFテコンドーサークル
- 競技スキー部
- げつパド(バドミントンサークル)
- MBC(軟式野球)
- HOMESTEAL(軟式野球)
- 蹴る!マツハ(シューマツハ)サッカー
- 学生フォーミュラチーム(車両製作)
- 自転車競技部
- ユニバド
- アーチェリー部
- ハイチュウ(バレーボール)
- 卓球サークル
- 三重大学 e-Sports
- バスケットサークル RUN&GUN
- 登山サークル 山嶺会
- 自然環境リテラシークラブ(NELC)

医学部 体育系

- 医学部サッカー部
- 医水野球部
- 医学部陸上競技部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ハンドボール部
- 医学部ソフトテニス部
- 医学部硬式テニス部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部バドミントン部
- 医学部バレーボール部
- 医学部卓球部
- 医学部剣道部
- 医学部弓道部
- 医学部空手道部
- 医学部合気道部
- 三重大学競技スキー部
- 医学部水泳部
- 医学部山岳部
- 医学部ダンス部Shuffle

文化系の課外活動

- 管弦楽団
- 吹奏楽団
- ギターマンドリンクラブ
- 邦楽部
- 室内楽部
- 写真部
- 美術部
- 軽音楽部
- ピアノ同好会 KLUB KLAIVIER
- 表千家茶道部
- 裏千家茶道部
- TRPG同好会
- 創作活動サークル リカゲル
- 囲碁・将棋部
- HELLO FM!!
- 献血推進サークル“ヴァンパイア”
- エレクトーンサークル23 -two・three-
- 万葉旅行の会
- Bb(軽音サークル)
- かめっぶり(ウミガメ・スナメリ調査)
- 劇団アーティスト(演劇)
- ねごサークル
- 天文サークル SOLA
- BBS(教育ボランティア)
- ぶるさあ。(アンサンブルサークル)
- Pioneer(アカペラ)
- アンピシヤスカード(マジック)
- Meiku [メイク(地域おこし)]
- つくしんぼサークル(子供ボランティア)
- mil-poa(手芸サークル)
- カフェ・サークル Le Lien
- Bio record(標本作製サークル)
- 計算研究会
- トラップーズ(狩猟・獣害対策)
- aquri-M(水生生物飼育・展示)
- 三重大生ファンタジスタクラブ
- 忍者部
- ESD-SDGs
- DOT(犬・猫保護)
- 競技かるたサークル
- オカルト研究部
- 法学研究会
- 魚食サークルMarisco
- クリエイティブサークル(旧学生団体FORTUNE)
- 教職サークル「ぼーる」
- バーチャルキャンパス(MUVC)
- International Group
- Organicrops
- 書道サークル
- イリュージョン(ポケモンサークル)
- お茶サークル
- ぬいぐるみサークル・ぬいゆるり
- ノウフク!(障がい者の方との農作業)
- 三重大学起業部
- IKOLLYEサポーター(地域再生ボランティア)
- みえだいいストリートフラッシュ(ポーカー)
- 競技麻雀サークル
- 古着サークルふるふる
- コスメサークル up-date
- 三重大学デュエマクラブ
- 子ども・若者活動企画サークルみえのわ

医学部 文化系

- 東洋医学研究会
- 医学部軽音楽部
- バンドサークル B.A.G
- きょうめい部
- U-cam
- よき医療者をめざす学生研究会
- MIE-Project
- 小児科訪問ボランティアサークルぞくよん
- MUSH(Mie University Students Helper)
- 医療系ボランティアサークルJAZZBAR
- すずみえ(慢性疼痛・多職種連携勉強会)
- しまうま
- 学生国際協力団体HeartsTree
- 臨床推論勉強会 CIRCINO



教育学部学校教育教員養成課程
家政教育コース 3年
奥山 璃有さん
(三重県立津高等学校出身)

One Day 三重大生の日

1週間
スケジュール

One Day

	月	火	水	木	金
朝		水泳部朝練習		水泳部朝練習	
1			消費者教育論		
2					初等教科教育法 (音楽)
3	初等教科教育法 (国語)	被服実習Ⅱ	学校経営と 学校図書館	特別活動論	
4	家庭科教育法Ⅱ	被服実習Ⅱ	読書と豊かな 人間性		
5	保育学概論				
6			学校図書館と メディアの構成		
放課後	剣道部	アルバイト		剣道部	アルバイト

クラブ・サークル
★剣道部★



東海地区国立大学体育大会での男女優勝を目指して、日々稽古に取り組んでいます。稽古の後にみんなでご飯を食べながら色々な話をする時間も大好きです。

教員になるために必要なことを学びます

アルバイト



カフェで制作したラテアート
カフェでアルバイトをしていて、接客やドリンク作りなどを行っています。
最初は覚えることもたくさんあり大変でしたが、お客様との会話を通して自分自身の成長も感じられます。

クラブ・サークル
★水泳部★
(マネージャー)



タイムを測ったり、練習器具の準備や片づけをするなど、マネージャーとして選手のサポートをしています。部のみんなと行った新潟旅行では、先輩方とも仲良くなれて1番の思い出になりました。

Q1 三重大のいいところは？

★1つのキャンパスに全学部が集まっているので、他学部の人とも関わるところ！



Q2 学内のお気に入りスポットは？

★教育学部の裏の小道がお気に入りです。人通りも少なく自然を感じられて、お散歩にぴったりです。

Q5 放課後や休日は何してる？

★友達とよくお出かけをします。最近はお花畑など、自然がある場所に行っています。



Q6 大学生活を楽しむコツは？

★高校と比べて時間がたくさんあるので、色々なことに積極的にチャレンジすることで、1日がより充実すると思います。

Q3 好きな授業は？

★好きな授業は被服実習です。この授業では、浴衣などを制作しています。作り方を学べるだけでなく、アレンジもできて、作品として手元にも残るので宝物になります。



Q7 大学生活でのマストアイテムは？

★日傘です！駅から大学までの道は日陰が少ないので、日傘をさすようにしています。



Q4 今夢中になっていることは？

★バンドにはまっています。好きなバンドの音楽を聴いたり、ライブやフェスに行ったりしています。



スキマ時間を有効活用

友達と食堂でランチタイム

部活のメンバーと食べたり、家で食べたりします

授業の課題や、次の日の準備をします

ドラマを見たり、音楽を聴いたり



学生支援システム

三重大学に入り学生生活を送る上で、勉学上、健康上及び経済上等、さまざまな問題が発生する場合があります。本学では学生が快適な学生生活を過ごせるよう種々の支援を行っています。

学生支援・キャリアセンター

本学学生の修学、就職、生活及び健康等への支援体制を充実し、快適な学生生活の実現を図ることを目的として、「学生支援・キャリアセンター」が設置されています。

学生支援・キャリアセンターは、①学生支援の総合的推進、②センター内の各部門(学生支援企画部門、キャリア支援部門、障害学生支援部門)及び学生支援企画部門内の各ユニット(修学支援ユニット、学生活動ユニット、学生相談ユニット)間の連携・調整、③その他学生の支援に関する業務を行っています。

学生支援企画部門 修学支援ユニット

学生支援企画部門修学支援ユニットは、全学的な立場から、皆さんの学生生活の充実を支援します。具体的には以下のような業務を行っています。

- ◎奨学金、入学金及び授業料の免除等、経済援助に関すること。
- ◎学生寄宿舎に関すること。
- ◎学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険に関すること。
- ◎その他、学生の生活支援に関すること。

学生支援企画部門 学生活動ユニット

学生支援企画部門学生活動ユニットは、学生の課外活動及び学生生活に係る以下の支援を行っています。

- ◎クラブ・サークル活動やボランティアなど学生の多様な課外活動を支援しています。
- ◎ピア・サポーター学生委員会及びACS学生委員会(障害に関する学生委員会)等の学生団体の活動を支援しています。

※ACSとは、「Accessibility and Communication Supporter」の略称です。

- ◎課外活動施設や福利厚生施設の利用に係る支援をしています。

その他学生の生活支援だけでなく、学生を取り巻くトラブルに本学学生が巻き込まれないための注意喚起等(薬物乱用禁止、SNSの利用や架空請求等)も行っています。

学生支援企画部門 学生相談ユニット (学生なんでも相談室)

学生支援企画部門学生相談ユニット(学生なんでも相談室)は、学生生活の中で困ったことや、わからないことが起きた時に気軽に相談できる場所です。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題など、どんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。長い大学生活の中では、一人で考えてもうまくいかないこと、友達には相談しづらいこと、友達と相談しても解決できないことがたくさん出てくるでしょう。そんな場合には、お気軽に相談室をご利用いただけます。

また、在学中のお子様に関する保護者からのご相談も承っています。

キャリア支援部門 (キャリアセンター)

キャリア支援部門は、学生が低学年から主体的に進路選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ、就職支援等を推進することを目的として設置されています。

キャリア教育については、学生自らが人生の在り方を考え、また、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。

インターンシップについては、自らの職業適性や将来設計について考える機会を提供するため、学生が企業等で就業体験することをサポートします。

就職支援については、就職ガイダンス、学内企業説明会、就職情報の提供、キャリアカウンセラーによる就職相談等を行っています。

障害学生支援部門 (障害学生支援センター)

障害学生支援部門は、障害のある学生の高等教育機関への進学に対し、以下の支援を行っています。

- ◎障害学生支援に携わるコーディネーターが相談を承り、学部教員との連携のもと、授業等への支援を行っています。
- ◎学外から講師を招き、障害についての理解や、具体的な支援の在り方などを学ぶ研修会を開催しています。
- ◎さまざまな障害のある方々の理解と支援について、実践的な授業を開講しています。

障害学生支援部門では、障害のある学生をサポートする学生への支援(ACS学生委員会)や、障害学生支援を展開する全国の大学との連携を進める中で、学生が互いに学び合い、それぞれのキャリアに活かせるような取り組みを目指しています。

保健管理センター

●場所 / 総合研究棟II 1階 ●開室日 / 月曜日～金曜日(休業日を除く) ●時間 / 9:00～17:00

保健管理センターは、保健に関する専門的業務を行うところです。皆さんの健康の保持増進を図ることを目的として、医師・保健師・看護師及び心理カウンセラー(公認心理師)が、専門的な立場から【こころ】と【からだ】両面の相談に応じています。

こころとからだの異常や病気の相談、また悩みや不安等、気軽に話し合える場所として利用してください。また、定期及び臨時的健康診断、応急処置、各種の医学的検査、その他心身の健康の保持増進について必要な指導及び検査研究、健康診断証明書の発行等を行っています。

支援方針

三重大学では、「学生支援の基本方針」・「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

学生支援の基本方針

SUPPORT 1 教育目標の実現に向けた学生支援

三重大学では、「幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成する」という教育目標を実現するために、必要とされる学生支援を全学で取り組む。

SUPPORT 2 安心・充実の学生生活の実現に向けた学生支援

全ての学生が入学から卒業まで、安心かつ充実した大学生活を送ることができるよう、教職員および学生が共に協力し、学生支援の活動を行う。

SUPPORT 3 相談体制の充実と課題の解決に向けた学生支援

学生が抱える修学上の課題や進路・就職に関する課題、その他大学生活を通じて生じる様々な課題について、いつでも相談できる体制を充実させ、全学組織および各部署が連携して、課題の解決に向けた学生支援に取り組む。

SUPPORT 4 全学の支援体制整備と連携を通じた学生支援

学生支援体制のさらなる充実のために、「教育推進・学生総合支援機構」内に設置されている「学生支援・キャリアセンター」や、「保健管理センター」、「国際交流センター」、その他学内諸施設等は、相互に連携を図るとともに、各部署との連携を強化しつつ、学生に対する多面的な支援を実現する。

SUPPORT 5 学生自身の活動を通じた学生支援

学生自身による学生支援の取り組みを積極的に奨励し、ピア・サポート活動や学生団体の活動の活性化、課外活動の充実を図る。

「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」については、三重大学ウェブページをご確認ください。

キャリア教育方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/career-policy.html>



障害のある学生の支援に関する基本方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>



生活サポート

学生寄宿舎

三重大学には、3つの学生寄宿舎があります。入寮の募集等は、掲示板、三重大学ホームページ等で随時お知らせします。
なお、入学予定者への募集人数及び申請期間等の詳細は、入学試験合格者へ大学から郵送する「入学手続要項」においてご案内します。

男子寮(安濃津)

- ◆所在地/津市栗真中山町166番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 4階
【面積】3,851㎡
- ◆収容人数/109人
- ◆居室/【1室】1名
【面積】14㎡
- ◆寄宿料/8,000円
(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/徒歩15分



女子寮(清和)

- ◆所在地/津市栗真町屋町字中新畑561番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 3階
【面積】1,245㎡
- ◆収容人数/60人
- ◆居室/【1室】1名
【面積】9㎡
- ◆寄宿料/7,100円(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/徒歩3分
- ◆3年次に国際女子寮へ転寮していただきます。



国際女子寮(碧海)

- ◆所在地/津市江戸橋2丁目174番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 4階
【面積】2,137㎡
- ◆収容人数/75人
- ◆居室/【1室】1名
【面積】13㎡
- ◆寄宿料/5,900円(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/キャンパス内



国際女子寮留学生サポーター

国際女子寮で生活する留学生を手助けする「留学生サポーター」がいます。入寮条件は、三重大学に在学している女子学生で、日本語と英語が話せる学生であれば学部生、院生、国籍は問いません。

こんな方はぜひご応募ください!

- ◎英語力には自信はないが、留学生の助けとなる活動がしたい
- ◎自分の研究時間も確保でき、英語も活かして留学生と交流したい
- ◎三重県内に住んでいるが、寮で暮らし留学生と交流がしたい

アパート・マンション

アパート・マンション等の案内は、三重大学生活協同組合が年間を通して斡旋しています。

多くがキャンパス周辺にあり、現地まで案内をしています。

部屋の設備は風呂、トイレ、キッチン、エアコン、インターネット対応等を完備した物件が大半を占めています。

家具家電付きの物件もあります。

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

種類	6帖	8帖~10帖
オートロック	35,000円~	39,000円~
アパート	15,000円~	20,000円~
マンション	20,000円~	25,000円~

※なお、この料金他に共益費・水道光熱費などが必要です。

学費・奨学金

学生納付金

全学部	入学料		282,000円
	授業料	前期	267,900円
後期		267,900円	

* 本学では、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落としとして納付する方法(預金口座振替)を導入しています。
この方法は、電気・ガス等公共料金の支払いに広く利用されており、本学指定の取扱銀行が、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落としとして大学へ納付する仕組みです。

奨学金・授業料等減免制度

I 高等教育の修学支援新制度

令和2年度より開始された給付型奨学金と授業料等減免の2つの支援が受けられる制度です。

支援の内容	支援の対象	申請手続き
<ul style="list-style-type: none"> ◆授業料等の減免 (授業料と入学料の免除又は減額) ◆給付型奨学金 (返還が不要な奨学金) 	<p>勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないよう、国が経済的な支援を行う制度です。本学もこの制度の対象校として認定され、令和2年度から実施しています。</p>	<p>大学進学前に在籍している高等学校より募集案内がありますので、詳しくは高等学校へお問い合わせください。採用候補者として決定された場合、大学進学決定後に進学届の提出及び授業料・入学料の免除申請が必要になります。</p>

II 日本学生支援機構貸与型奨学金

奨学金の種類	第一種奨学金	第二種奨学金				
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 貸与奨学金 ※給付ではないので、卒業後に分割して返還します ② 無利子 ※貸与総額のみを返還 ③ 貸与月額が通学形態別に選択 ④ 家計基準は二種より厳しい ⑤ 学力は高校評定値が3.5以上必要 	<ul style="list-style-type: none"> ② 有利子(利率上限 年3.0%) ※貸与総額に利息も併せて返還 ③ 貸与月額を選択できます(貸与開始後に月額の変更も可能) ④ 家計基準は一種より緩やか ⑤ 学力基準は一種より緩やか 				
奨学金の月額※1	<table border="1"> <tr> <th>学部生</th> <td>自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択</td> </tr> <tr> <th>大学院生</th> <td>修士・博士前期 50,000円、88,000円から選択 博士後期・博士医 80,000円、122,000円から選択</td> </tr> </table>	学部生	自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択	大学院生	修士・博士前期 50,000円、88,000円から選択 博士後期・博士医 80,000円、122,000円から選択	2万円~12万円(1万円単位)から選択 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
学部生	自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択					
大学院生	修士・博士前期 50,000円、88,000円から選択 博士後期・博士医 80,000円、122,000円から選択					
貸与始期	学部生 4月から 大学院生 4月から	4月~9月の間で希望する月から				
貸与方法	申込時に指定した金融機関口座へ毎月11日頃に振り込まれます					

※1: 第一種奨学金と給付型奨学金を一緒に受ける場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

入学時特別増額貸与 上記何れかの奨学金貸与を受ける新入生(編入学者を含む)は、一定の条件を満たす場合に限り、希望により、奨学金の初回振込時に入学時特別増額(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)(有利子)の貸与を受けることができます。

III 三重大学独自の奨学金

看護学生奨学金制度について

対象者: 医学部看護学科(看護師等養成施設)に在学中の方で、免許取得後、本学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方(3年生以上)

貸与額: 月額50,000円

貸付期間: 貸与を決定された年度の4月から卒業する月まで

返還の免除: 卒業後、看護師・助産師の免許を取得され、本院に採用となり、一定期間勤務されたときは奨学金の返還が免除

【問い合わせ先】 TEL 059-231-5046

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse/recruit/scholar/>

渡邊文二奨学金について

対象者: 生物資源学部3年次の学生で経済的理由により、就学が困難である者
将来、三重県内で畜産、食品、水産および農業の事業に携わる見込みがある者

給付年額: 480,000円

給付期間: 2年間

返還の免除: 本奨学金制度の特徴として返還の必要がなく、2年間にわたり給付されます。また、他の奨学金団体から給付を受けている場合(応募している場合)でも応募できます。

【問い合わせ先】 TEL 059-231-9673

E-mail bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

IV その他の奨学金(地方公共団体や民間団体等の奨学金)

I~IIIの制度の他、地方公共団体や民間団体等の奨学金もあります。これらの奨学生募集は、大学を通して募集を行うものと、団体が直接募集するものがありますが、大学へ募集案内が届いたものについては、大学HPや掲示にてお知らせしています。募集時期は4~5月に集中しており、学業成績優秀で経済的に修学が困難な者を対象とした貸与型奨学金が多い状況です。申請を希望する学生は、修学支援センターにご相談ください。

また、大学に個別に募集案内が来ない奨学金もあり、出身地の教育委員会等が直接奨学生を募集しているものもあります。

国際戦略機構は、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを原点とし、国際交流センターへの改編を経て、2025年4月1日から国際戦略機構に改組しました。外国人留学生のための日本語教育、日本人学生のための英語による国際教育の他、海外の学術交流協定校と連携して、学生の派遣・受入や国際共同研究を行っています。



国際交流のHPはこちら

大学間協定
締結校
83
校
(2025.4.1)

学部間協定
締結校
44
校
(2025.4.1)

留学生
29か国・地域から
266
名
(2025.5.1)



国立ワイカト大学 (ニュージーランド) 語学研修

本学協定校の国立ワイカト大学での英語研修及び異文化交流ができるプログラムです。レベル分けされたクラスで、日本では体験できないユニークな授業が受けられます。滞在はホームステイで生きた英語が学べます。週1回、現地の大学生と交流ができる English club も好評です。2024年度からは5週間コースも追加し、とても満足性の高いプログラムになっています。



Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム

Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムは、三重大学(日本)、チェンマイ大学(タイ)、江蘇大学(中国)、IPB大学(インドネシア)、広西大学(中国)、メージョー大学(タイ)の6大学が交代でホスト校を務め、毎年開催される研究論文発表を中心とした国際交流プログラムです。例年アジアの10数大学が集まり、英語での研究発表会やワークショップを行います。2024年度は江蘇大学で開催され、19名の教職員・学生が参加しました。2025年度は三重大学で開催されます。



交換留学インタビュー



人文学部法律経済学科 4年
今野杏菜さん

留学先について

大学名: Heidelberg University
(ハイデルベルク大学)
場所: ドイツ・ハイデルベルク

留学を通じて学んだこと・経験したこと

この留学を通じて、自分から行動しなければ何も始まらない、ということを実感し、行動力と積極性が身につきました。講義内での議論はもちろん、タンドムパートナー作りや、交流会でのコミュニケーションなど、受け身になって待っているだけでは、自分の望む成果は得られませんでした。母国語ではない言語を介して意思疎通を図らなければいけない中、自発的な行動が求められる場面が多くありましたが、それらを留学で得られる「経験」として、なんとか乗り越えられるよう、日々奮闘しました。

三重大と留学先の大学のギャップ

講義中の学生の発言率がかなり高いです。教授の説明に対する学生の発言内容を元に授業が展開されていくことが多々あり、かなりフレキシブルな講義だと感じました。一方的に聴く講義というよりは参加型の講義が多かったです。学生が物怖じせずに発言することによって、より積極的な議論ができる環境となっていました。

留学を考えている学生に一言

留学に行こうか迷っている方がいらっしゃるなら、是非挑戦してみてください。学生という、まとまった時間を取ることができる今こそ、大きな選択をする絶好の機会であると思います。特に、まだやりたいことが見つからない方にとって、留学を通じて得られる様々な経験は、今後の自分自身についてを決める大きなきっかけになり得ます。不安や心配もあるとは思いますが、まずは一歩を踏み出して、留学という新たな環境に身を投じてみることを強くお勧めしたいです。

留学しようと思ったきっかけ

幼いころから海外のコンテンツに触れる機会が多く、漠然と海外そのものに憧れていました。中学生の頃に初めて海外渡航したとき、それまでの自分には想像もできなかった沢山のことを知り、世界の広さに感動しました。その時からずっと、留学をして、旅行では得ることのできない本当の意味での「経験」をしたいと考えるようになりました。感染症の流行により海外へと赴くことが厳しく、もどかしい時期もありましたが、渡航が可能になってすぐに留学を決めました。

留学先を選んだ理由

既に米州・豪州への滞在経験があったため、「留学をするなら欧州へ行く」と決めていました。そして欧州内でも、様々な分野において、自身の関心が多かったドイツを留学先を選びました。ドイツを選んだ一番の決め手となったのは、他国と国境を接している範囲が非常に大きく、国内にいながらも様々な文化を体験できるという点です。また、個人的にハードなドイツパンが好きだったということも影響しています。帰国した今となっては、当時の自分の選択は間違っていなかったと感じています。

留学先で困ったこと

滞在許可(VISA)の発行がなかなか完了しなかった際は、かなり困りました。申請受理のメールは受け取っているのに、肝心の発行完了連絡は一向に来ず、滞在有効期限切れになってしまう直前になってようやく音沙汰無しでした。結局、こちらからの催促でなんとか受け取ることができました。日本での公的な手続きは、ある程度の日数で滞り無く受理されることが一般的ですが、現地ではそのようにはいかず、困惑したのを覚えています。

タチ大学(マレーシア) 英語研修

本学協定校のマレーシア・タチ大学での研修プログラムです。教室で行われる授業もありますが、街に出て様々な異文化交流を通して英語を学んでいきます。必ず現地の大学生が同行するので、常に英語の環境で過ごせるのが魅力的です。英語でのリアルなコミュニケーション力が身に付きます。



海外フィールドスタディ

海外フィールドスタディは、本学の協定校であるホーチミン市師範大学(ベトナム)または韓国の大学にて、現地の学生と共に、互いの文化や言葉について学び、興味を持ったテーマについてフィールド調査を行い、異文化について理解を深めるプログラムです。共通教育科目として単位が修得できます。



学生海外チャレンジ 応援事業

学生海外チャレンジ応援事業は、学業やキャリアの達成のため、世界に飛び出してチャレンジする学生を応援する三重大学独自の奨学金制度です。2024年度は26名の学生が採用され、米国、ガーナ、台湾、マレーシア、インドネシア、トルコ、ブルガリア等17か国・地域への渡航を実現させました。みなさんも三重大学から海外にチャレンジしませんか？



三重大学主催の海外研修プログラム

	プログラム名	研修場所	国名
	Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム(国際戦略機構)	三重大学、チェンマイ大学、江蘇大学、IPB大学、広西大学、メージョー大学が交代で開催	日本、タイ、中国、インドネシア
全学対象	タチ大学英語研修(8月・3月)(国際戦略機構)	タチ大学	マレーシア
	ワイカト大学語学研修(8月・3月)(国際戦略機構)	国立ワイカト大学	ニュージーランド
	サウスカロライナ大学語学・異文化理解研修(国際戦略機構)	サウスカロライナ大学	アメリカ
	外国貿易大学(国際戦略機構)	外国貿易大学	ベトナム
	梨花女子大学 サマースクール(国際戦略機構)	梨花女子大学	韓国
	釜慶大学 サマースクール(国際戦略機構)	釜慶大学	韓国
	国際理解実践3/海外フィールド研修(全学共通教育センター)	ホーチミン市師範大学、啓明大学	ベトナム、韓国
	国際理解実践1/海外研修(イギリス)(全学共通教育センター)	シェフィールド大学 英語教育センター	イギリス
	スリランカ短期研修プログラム(人文学部)	サバラガム大学、国際協力機構コロナボ事務所 等	スリランカ
	海外教育実地研究(教育学部)	オークランド大学人文科学・教育学部、台湾の教育機関等、ジョーホール日本人学校、ホーチミン日本人学校、高雄日本人学校	ニュージーランド、台湾、マレーシア、ベトナム
各部署	海外臨床実習、早期海外体験実習、国際看護学研修1・II(医学部・医学系研究科)	医学科: シャルジャ大学、タマサート大学、フィリピン大学、ムンビリア大学、アムリタ大学、カーディフ大学、ザンビア大学 等 看護学科: チェンマイ大学、フライブルク応用科学カトリック大学 等	医学科: アラブ首長国連邦、タイ、フィリピン、タンザニア、インド、イギリス、ザンビア 他 看護学科: タイ、ドイツ 他
	海外短期インターンシップ(工学部・工学研究科)	海外の日本企業	タイ、フィリピン、ベトナム
	マレーシアアトレンガヌ大学サマースクール(語学研修・農学・水産実習)(生物資源学部、生物資源総合科学コース)	マレーシアアトレンガヌ大学	マレーシア

※本学で提供しているプログラムです(一部未実施あり)。年度によりプログラム内容が異なることがあります。

キャリア支援(就職支援)

万全のサポート体制で卒業後の進路選択をバックアップ

キャリアセンター

学生が低学年から主体的に進路が選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ及び就職支援等を推進することを目的としてキャリアセンターが設置されています。

キャリア支援の三本柱



キャリア支援策



キャリア教育

三重大では、学生が人生のあり方を考え、それを将来の社会生活や職業生活に結び付けていくために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。大学基礎科目の「キャリア教育入門」のほか、教養基礎(副専攻)科目の中にあるキャリア教育関連の科目を開講しており、指定された単位を履修し、研修を受けた学生には、学生支援や修学支援を行うための「三重大ピアサポート(PS)資格」「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得することができますので、1年の時から計画的に履修することをお勧めします。

●三重大ピアサポート(PS)資格教育プログラム

●スチューデント・アシスタント(SA)資格教育プログラム

資格取得を通して社会人としての「実践力」を育成!



大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、知識だけでなく、獲得した知識に基づいた実践のための応用力が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

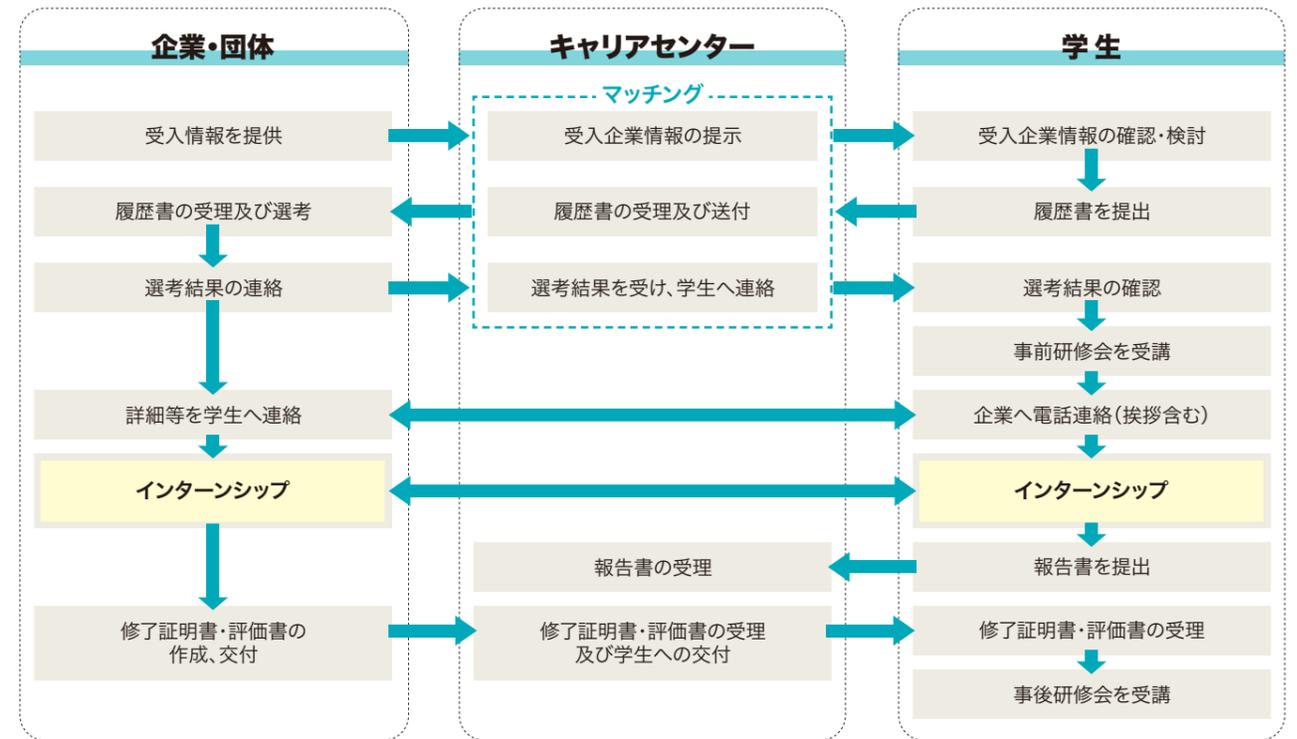
三重大では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。また、所定の科目を履修し、研修を受けた学生に対しては、「三重大ピアサポート(PS)資格」、および「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を認定します。「三重大ピアサポート(PS)資格」を取得した学生は、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画、また「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得した学生は、授業補助等で教員・学生のサポート役を担うなど、三重大の活性化にもつながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な「対人関係能力」や「コミュニケーション能力」といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

※これらの活動は、学内における様々なピアサポート団体によって行われている活動の一例です。

インターンシップ

三重大では、地域や社会とのつながりを通して、行動する力を引き出す教育を推進するため、インターンシップを大学教育の一環として捉え、全学生に積極的にインターンシップに参加することを促しています。大学での学びと社会組織での実習・経験を結び付けることで、学生の学修を深化させ、新たな学習意欲を喚起させるとともに、学生に自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供します。

インターンシップ実施の流れ (キャリアセンターを通じて参加するインターンシップ)



インターンシップ受入企業・団体

あいおいニッセイ同和損害保険、アイ・シー・エス、愛知時計電機、アビ、アビームシステムズ、伊勢市役所、ISOWA、いなべ市役所、井村屋グループ、エステートケミカル、エスワイシステム、NTTデータ東海、大垣共立銀行、おしごと広場みえ、尾鷲物産、カリモク家具、九鬼産業、交洋、三交不動産、三十三銀行、JAあいち経済連、JA愛知信連、JA全農みえ、JA三重厚生連、JAPAN TESTING LABORATORIES、ジャパンマテリアル、食品分析開発センターSUNATEC、シンフォニアテクノロジー、住友電装、ZTV、ソフィックス、大同特殊鋼、太陽化学、竹本油脂、中外医薬生産、津市役所、デリカフーズ、デンソートリム、デンソーパワートレインテクノロジー、東京海上日動火災保険、東邦ガス、トーテックアメニティ、鳥羽市役所、トヨタシステムズ、豊田自動織機ITソリューションズ、トヨタモビリティパーツ、名古屋港管理組合、西垣林業、日本トランスシティ、林テレンプ、万協製菓、光機械製作所、百五銀行、マサヤ、松阪市役所、松阪電子計算センター、三重県環境保全事業団、三重県警察、三重県総合文化センター、三重県庁、ミエデン、三重労働局、三井住友海上火災保険、ミルボン、名南コンサルティングネットワーク、メディカル光グループ、八神製作所、安永、ヤマザキマザック、ヤマモリ、四日市合成、ライフ・テクノサービス など



就職支援

キャリアセンターでは就職相談・就職情報の提供・就職ガイダンスを3つの柱として、学生の自立的な就職活動を支援しています。
 キャリアセンターホームページ <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/>

就職相談コーナー

キャリアカウンセラーが個別に
 進路・就職相談に応じます。



- 就職するか進学するか進路に迷っている。
- 学部卒と院卒、どちらがいいのか。
- 公務員か民間企業に就職するか、悩んでいる。
- やりたい仕事がなく、応募企業が見つからない。
- 自己分析をしていて、自分に自信がなくなった。
- エントリーシートに記載するような自己PRが見つからない。
- エントリーシートの添削をしてほしい。
- 個別面接対策を指導して欲しい。
- 人前で話すのが苦手。模擬面接をしてほしい。

就職情報コーナー(総合研究棟Ⅱ 1階)

就職およびインターンシップ等に関する情報を提供します。

- 就活参考書(公務員試験過去問、SPI・面接対策本 等)の貸出
- 企業情報の公開

自由に使えるパソコンやフリースペースを設けています。



就職活動参考書(貸出)
 ※借りる際は事務室まで申し出てください。

就職ガイダンス等

本学では主に3年生、修士1年生対象の
 就職ガイダンスを開催しています。
 少人数制のミニ講座も開催し、模擬面接
 を行っています。



年間計画 ● 就職ガイダンス(予定) ●

実施月	ガイダンス
4月	キャリアセンタースタートアップガイダンス(低学年向け)
	前期スタートアップガイダンス(就職活動スケジュール・準備について概要)文理別で開催
	自己分析・ES対策講座(自己PR・ガクチカ)
	筆記試験対策講座(オンデマンド開催)
5月	インターンシップに向けた業界研究講座
	インターンシップ学内企業説明会
6月	面接対策講座
	就職お悩み相談部屋 ISに役立つグループディスカッション活躍講座
7月	学内企業研究会
10月	後期スタートアップガイダンス+企業・業界研究(今後の就職活動スケジュール・準備 等)
	1・2年生向けキャリアガイダンス
11月	業界研究セミナー
12月	面接対策講座
	就職お悩み相談部屋
1月	公務員業務説会
	就職活動直近ガイダンス(選べるガイダンス)

三重大学卒業者の就職状況(令和6年度)

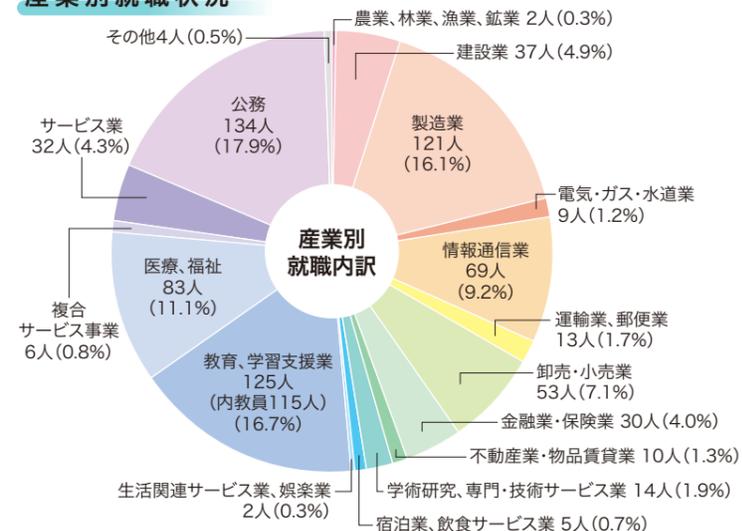
令和7年5月1日現在

区分	学部	人文学部		教育学部		医学部		工学部	生物資源学部	合計
		人文学部	教育学部	医学科	看護学科					
卒業生数		272(154)	196(125)	119(46)	75(73)	385(54)	270(114)	1,317(566)		
卒業生内訳	就職者数	244(140)	178(116)		73(71)	120(21)	134(65)	749(413)		
	進学者数	11(4)	16(9)		1(1)	263(33)	127(46)	418(93)		
	臨床研修医			119(46)				119(46)		
	その他	17(10)	2(0)	0(0)	1(1)	2(0)	9(3)	31(14)		
	計	272(154)	196(125)	119(46)	75(73)	385(54)	270(114)	1,317(566)		
就職者の産業別内訳	農業、林業、漁業、鉱業	0(0)	0(0)		0(0)	1(0)	1(0)	2(0)		
	建設業	2(1)	0(0)		0(0)	28(6)	7(0)	37(7)		
	製造業	30(15)	6(5)		0(0)	49(7)	36(27)	121(54)		
	電気・ガス・水道業	3(1)	0(0)		0(0)	0(0)	6(4)	9(5)		
	情報通信業	37(18)	8(5)		0(0)	18(4)	6(4)	69(31)		
	運輸業、郵便業	7(4)	0(0)		0(0)	2(0)	4(1)	13(5)		
	卸売・小売業	25(18)	10(8)		0(0)	5(1)	13(8)	53(35)		
	金融業・保険業	24(10)	2(1)		0(0)	0(0)	4(1)	30(12)		
	不動産業・物品賃貸業	6(6)	0(0)		0(0)	3(1)	1(0)	10(7)		
	学術研究、専門・技術サービス業	7(4)	2(2)		0(0)	3(1)	2(2)	14(9)		
	宿泊業、飲食サービス業	2(2)	2(1)		0(0)	0(0)	1(0)	5(3)		
	生活関連サービス業、娯楽業	1(1)	0(0)		0(0)	1(1)	0(0)	2(2)		
	教育、学習支援業	8(5)	115(70)		0(0)	1(0)	1(0)	125(75)		
	(内、教員数)	4(3)	111(66)		0(0)	0(0)	0(0)	115(69)		
	医療、福祉	5(2)	11(12)		66(64)	0(0)	1(0)	83(78)		
	複合サービス事業	3(1)	0(0)		0(0)	0(0)	3(1)	6(2)		
	サービス業	13(8)	4(0)		0(0)	6(0)	9(4)	32(12)		
	公務	69(43)	17(12)		7(7)	3(0)	38(13)	134(75)		
	その他	2(1)	1(1)		0(0)	0(0)	1(0)	4(2)		
	計	244(140)	178(117)	0(0)	73(71)	120(21)	134(65)	749(414)		
就職先地域	三重県	60(37)	80(46)		53(51)	16(2)	23(9)	232(145)		
	愛知県	86(37)	64(47)		16(16)	38(2)	43(22)	247(124)		
	東海地方(静岡県・岐阜県)	10(9)	6(4)		1(1)	2(0)	10(5)	29(19)		
	関東地方	62(41)	14(7)		2(2)	48(13)	28(13)	154(76)		
	近畿地方	15(10)	8(7)		1(1)	13(1)	23(10)	60(29)		
	その他	11(6)	6(5)		0(0)	3(3)	7(6)	27(20)		
計	244(140)	178(116)	0(0)	73(71)	120(21)	134(65)	749(413)			
就職率	97.6%	100.0%		100.0%	99.2%	98.5%	98.8%			

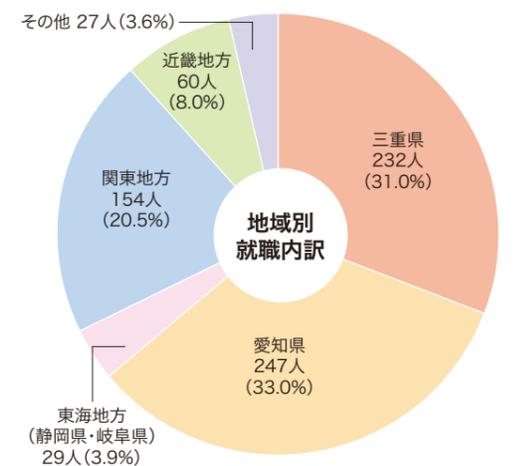
※()内は女子を内数で示す。 ※就職率は、就職希望者に占める就職者の割合。

産業別・地域別就職状況(学部全体)(令和6年度)

産業別就職状況



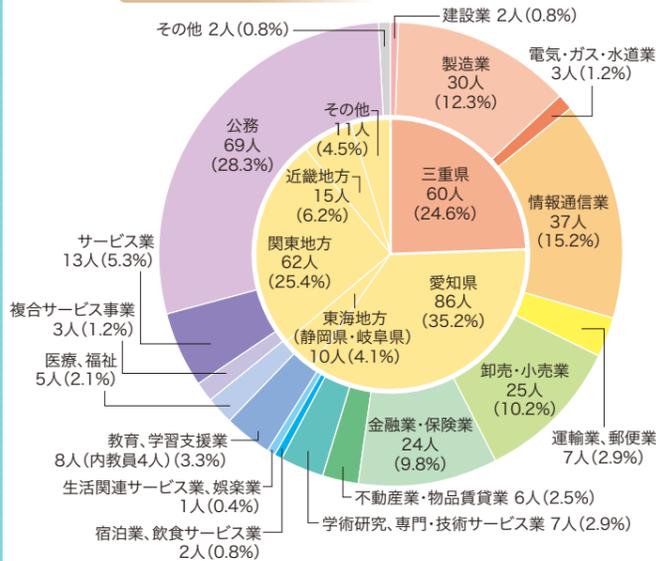
地域別就職状況



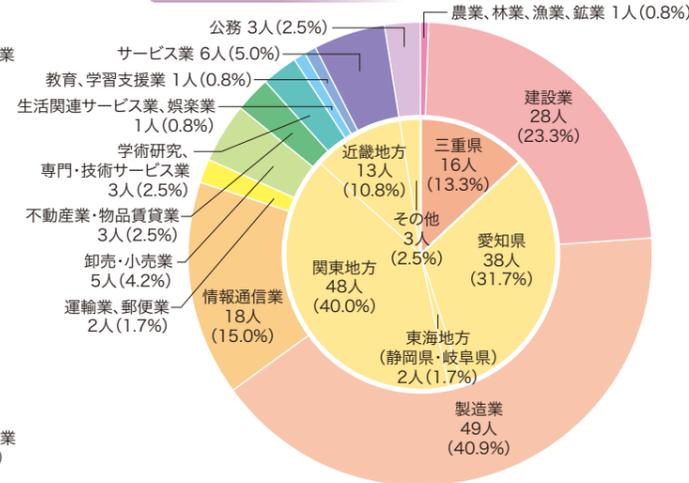
学部別就職状況(令和6年度)

有能な人材を多様な分野に輩出!

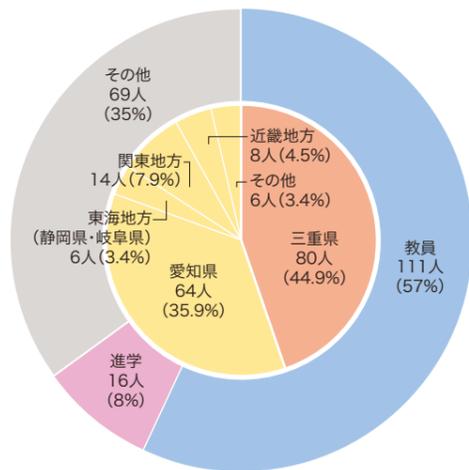
人文学部



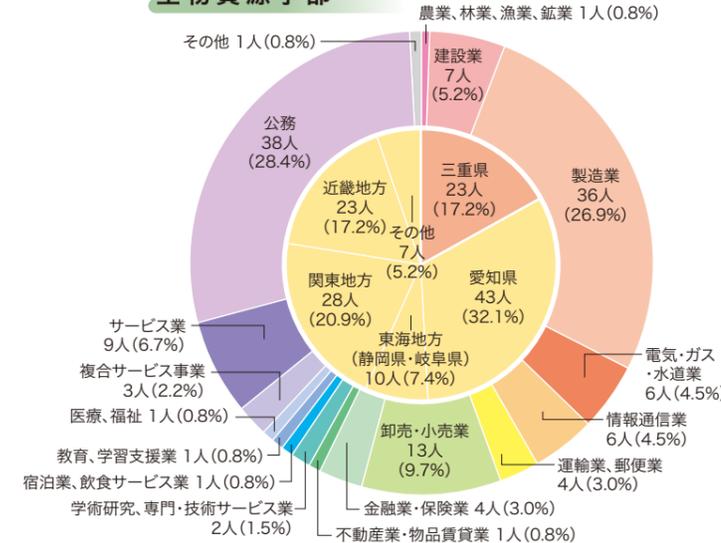
工学部



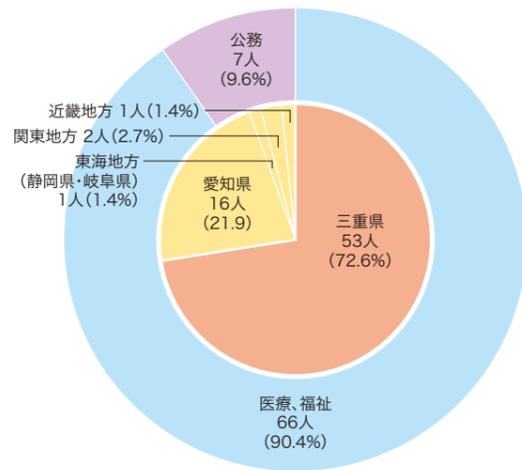
教育学部



生物資源学部



医学部(看護学科)



都道府県別就職状況(令和6年度)





● 受験生に一言 ●

大学では、学問はもちろん、人との出会いや経験を通して多くのことを学ぶことができます。受験勉強は大変なこともあると思いますが、努力は必ず将来の自分を支えてくれます。どうか体調に気をつけながら、自分のペースで前向きに頑張ってください。

医学部 医学科

三重大学医学部附属病院 消化管・小児外科/ゲノム医療部 北嶋 貴仁 さん 2008年卒業

Q1. 医師を目指したきっかけは？

子どもの頃、治療を受けた医師の真剣な姿勢が強く心に残り、その姿に憧れて医師を志しました。「自分もこんなふうになにかの力になれる仕事がしたい」と思ったのが、医師を目指すきっかけでした。

Q2. 現在のお仕事は？

三重大学病院のゲノム医療部に所属し、がんゲノム外来や遺伝カウンセリング外来を担当しています。あわせて、消化管外科では主に大腸がん患者さんに対して薬物療法を行い、個々の状況に応じた治療に取り組んでいます。

Q3. 仕事のやりがいは？

患者さんのがん治療に寄り添いながら、治療を通じて少しずつ笑顔や穏やかな日常を取り戻される姿に触れると、大きなやりがいを感じます。患者さんの前向きな姿勢に、私自身も日々励まされています。

Q4. これからの目標は？

医療は日々進歩しており、新しい治療法や薬も次々と登場しています。これからも知識と技術の研鑽を重ね、患者さん一人ひとりにとって最適な医療を提供できるよう努力していきたいと思っています。

Q5. 学生時代に熱中したことは？

大学時代は軟式テニス部に所属し、学業と両立しながら練習に励む日々を過ごしていました。チームメイトとともに努力を重ねた経験は、今の仕事にも通じる多くの学びと支えになっています。



● 受験生に一言 ●

学校やそれ以外でも、できるだけ幅広く学ぶ事をお勧めします。興味がない事、役に立ちそうにない事もあるかもしれませんが、しかし数年、数十年後に何か課題に直面した際、脳の片隅にある記憶が打開のヒントになる事があります。知らない物に思い当たる事はありますが、少しでも知っていれば、思い出せたり調べられたりします。知っている事柄を増やすことが後の自分を救うかもしれません。(私はそれに何度も救われました)

大学院工学研究科 電気電子工学専攻

セイコーエプソン株式会社 MD商品開発部 森本 梨聖 さん 2023年修了

Q1. 入社の動機は？

あまり知られていませんが、弊社ではセンサーの開発を行っています。私は大学院で高齢者の身体の動きから認知症進行度を推定する研究をしており、ジャンルは違いますが「センシングにより社会課題を解決する」志に共通点を感じ、興味を持ちました。またセンサー以外にもプリンター・プロジェクターを始めとする様々な事業があり、色々な職種があるため、入社後の選択肢が広い事も決め手の一つです。

Q2. 現在のお仕事は？

加速度センサーの設計チームの一員としてお客様との接点を担っています。実際に現場に足を運び、お客様の困りごとを知り、センシング技術でどのように解決できるか、技術的な提案を行っています。またその中で必要なツール(ソフト・ハード)を設計することもあります。さらにセンサー活用事例をWebで公開する活動にも取り組んでいます。

Q3. 仕事のやりがいは？

お客様に弊社センサーの性能を理解していただき、困りごとの解決策を提案できた時は非常に嬉しいです。過酷な現場検証や難しい課題に取り組む事もありますが、感謝の声をもらった時にはその苦勞が報われた気持ちになります。そして自分の取り組みが大きな売り上げにつながることも嬉しいです！

Q4. これからの目標は？

仕事面では、より多くの方にセンシング技術の魅力を感じてもらえるよう、技術者としての経験とスキルを向上していきたいです。プライベートでは、就職を機に移り住んだ長野県の自然やグルメをさらに満喫したいと思っています。

Q5. 学生時代に熱中したことは？

大学生の頃は勉強、大学院生の頃は研究をメインに取り組んでいました。研究室は留学生が多く、拙い英語でしたが毎日会話やディスカッションができたのは良い経験になりました。留学生に日本文化を楽しんでもらおうと、近くの海岸でスイカ割り大会を企画したのも良い思い出です。



● 受験生に一言 ●

三重大学は自分の専門分野の勉強だけでなく、講義や部活、サークルなどで色々な学部の人とのつながりがあり、たくさんの刺激を受けて、色々な事にチャレンジできる環境です。大学に入学したら新しい可能性がたくさん広がると思うので、受験は大変だと思いますが無理しすぎず頑張ってください。応援しています！

医学部 看護学科

三重大学医学部附属病院 看護師 長岡 莉湖 さん 2022年卒業

Q1. 助産師を目指したきっかけは？

大学時代に仲の良かった友達が助産師を目指しており、どんな仕事なのか調べ始めたのがきっかけです。大学2年生の時に始まった母性分野の講義から、妊娠・出産は奇跡なんだと知り、それを近くで支えられる助産師を目指したいと思うようになりました。

Q2. 現在のお仕事は？

産科病棟で、妊産褥婦、新生児を対象としてケアを行っています。ハイリスクの事例が多く、対象の方への安全な医療というものが優先されがちではありますが、その中でも関係性を築きながらできる限り不安を取り除き、その方に応じたケアができるように心がけています。産後の方には退院後の生活にも目を向けて地域との連携も図っています。

Q3. 仕事のやりがいは？

産科病棟は何が起きるか分からない緊張感があり、色々なリスクを考えながら動いているので大変だと感じることも多いですが、妊娠期から長期入院された方が無事に出産を終え、母子、ご家族の笑顔や感動を間近で感じられ、助けになれたときはとてもやりがいを感じます。

Q4. これからの目標は？

助産師としての役割は妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期とたくさんあるので、これからも勉強を続けながら自分のやりたいことを日々模索していきたいと思っています！

Q5. 学生時代に熱中したことは？

大学生になり初めて部活動のマネージャーを経験しました。チームで同じ目標に向かって練習をした日々や、試合で勝利した時の嬉しさや感動は今でも忘れられません。選手の頑張る姿を近くで支えるという経験は、今の仕事に繋がっていると思う部分もたくさんあるので、大学1年生の時に部活に入るという選択をして良かったなと思っています。



● 受験生に一言 ●

大学に入学すると選択肢が広がり、視界が開けた気分になると思います。いろんなことに興味を持って積極的に身を投げ、想像していたよりもずっと面白いこと、楽しいことにたくさん出会ってください。また、私は一度学部を卒業して就職した後には社会人修士として大学院に入りました。仕事を経験してから学び直すことで、知識の習得の際により解像度が高くなったと思います。多様な背景を持つ学生が増えることで互いにより刺激になると思いました。受験生の皆さんを応援しています！

大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

愛知県水産試験場内水面漁業研究所 弥富指導所 湯口 真実 さん 2022年修了

Q1. 入社動機は？

学生時代に行った調査における漁業者とのやりとりを通じて、水産業が抱える様々な課題をより身近に感じ、これらの課題解決に取り組むという業務内容に興味を持ち、試験を受けました。

Q2. 現在のお仕事は？

観賞魚の魚病担当として、養殖魚の魚病診断を行っています。また、国内初となる水産用生ワクチンの実用化に向けて、利用のガイドラインの策定をするため、キンギョのヘルペスウイルス性造血器壊死症を対象として、大学、企業、他県水試と共同研究を行っています。

Q3. 仕事のやりがいは？

新たな疾病予防策の提案により、養殖業の疾病防除の分野において、今後飛躍的な発展が見込まれ、この重要かつ長期にわたるプロジェクトの一端に携わっていることにやりがいを感じています。また、これまでに得た知識や経験に基づき、魚病診断を行い、対策を提案することができたときにもやりがいを感じます。

Q4. これからの目標は？

試験結果を論文等で発表し、ガイドライン策定の根拠を積み重ねていくことです。また、漁業者や養殖業者の困りごとに対応し、頼りにされる技術者となれるよう、常に知識、技術や情報を更新し続けたいと思います。

Q5. 学生時代に熱中したことは？

大学では自分の興味のある講義がたくさんあり、手当たり次第に履修して受講していました。最初はそれぞれの講義内容は点と点でしたが、得た知識が増えるにつれて体系立ったものとなり、自分で考えられる力がついたと思います。また、勉強と同じくらい趣味の音楽や旅行にも力を注ぎました。

大学施設

環境・情報科学館 Mie Environmental & Informational Platform



環境・情報科学館は、環境学習の充実や双方向的な学習・教育研究を図ることを目的とした建物で、MEIPL館(Mie Environmental & Informational Platform)の愛称で親しまれています。

隣接する図書館とは2階の連絡通路でつながっており、アカデミックコモンズの一角として、学生による新しい知の創出と共有の場となることを想定しています。

環境への配慮として、建物には太陽光パネルやLED照明、CO₂センサーなど、自然光の活用やエネルギーロスを削減するさまざまな工夫や環境配慮技術が施されています。また、1階ホールの壁面には、三重大学演習林の間伐材が再利用されており、木の風合いを感じることができます。

1階 環境情報の発信拠点



ジオラマ展示(トリムトレイル)

企画・展示機能

1階ホールは、環境や教育・研究活動に関する情報発信、地域コミュニティとの交流プラットフォームとして、シンポジウム、展示会、講演会、会議などさまざまな用途に利用いただけます。また、トリムトレイル(Trim:利用者の体調を整える、Trail:みどり豊かな遊歩道)をキャンパス内に整備しており、コースのジオラマを展示しています。構内に点在する史跡や文化遺産、豊かな自然などのみどころを案内しています。



マルチディスプレイ(1Fホール)

2階 ラーニングコモンズ



光精工 ラーニングコモンズ

能動的学習支援機能

2階全体は、利用者同士が交流し、新たな知を創造するための共有空間となっています。オープンスペースでは、利用者が目的や人数に応じた学習エリアを選び、液晶ディスプレイやホワイトボードを組み合わせることで、最適な学習空間を自ら設計できます。また、よりプライベートな環境で課題探求活動に取り組めるグループ学習室も用意されています。



イベントの様子(1Fホール)

3階 授業やゼミのための新しい教室空間



PBL演習室、ティーチングコモンズ

人材育成機能

廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室空間では、それぞれのプライバシーを確保しながら、お互いの気配を感じるによって、刺激しあえる空間となっています。可動式の椅子やテーブルを備えていますので、多様な教育方法に対応できます。

附属図書館

<https://www.lib.mie-u.ac.jp>



キャンパスの中央に位置する図書館は、延べ面積8,276㎡、閲覧座席数741席を備え、約95万冊の図書を所蔵しています。

1階は、利用者自身が必要に応じ学習空間をデザインし、学生同士で相談しあったり、ディスカッションをしたりしながら学習することができるラーニングコモンズというグループ学習のエリアです。また、各種新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーがあります。

2階は、学習用の図書や辞書・辞典があるエリアがあり、大学院生と学部最終学年の学生には研究用個室もあります。

3階は、静かに利用するエリアです。静粛な学習空間となっています。

図書館における情報リテラシー教育について

図書館では、皆さんの学部あるいは大学院での学習・研究活動を支援するために、資料の収集や情報サービスの充実にも努めています。なかでも、コンピューターとネットワークによる学術的情報の収集発信(読み書き)能力を主とした情報リテラシーの育成を支援する活動に力をいれています。

図書館利用ガイドンス

- 図書館ツアー
- 書庫利用ガイドンス

情報検索講習会

- 蔵書検索入門
- 国内文献検索講習会
- 海外文献検索講習会

その他

- 授業内容に関連した講習会など



開館時間

- ◎ 平日(月～金) 8:30～20:00
- ◎ 土・日・祝日 11:00～18:30
- ◎ 春・夏・冬季休業期(月～金) 8:45～17:00

休館日

- ◎ 入学試験日(一般選抜)、年末年始(12月28日から1月4日)
- ◎ 夏季一斉休業日、春・夏・冬季休業中の土・日・祝日
- ◎ メンテナンスに必要な日

図書館利用に関するお問い合わせ

- ◎ 図書館チームサービス企画担当
- TEL:059-231-9088 (平日 9:00～17:00)
- E-mail: lib-service@ab.mie-u.ac.jp

情報基盤センター

<https://www.cc.mie-u.ac.jp/>



情報基盤センターでは、三重大学の情報ネットワークシステムの管理・運用、情報基盤の構築・維持・充実にむけた戦略をたてています。

学内にWi-Fiを整備、各自のノートパソコン等を学内ネットワークに接続する環境を整備するとともに、学外から学内システムを利用できるよう、安全なリモート接続環境を整備し、教育・研究をサポートしています。プリンタや研究用解析ソフトウェア、Web構築環境など、各種サービスも提供しています。ICTに関するサポートデスクも設けています。

また、データサイエンス公開セミナーでは、最先端の情報技術やデータサイエンス、DX(デジタルトランスフォーメーション)などの話題に触れる機会を提供しています。

教育推進・学生支援機構

<https://www.hedp.mie-u.ac.jp/>



教育推進・学生支援機構は、各部署等と連携・協働し、三重大学が掲げる教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発等を推進するとともに、学生の修学、就職、生活環境等への総合的な支援体制を構築・整備し、教育及び学生支援に係る質的向上を図り、質を保証するために必要な取り組みを行うことを目的としています。

全学共通教育センター

三重大学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、全学共通教育に係る理念やカリキュラム構成に関する事項について再定義し、社会に求められる人材育成のため、本学の全学共通教育を展開することを目的としています。

大学院部門

三重大学が掲げる大学院教育の目標に向けた取り組みを検討し、実施するとともに、大学院学生の修学支援を行い、大学院教育の充実に資することを目的としています。

アドミッションセンター

三重大学が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、高校教育及び大学教育の連続性と一貫性に立つ高大接続を推進するとともに、多面的かつ総合的な評価で構成する入学者選抜方法の開発及び実現を通し、地域に貢献する人材の育成に寄与することを目的としています。

地域創造教育センター

三重大学が取り組む地域共創活動のために、幅広い分野で地域社会を牽引する地域創造マインドを持つ人材を育成するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的としています。

学生支援・キャリアセンター

<https://www.mie-u.ac.jp/life/>



学生支援・キャリアセンターでは、「三重大学における学生支援の基本方針」、「三重大学キャリア教育方針」及び「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を踏まえ、各部署及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

センターは、学生自身による学生支援(ピア・サポート等)にも積極的に取り組んでおり、全学の教職員及び学生が一体となった学生支援を推進しています。

各部門は総合研究棟IIに位置しており、随時各種相談に対応しています。センターホームページをご確認の上、相談をお寄せください。

資格プログラム部門

三重大学において開設する教職課程(教育学部における教職課程を除く。)及び学芸員養成課程等資格に係る事項について、プログラムの拡充及び質保証に係る必要な措置を講ずることを目的としています。

教育企画部門

三重大学が掲げる教育目標に向けた全学的な取り組みの企画・立案及び実施をするとともに、質の保証に資する教育諸活動の充実及び改善を図ることを目的としています。

学生支援・キャリアセンター

三重大学における学生支援の基本方針、三重大学キャリア教育方針及び三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針に基づき、三重大学の学生の修学、キャリア教育、就職及び生活等への総合的な支援体制を整備するとともに、学生支援の質保証に向けた取り組みの推進を行うことにより、充実した学生生活の実現を図ることを目的としています。

リカレント教育センター

社会人、企業等が要望するリカレント教育プログラムを提供し、地域社会における人材育成に寄与することを目的としています。

みえの未来図共創機構

<https://www.mrpco.mie-u.ac.jp>



みえの未来図共創機構は、新たな成果の創出を目指した5つの施設等(地域共創展開センター、地域拠点サテライト、地域圏防災・減災研究センター、感染症みらい社会教育研究センター、博学連携推進室)で構成され、三重大学が地域社会とともに発展を目指す地域共創大学として、地域で展開する実践力豊かな人材の育成や研究成果の価値向上を図るとともに、社会の発展に資する諸活動を支援しています。

研究基盤推進機構



研究基盤推進機構は、先端科学研究支援センター、半導体・デジタル未来創造センター、鯨類研究センター、国際忍者研究センター、神事・産業・医療用大麻研究センター、戦略的リサーチコアで構成され、共同利用機器を活用した研究開発や人材育成の支援を行い、分野横断的・独創的な先端研究等を推進する組織として、三重大学の研究活動を支援しています。

国際戦略機構 →P65、66

<https://www.mie-u.ac.jp/international>



国際戦略機構は、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に設置された留学生センターを原点とし、国際交流センターへの改編を経て、2025年4月1日から国際戦略機構に改組しました。現在34か国・地域、127大学・機関と学術交流協定を締結し、学生の派遣・受入を行っています。

また外国人留学生のための日本語教育、英語等による国際教育、国際キャリアアッププログラムなどを実施しています。

地域拠点サテライト

<https://www.rscn.mie-u.ac.jp>



地域拠点サテライトは、三重県全域を三重大学の教育研究活動の「場(フィールド)」とし、「特色ある各地域の資源」・「学生たちの若い力」・「大学の教育研究力」をもって、地域と大学が一体となって地域に秘められた可能性を発掘することで、地域・大学相互の発展を目指します。自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、5つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、松阪多気サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を設置し、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。

(左上) 松阪多気サテライト
松阪多気連携オフィス(カリヨンプラザ内)

(左下) 伊勢志摩サテライト
海女研究センター(海の博物館内)

(右上) 伊賀サテライト
伊賀連携オフィス・伊賀研究拠点(ゆめテクノ伊賀内)

(右下) 東紀州サテライト
東紀州教育学舎(熊野市立有馬小学校内)

入試情報

令和8年度入学定員(募集人員)

学部	学科・コース	入学定員	募集人員					備考
			一般選抜		特別選抜			
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
人文学部	文化学科	92	67	18	5	1	1	「注1」 「注2」 「注4」 参照
	法律経済学科	153	100	33	18	1	1	
学部計		245	167	51	23	2	2	
医学部	医学科	125	75	10	40			「注1」「注3」 「注5」「注6」 参照
	看護学科	80	52	5	20		3	
学部計		205	127	15	60		3	
工学部	総合工学科	85	45	20	20			「注1」 「注10」 参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
	電気電子工学コース	70	32	25	13			
	電子情報工学コース	40	18	14	8			
	応用化学コース	96	40	46	10			
	建築学コース	44	34	10				
	情報工学コース	95	62	25	8			
学部計		430	231	140	59			
生物資源学部	生物資源総合科学コース	30	15		15			「注1」「注2」 「注9」参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
	農林環境科学コース	110	53	28	25	2	2	
	海洋生物資源学コース	45	25	10	8	1	1	
	生命化学コース	75	41	10	22	1	1	
学部計		260	134	48	70	4	4	

学部	課程・コース・選修	入学定員	募集人員					備考			
			一般選抜		特別選抜						
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜 推薦I	地域推薦 推薦II	三重県南部地域 三重県全域		帰国生徒	社会人	
教育学部	国語教育コース	初等教育選修	23	11	3						「注1」 参照
		中等教育選修		7	2						
	社会科教育コース	初等教育選修	17	8	2						
		中等教育選修		5	2						
	数学教育コース	初等教育選修	21	11							
		中等教育選修		10							
	理科教育コース	初等教育選修	19	10							
		中等教育選修		9							
	音楽教育コース	初等教育選修	10	4	3						
		中等教育選修		3							
	美術教育コース	初等教育選修	9	6							
		中等教育選修		3							
	保健体育コース	初等教育選修	17	6	3						
		中等教育選修		5	3						
	技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	10	5							
		中等教育選修		4		1					
家政教育コース	初等教育選修	13	5			3					
	中等教育選修		5								
英語教育コース	初等教育選修	13	6								
	中等教育選修		7								
特別支援教育コース	初等教育選修	18	11	7							
	中等教育選修										
学校教育	教育学専攻	20	7		3						
	教育心理学専攻		7		3						
学部計		200	165	25	7	3	若干名「注7」	若干名「注7」			

合計	入学定員	募集人員					備考
		一般選抜		特別選抜			
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
	1,340	824	279	222	6	9	

- 「注」1. 学校推薦型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、工学部、生物資源学部は一般選抜で行います。
 2. 帰国生徒特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、生物資源学部ともに一般選抜で行います。
 3. 医学部看護学科の社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。
 4. 人文学部文化学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦A:5名、推薦B:3名、推薦C:10名です。
 5. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。
 6. 医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠A:25名程度、地域枠B:5名程度を、医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠13名程度を含みます。
 7. 教育学部地域推薦について
 (1) 地域推薦(三重県南部地域)の合格者は、各コース1名以内、合計5名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
 (2) 地域推薦(三重県全域)の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員(選修の別がないコースは前期日程の募集人員)が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
 8. 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続等を検討中であることから、令和7年度入試の状況を記載しております。
 9. 医学部医学科志願者は令和8年度学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜)を確認の上、出願してください。
 10. 生物資源学部生物資源学(生物資源総合科学コース)の学校推薦型選抜における募集人員は、紀伊瀬潮枠15名とします。
 11. 工学部総合工学科(電子情報工学コース)の学校推薦型選抜における募集人員は、女子を対象とする女子枠を設け、8名とします。

入試状況

令和7年度及び過去2年間の入学志願状況(一般選抜)

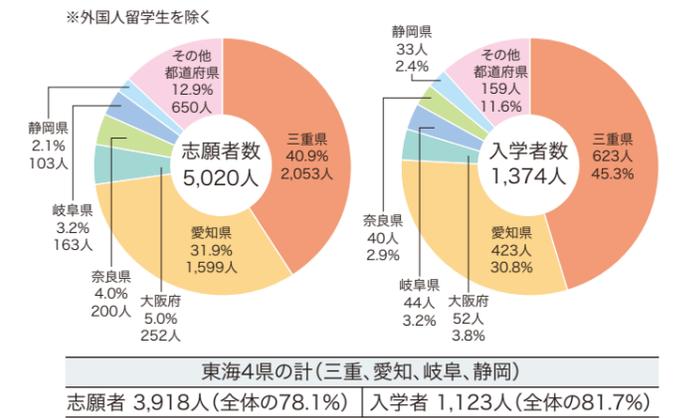
学部	学科・課程・コース	前期日程				後期日程								
		令和7年度		過去2年間の倍率		令和7年度		過去2年間の倍率						
		募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	令和6年度	令和5年度	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	令和6年度	令和5年度	
人文学部	文化学科	67	160	2.4	79	3.3	2.2	18	272	15.1	22	20.0	9.1	
	法律経済学科	100	267	2.7	116	3.1	3.5	33	303	9.2	41	10.1	8.8	
計		167	427	2.6	195	3.2	3.0	51	575	11.3	63	13.6	8.9	
教育学部	学校教育教員養成課程	165	379	2.3	166	3.0	3.0	25	225	9.0	25	10.6	15.0	
医学部	医学科	75	249	3.3	76	8.0	4.7	10	204	20.4	12	22.9	21.2	
	看護学科	52	135	2.6	57	3.3	2.2	5	106	21.2	9	32.2	16.8	
計		127	384	3.0	133	6.1		15	310	20.7	21	26.0		
工学部	総合工学科	45	165	3.7	46	4.3	2.0	20	191	9.6	21	11.7	7.8	
	電気電子工学コース	32	68	2.1	33	2.3	3.5	25	109	4.4	25	4.1	14.7	
	応用化学コース	40	113	2.8	53	4.3	2.0	46	196	4.3	47	5.4	6.3	
	建築学コース	34	135	4.0	35	4.1	2.2	10	76	7.6	10	4.6	10.2	
	情報工学コース	62	242	3.9	75	3.6	2.2	25	65	2.6	25	4.9	4.2	
	電気情報工学コース	20	47	2.4	20	-	-	15	100	6.7	18	-	-	
計		233	770	3.3	262			141	737	5.2	146	5.6	8.6	
生物資源学部	生物資源総合科学コース	15	81	5.4	15	2.4	1.6	-	-	-	-	-	7.9	
	農林環境科学コース	53	124	2.3	77	2.2	4.2	28	108	3.9	30	4.7	10.5	
	海洋生物資源学コース	25	78	3.1	29	4.0	2.9	10	54	5.4	11	7.8	11.1	
	生命化学コース	41	97	2.4	46	3.5	2.7	10	95	9.5	17	14.0	10.8	
計		134	380	2.8	167	2.9	2.9	48	257	5.4	58	7.3	10.0	
合計		826	2,340	2.8	923	3.7	2.9	280	2,104	7.5	313	9.0	10.1	
前期・後期合計		募集人員	志願者数	志願倍率										
		1,106	4,444	4.0										

- (注1) 前期日程において、教育学部、工学部及び生物資源学部の志願者数は、第1志望者の数を示し、第2、第3志望者は含まれません。
 (注2) 後期日程において、生物資源学部の志願者数は、第1志望者の数を示し、第2、第3志望者は含まれません。

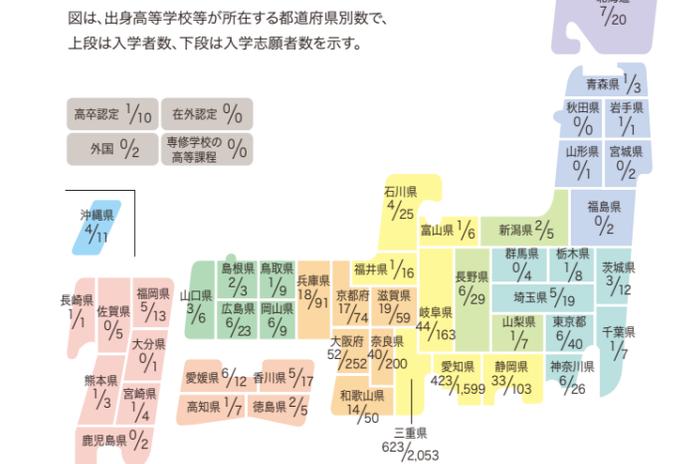
令和7年度 特別選抜等実施状況

区分	募集人員	志願者	合格者
学校推薦型選抜	219	571	234
帰国生徒特別選抜	6	2	0
社会人特別選抜	9	3	1

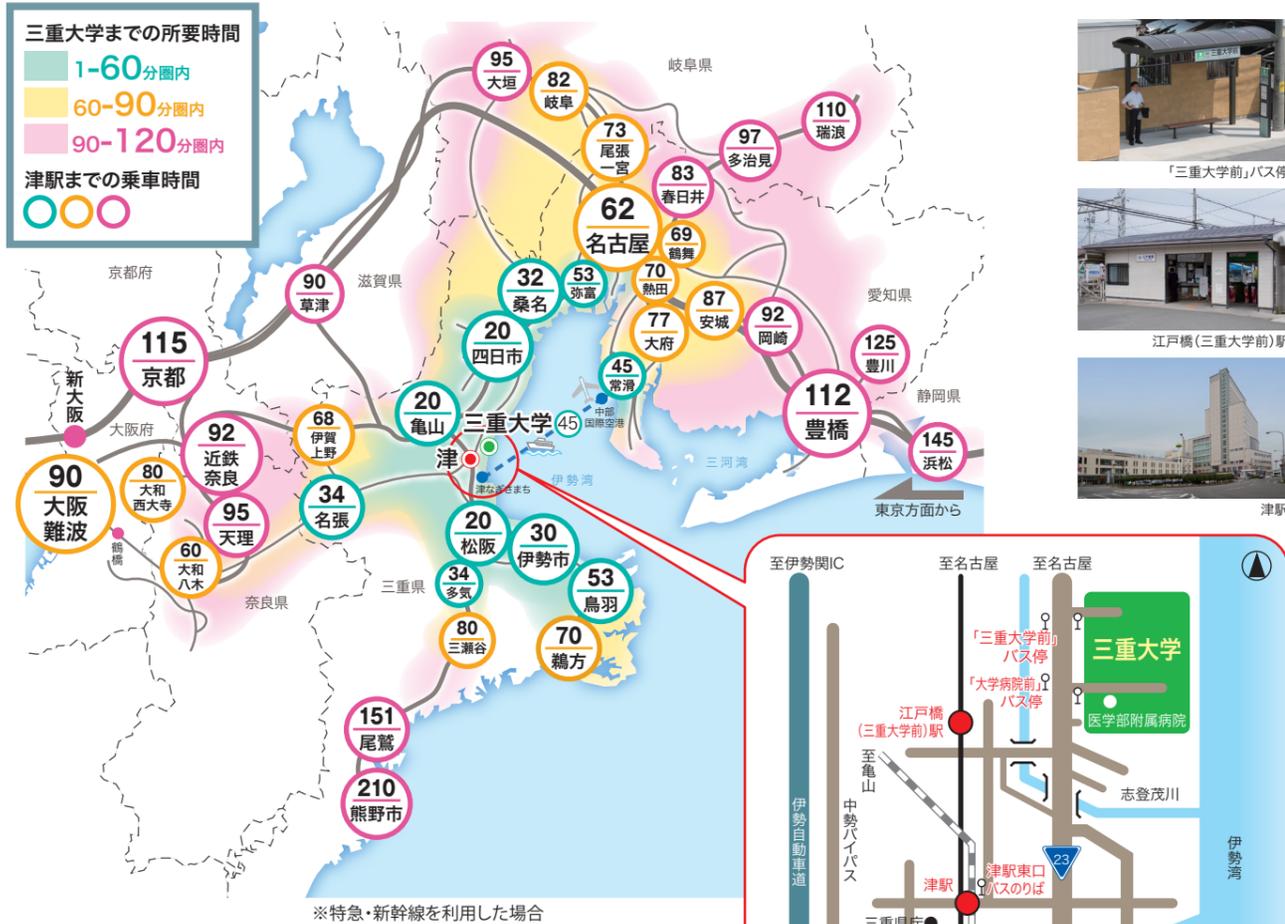
令和7年度出身都道府県別志願者・入学状況(学部)



都道府県別の内訳



三重大学へのアクセス



周辺交通案内

- **江戸橋 (三重大学前) 駅から**
徒歩約15分
- **津駅から**
1. バスで約15分
三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)「高田高校前」(56系統)行きに乗車、「三重大学前」下車。
(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)
2. タクシーで約10分
- **中部国際空港 (セントレア) から**
津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ45分
1. 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
2. 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください
<https://www.mie-u.ac.jp>



インターネット出願のご案内

令和8年度(令和7年度実施)の**一般選抜**(前期・後期日程)、**学校推薦型選抜**、**特別入試**(社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜)は**インターネット出願**となります。

ネット出願の手順



各選抜の学生募集要項は原則配布しませんので、三重大学入試情報ウェブサイトよりダウンロードをお願いします。ただし、一般選抜募集要項については、テレメールでのみ配布いたします。

- 学校推薦型選抜 8月下旬公表予定
 - 一般選抜 11月中旬公表予定
- <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/>



入学者選抜要項・学部案内の入手方法

インターネット(パソコン、スマホ・携帯電話)で請求する場合

テレメールを利用

- ① テレメールのサイトにアクセスしてください。

- ② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号
三重大学案内	564380
入学者選抜要項	584380
三重大学案内と入学者選抜要項	564350
一般選抜募集要項	584350
人文学部案内	584370
工学部案内	544390
生物資源学部案内	564570
生物資源学部 教員紹介パンフレット	707080

- 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- 通常は発送日のおおむね3~5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。

スマホでテレメールQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

※医学部医学科案内および教育学部案内は、三重大学入試情報ウェブサイトから閲覧またはダウンロードしてください。
 三重大学ウェブサイト「入試情報」: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

- ③ ガイドンスに従ってお届け先等を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

- 資料請求終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎて届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変わっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達には通常ありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に支払ってください。
- 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(LINE Pay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い)」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になります。コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、携帯キャリア払い、PayPayとクレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、支払い時に別途必要です。

請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102
 (9:30~18:00)

モバっちょを利用

- ① 下記の方法でモバっちょにアクセスしてください。



- インターネット
- パソコン
- スマホ
- 携帯電話

<https://djcmobile.jp/mie-u2/>

※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
 ※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。

- ② 以降はガイドンスに従ってください。

● 受付から2~5日程度で発送されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005
 (平日10:00~18:00)